Panasonic

新
アイセグ
AiSEG

新
アイセグ
AiSEG用
エネルギー
計測ユニット

設計施工ガイド

つながる、ひろがる、進化するくらし。

2013/9 第4版（PDF版）

パナソニックのスマートHEMS（ヘムス）で明日から変わる、わが家の節電。

パナソニックのスマートHEMSは、電気･ガス･水の使用量などを「見える化」するだけでなく、エアコンの節電運転やIHクッキングヒーターの使用電力量を自動でコントロール。太陽光発電でつくった電気、リチウムイオン蓄電池ユニットにためた電気もかしこく使い、ムリせずムダのない節電生活をサポートします。

太陽電池モジュール
AiSEG対応 エアコン
スマートフォン
HEMS モニター
パソコン
住宅分電盤
AiSEG用 エネルギー 計測ユニット
AiSEG
ビエラ
AiSEG対応 IHクッキングヒーター
AiSEG対応 エコキュート
パワーステーション
リチウムイオン 蓄電池ユニット

スマートHEMSとは、パナソニックが考えるホームエネルギーマネジメントシステムのことです。住まいの電気設備・家電をつなげて、エネルギーをつくり、ためて、ムダなく使い、かしこくマネジメント。これからのくらしにも継続し、ひろがり、進化し続けるシステムです。また、AiSEGとは、Ai（かしこい）+SEG（エネルギー管理システム）の意味で、スマートHEMSの中核の役割を果たす機器です。

INDEX

概要編

設計編

施工編

設定編

トラブル対応編

Q & A

●モニター画面は説明のための表示で、実際の表示とは異なります。

主な機能一覧

			詳細ページ
見える化 注)余剰買取方式に対応した仕様となっているため、全量買取方式では使用できません。	電気の流れ	現在の電力使用状況を確認できます。 ●バブル画面、シンプル画面、ペンギン画面の3種類の画面があります。	P.4
	エネルギーの状況	買電量 発電量 売電量 使用電力量(全体/分岐回路ごと) 湯使用量 水使用量 ガス使用量 これらの履歴を、日、月、年単位で集計して棒グラフで表示し、過去のデータと比較することができます。	P.7
	エネルギーの積算値・概算金額	買電量 発電量 売電量 使用電力量(全体のみ) 湯使用量 水使用量 ガス使用量 これらの過去実績を、日、月、年単位でグラフで一覧表示させることができます。	P.9
宅内からの機器操作・状態確認	スマートフォン、テレビ、パソコンを使って、AiSEGに登録されているエアコン、エコキュートやJEM-A機器(エアコン、床暖房)を宅内から操作することができます。		P.9
機器の自動制御	AiSEG対応機器(エアコン、IHクッキングヒーター、エコキュート)を自動制御して、節電やエネルギーの有効利用ができます。 AiSEG対応エアコン AiSEG対応IHクッキングヒーター AiSEG対応エコキュート		P.10
エコ育	CO_2排出削減量の目標達成度や太陽光発電量などをアニメーションで確認したり、お湯をどれくらい使っているかを計測したりして、楽しくエコ意識を育むことができます。		P.11
通知情報機能	登録したビエラ・ポータブルビエラを視聴中に、昨日の買電量などを自動表示します。		P.14
エコレポート作成機能	AiSEG本体に保存された電気使用量などの履歴データを、直接パソコンに出力して、かんたんにエコレポートを作成できます。		P.14
使い方ガイド	スマートフォン・タブレットを、インターネット回線に接続してサーバーサービスに登録すれば、AiSEGに対応した機器(エアコン・IHクッキングヒーター)で「使い方ガイド」を選ぶと各機器の使い方のアドバイスを読むことができます。		P.15

電気の流れ

現在の電力使用状況を確認できます。
●バブル画面、シンプル画面、ペンギン画面の3種類の画面があります。

バブル画面の場合

バブル(円)と点線でアニメーション表示されます。
各バブル(円)は数値の大きさによって3段階に大きさが変化します。
注)データがない場合や機器が接続されていない場合は、バブル(円)、数値、点線が表示されません。

概要編 設計編 施工編 設定編 トラブル対応編 Q&A

●モニター画面は説明のための表示で、実際の表示とは異なります。

電気の流れ

シンプル画面の場合

シンプルなシステム図によって表示されます。

注)データがない場合や機器が接続されていない場合は、機器名称、数値、点線が表示されません。

❶発電→売電の流れ　❷発電→消費の流れ
❸買電→消費の流れ　❹買電→充電の流れ
❺発電→充電の流れ　❻蓄電池放電の流れ

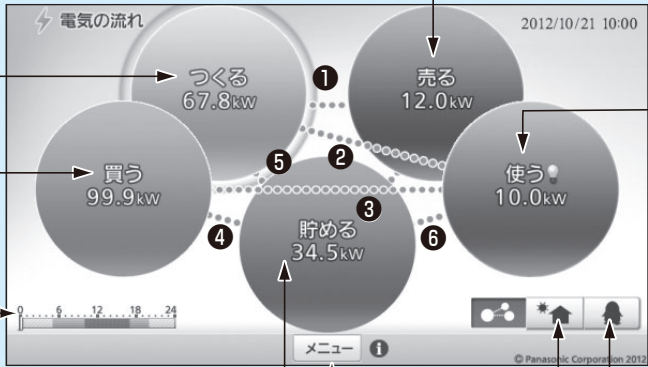
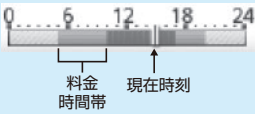
- 太陽のイラストは夜8時～朝5時の間は表示されません。
- 現在、売っている電力を表します。
- 現在、買っている電力を表します。
- 電気料金設定(P.89参照)が深夜電力あるいはオール電化の場合は、料金時間帯を色で区別して表します。(従量制の場合には表示されません。)

料金時間帯　現在時刻

- 現在、つくっている電力(外部発電)を表します。
- 現在、蓄電池ユニットに充電している、あるいは放電している電力を表します。(当社「創蓄連携システム」を接続した場合に表示します。)
- 現在の蓄電池ユニットの残容量を表します。

0%　1~37%　38~62%　63~87%　88~100%

- 現在、つくっている電力(太陽光発電)を表します。

太陽光発電システムが2台接続されている場合は、太陽光発電1と太陽光発電2の内訳が表示されます。

- 現在、使っている電力を表します。

瞬時値が電気チェック設定の値を超えていると「電球アイコン」が点灯し、お出かけ前などに電気の切り忘れがないかチェックできます。

(消灯)　(点灯)　設定値オーバー

- 各分岐回路の瞬時値(kW)を表します。(最大38回路)

分岐回路が10回路より多い場合は、「1」~「4」のタブを切り替えて選んでください。

- ペンギン画面に切り替えます。(P.6参照)
- バブル画面に切り替えます。(P.4参照)
- メニューバーを表示します。

エコ記録、メンテナンス情報、エラーに更新があった場合 ℹ が表示されます。内容を確認することで表示が消えます。

ペンギン画面の場合

ペンギンのイラストでアニメーション表示されます。

注)データがない場合や機器が接続されていない場合は、数値、矢印が表示されません。

❶発電→売電の流れ　❷発電→消費の流れ
❸買電→消費の流れ　❹蓄電池充電の流れ
❺蓄電池放電の流れ

- 瞬時値が電気チェック設定の値を超えていると「電球アイコン」が点灯し、お出かけ前などに電気の切り忘れがないかチェックできます。

設定値以下!　設定値オーバー!
(消灯)　(点灯)

- 現在、使っている電力を表します。
- 太陽のイラストは夜8時～朝5時の間は表示されません。
- 現在、つくっている電力(太陽光発電)を表します。

外部発電名称設定が「太陽光発電2」の場合は、太陽光発電1と太陽光発電2の電力を合算して表示されます。

- 現在、つくっている電力(外部発電)を表します。

外部発電機器が接続されていない場合は、「木」のイラストが表示されます。

- 現在、蓄電池ユニットに充電している、あるいは放電している電力を表します。(当社「創蓄連携システム」を接続した場合に表示します。)
- 現在、買っている電力、あるいは売っている電力を表します。
- 現在、買電中か売電中かを表します。
- シンプル画面に切り替えます。(P.5参照)
- バブル画面に切り替えます。(P.4参照)
- メニューバーを表示します。

エコ記録、メンテナンス情報、エラーに更新があった場合 ℹ が表示されます。内容を確認することで表示が消えます。

- 現在の蓄電池ユニットの残容量を表します。

0%　1~37%　38~62%　63~87%　88~100%

●モニター画面は説明のための表示で、実際の表示とは異なります。

エネルギーの状況

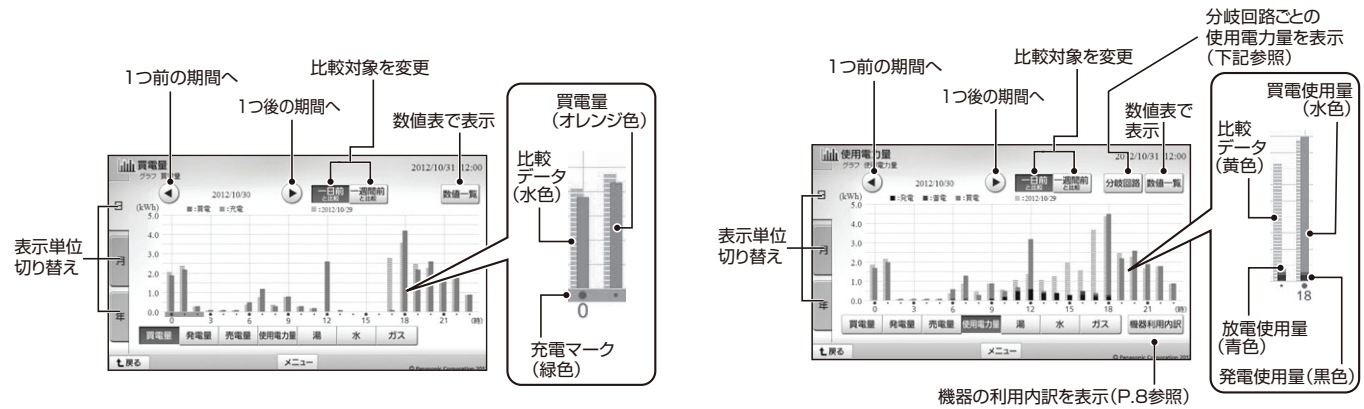
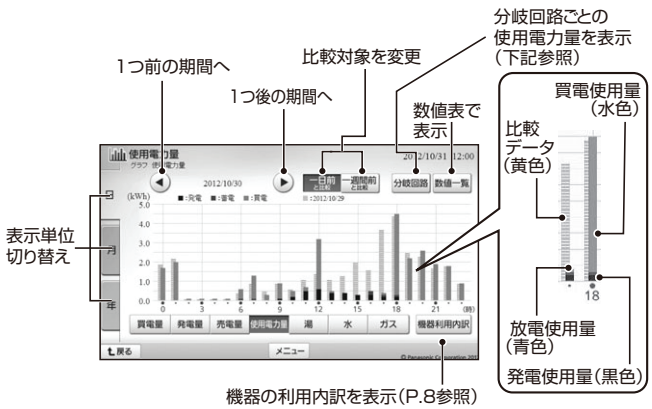
買電量・発電量・売電量・使用電力量（全体/分岐回路ごと）・湯使用量・水使用量・ガス使用量の履歴を、日、月、年単位で集計して棒グラフで表示し、過去のデータと比較することができます。

注）●湯使用量が表示されるのは、AiSEG対応エコキュートが接続されている場合のみです。
●水使用量が表示されるのは、パルス発信式流量計（水道メーター）が接続されている場合のみです。
●ガス使用量が表示されるのは、パルス発信器付ガスメーターが接続されている場合のみです。
●外部発電機器が接続されていない場合は、外部発電の電力量は表示されません。
●余剰買取方式に対応した仕様となっているため、全量買取方式では使用できません。

●比較対象は「日」単位では1日前または1週間前、「月」では1月前または1年前、「年」では1年前です。
●充電マーク（緑色）は蓄電池ユニットが充電された時間帯に表示されます。（月、年単位では表示されません。）

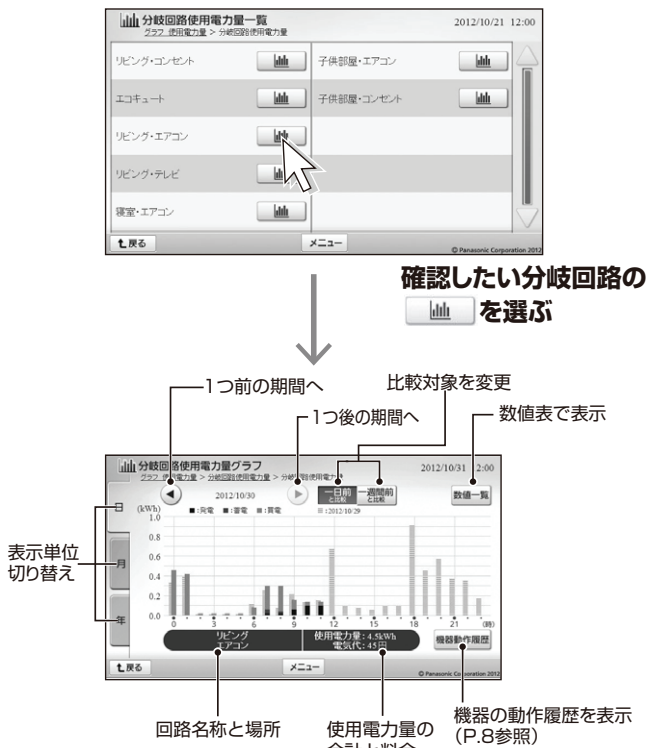
買電量

発電量

売電量

使用電力量

■分岐回路使用電力量

分岐回路ごとの使用電力量が確認できます。

確認したい分岐回路の を選ぶ

MEMO 下記のピクトがグラフに表示される場合もあります。

●はエコモード設定されているエアコンがエコモード運転を実施した時間帯を示します。
●は太陽光発電の余剰電力によりエコキュートの沸き増し運転を実施した時間帯を示します。
●はIHクッキングヒーターがセーブ運転を実施した時間帯を示します。

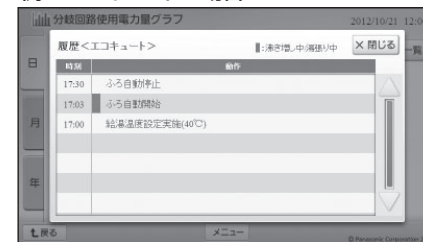
■機器利用内訳

1時間あたりの使用電力量が大きかった分岐回路の上位3回路が確認できます。

■機器動作履歴

AiSEG対応機器（エアコン、IHクッキングヒーター、エコキュート）の場合、時間別の機器の動作履歴が確認できます。

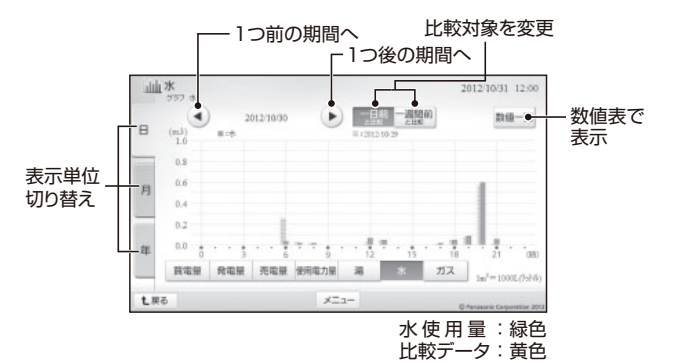
例：エアコンの場合

例：エコキュートの場合

例：IHクッキングヒーターの場合

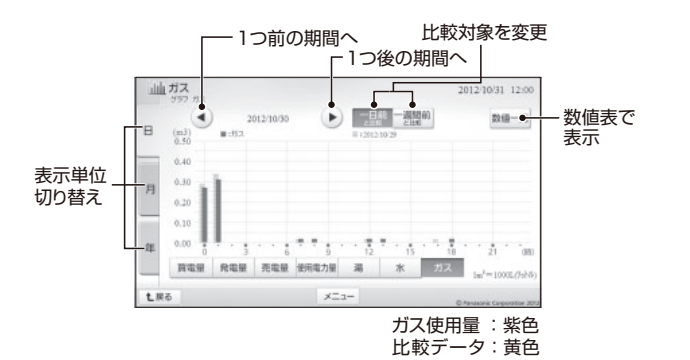
湯使用量

AiSEGに対応したエコキュートの給湯量をグラフで確認できます。

水使用量

パルス発信式流量計（水道メーター）を接続した場合、水の使用量をグラフで確認できます。

ガス使用量

パルス発信器付ガスメーターを接続した場合、ガスの使用量をグラフで確認できます。

●モニター画面は説明のための表示で、実際の表示とは異なります。

エネルギーの積算値・概算金額

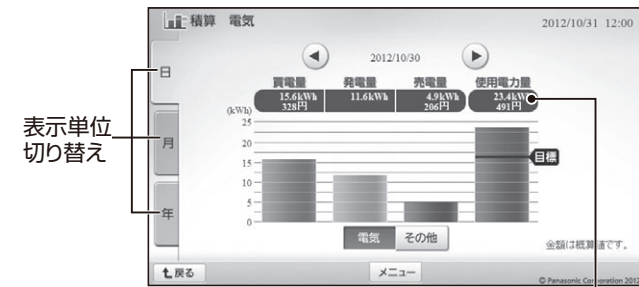
買電量・発電量・売電量・使用電力量（全体のみ）・湯使用量・水使用量・ガス使用量それぞれの過去実績を、日、月、年単位でグラフで一覧表示させることができます。

注）●湯使用量が表示されるのは、AiSEG対応エコキュートが接続されている場合のみです。
●水使用量が表示されるのは、パルス発信式流量計（水道メーター）が接続されている場合のみです。
●ガス使用量が表示されるのは、パルス発信器付ガスメーターが接続されている場合のみです。

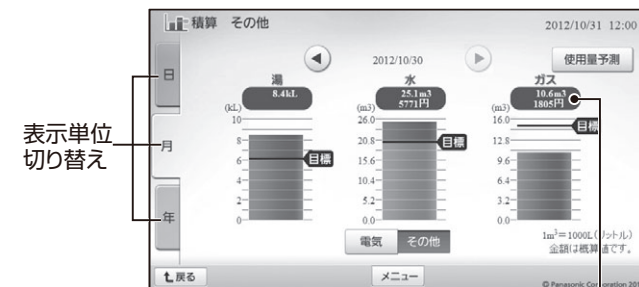
積算 電気（買電量・発電量・売電量・使用電力量）

●「使用電力量」「湯」「水」「ガス」で表示される「目標バー」より上の赤い部分は、設定した目標値（P.93参照）に対して使い過ぎていることを示します。

※概算料金は料金設定（P.89参照）されている場合に表示されます。

表示単位切り替え

上段：使用電力量
下段：概算料金※

積算 その他（湯・水・ガス）

表示単位切り替え

上段：使用量
下段：概算料金※

MEMO

●表示される料金は「料金設定」（P.89参照）で設定した値に基づいた**概算値であり、実際の料金とは異なります。**設定していない場合は表示されません。
●「目標」は「目標値設定」（P.93参照）で設定することができます。工場出荷時に初期値が設定されていますが、使用環境に応じて値を変更することをおすすめします。

宅内からの機器操作・状態確認

スマートフォン、ビエラ、パソコンを使って、AiSEGに登録されているエアコン、エコキュートやJEM-A機器（エアコン、床暖房）を宅内から操作することができます。

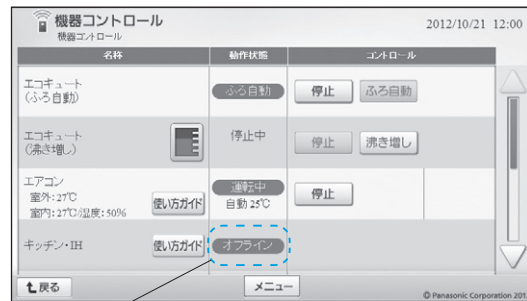
注）AiSEG対応IHクッキングヒーターは状態確認のみとなります。

■対応機器と操作できる内容

機　器		宅内操作
AiSEG対応機器	エコキュート	ふろ自動⇔停止、沸き増し⇔停止
	エアコン	停止のみ
JEM-A対応機器	エアコン	停止のみ
	床暖房	停止のみ

注）●AiSEG対応エアコンは、宅内および宅外から状態確認・OFF操作は可能。ONおよび温度変更などは行えません。
別売の無線アダプター（CF-TA9）（オープン価格）が必要です。
●JEM-A対応機器はエアコンと床暖房のみです。（電動シャッターや電気錠システムとの接続はできません。）
JEM-A対応機器は宅内からのみOFF操作可。状態確認も行えます。

■操作画面例

注）お住まいのシステムに接続されている機器や設定によって画面が異なります。

●オフラインとは
「オフライン」：IHと通信していない状態
「入」　　　：IHが電源ONの状態
「切」　　　：IHが電源OFFの状態
IHは通信アダプター内蔵のため、主電源OFF後約15分で自動的に「切」から「オフライン」になります。

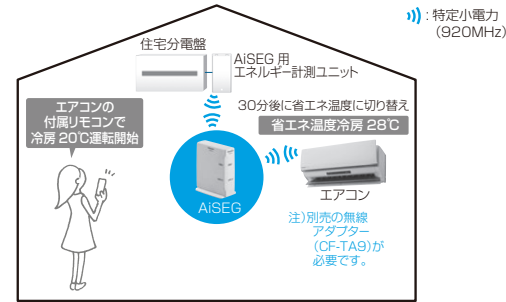
注）AiSEG対応エアコン本体への電源がONの時は室内の温度と湿度を表示します。また、AiSEG対応エアコンを運転し室外機が動いている場合は、屋外（室外）の温度も表示できます。ただし、エアコン本体への電源がOFFの場合は、温度も湿度も表示しません。

機器の自動制御

AiSEG対応機器（エアコン、IHクッキングヒーター、エコキュート）を自動制御して、節電やエネルギーの有効利用ができます。

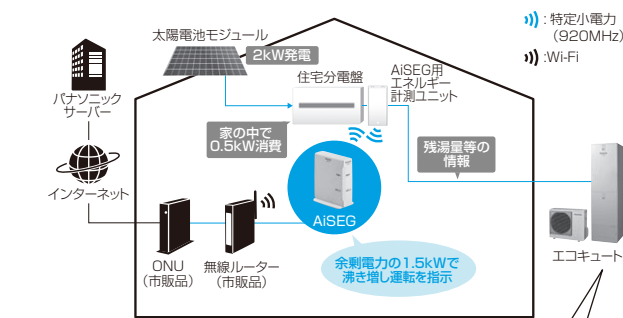
エアコンの節電運転

エアコンの運転開始（冷房または暖房）から30分後に、省エネ温度（冷房28度、暖房20度）に自動で切り替えます。温度設定をしなくても節電運転します。

注）●下記は冷房運転の場合です。例えば暖房運転の場合は、24℃で運転開始した場合、30分後に自動的に20℃になります。冷房、暖房以外のモードで運転した場合、30分後に自動切り替えは行いません。
●例えば冷房29℃以上で運転開始した場合、30分後に28℃になりません。同様に暖房19℃以下で運転開始した場合、30分後に20℃にはなりません。
●省エネ温度の設定変更はできません。

エコキュートの沸き増し制御

太陽光発電量が使用電力量を上回っている場合、太陽光発電の余剰電力で昼間にエコキュートの沸き増しを自動で行います。

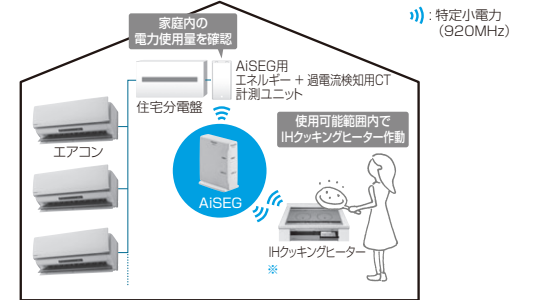
●余剰電力での沸き増しは、天気予報や直近7日間の電気使用情報を考慮して行います。

注）●当社サーバーサービス（P.99参照）への登録（無料）が必要です。
●当社「創蓄連携システム」が接続されている場合、蓄電池ユニットの運転モードが「環境優先」に設定されている場合にのみ、沸き増しを行います。
●エコキュートのタンクの残湯量によっては沸かさないことがあります。また、天気や直近7日間の電気使用状況によっては沸き増しを行わない場合があります。

■余剰電力で沸き増しをする条件
①AiSEGの「エコキュート運転モード」で「エコキュートの沸き増しをする」に設定。蓄電池が接続されている場合は「環境優先」に設定。
②現在時刻が7:15～19:15の間。
③お客様による沸き増し中ではない。
④天気予報データ※を取得し、予報が晴れ。
※サーバーサービスの登録（無料）が必要です。
⑤エコキュートの本日の使用可能湯量が1目盛以上減っている。

以上の条件であれば、「昼間沸き増し停止」設定時でも沸き増しを実施します。
注）エコキュートが「沸き上げ休止」設定時は、沸き増ししません。

IHクッキングヒーターのピーク制御

住まい全体の使用電力量を確認し、電力が足りないと判断すれば、IHクッキングヒーターの使用電力量を自動で調整（火力をセーブ）します。

注）過電流検知用CT（MKN747）が別途必要です。

※AiSEG対応IHクッキングヒーター（KZ-R573SG）は、特定小電力（920MHz）の無線機能を内蔵しています。

■機器の役割と流れの考え方

住宅分電盤　AiSEG用エネルギー計測ユニット　AiSEG　IHクッキングヒーター

〈step 1〉
AiSEG用エネルギー計測ユニットが住まい全体の使用電力を常に計測。

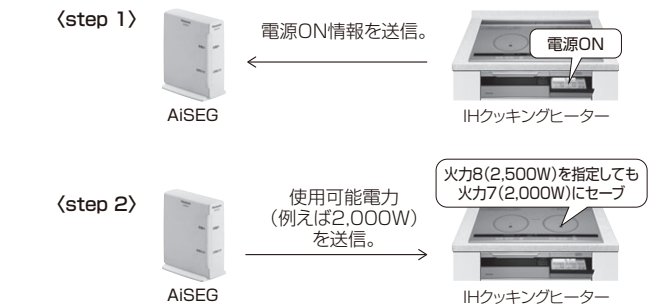
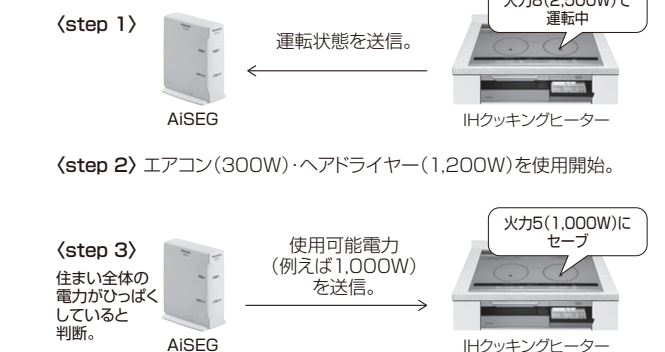
〈step 2〉
住まい全体の使用電力を元に、IHクッキングヒーターの使用可能電力を判断。その情報をIHクッキングヒーターに送信。

〈step 3〉
AiSEGから使用可能電力の情報を受け、火力を自動調整。

■使用動作例

<IHクッキングヒーター運転開始時>

住まい全体の使用電力量が多いときは、IHクッキングヒーターの運転開始時から火力をセーブ。また、IHクッキングヒーターから音声と音で知らせます。

<IHクッキングヒーター運転中>

住まい全体の使用電力量が増えてくると、運転中のIHクッキングヒーターの火力をセーブ。

〈step 2〉エアコン（300W）・ヘアドライヤー（1,200W）を使用開始。

●モニター画面は説明のための表示で、実際の表示とは異なります。

[エコ育]

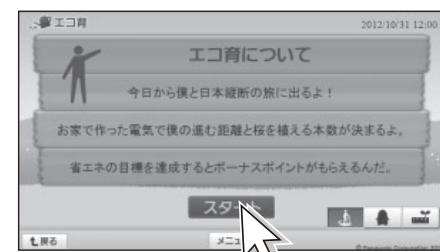
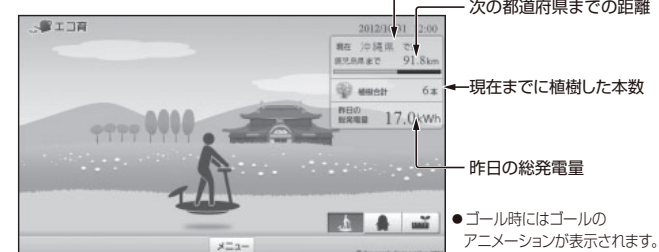
CO2排出削減量の目標達成度や太陽光発電量などをアニメーションで確認したり、お湯をどれくらい使っているかを計測したりして、楽しくエコ意識を育むことができます。

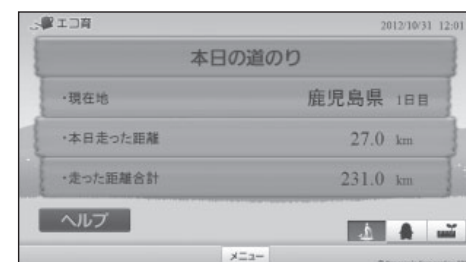
創エネ節電ロードレース

太陽光の発電量と、目標達成度に応じ、日本列島を南(沖縄)から北(北海道)へ旅するレースです。
およそ1年(4.0kWの太陽光発電システム接続時の場合の目安)でゴールに到達します。
注)太陽光発電システムを接続していない場合は表示されません。

■レースのスタート(初回のみ)

■移動

●ゴール時にはゴールのアニメーションが表示されます。

■植樹

■本日の道のり表示

●ゴール後は、次の日から再スタートとなります。(沖縄県・植樹0本から)
●2巡目のレースからは前回の成績と比較できるようになります。

●移動距離について

昨日の発電量と使用電力量の目標達成度によって決まります。
省エネ行動をして景色を楽しみながらゴールを目指します。

1日の移動距離=①×1km+②

①昨日の発電量積算値
②ボーナス:昨日の使用電力量が使用電力量目標値を達成していた場合のみ、ボーナス距離が加わります。
1%〜14%マイナス:1km
15%以上マイナス　:10km

●旅を進めるにつれ景色が変わります。

●通過中の各都道府県ごとにご当地名物(何が登場するかはお楽しみ)が登場します。
●例えば沖縄県(左の「■移動」画面)では首里城が登場します。

●植樹について

昨日の発電量から換算したCO_2削減量と使用電力量目標値の達成度に応じて、サクラの木を植樹します。たくさんのサクラを植えながらゴールを目指します。

1日の植樹本数=①+②

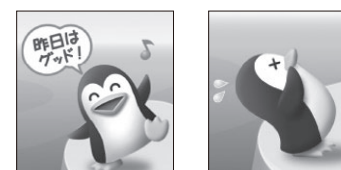
①昨日の発電量から換算したCO_2削減量が、サクラの木が1日に吸収するCO_2(3.8kg)より多い場合にCO_2の削減量3.8kgごとに1本植樹します。
②ボーナス:昨日の使用電力量が使用電力量目標値を達成していた場合、ボーナス本数が加わります。
1%〜14%マイナス:1本植樹
15%以上マイナス　:2本植樹

●サクラの木は季節によって変わります。

MEMO
●使用電力量目標値は「使用電力量目標値設定」により設定します。昨日の目標達成度は月単位で設定した目標値を日割り計算で判定します。
●発電量はCO_2削減量に換算後、植樹本数に換算されます。「CO_2換算係数設定」を設定しておいてください。

省エネモニター

省エネ目標の達成度をペンギンで表します。

■昨日の省エネ目標達成度
一番左のペンギンが「昨日の」省エネ目標の達成度を示します。

目標を達成した場合

達成していない場合

●昨日のエネルギー消費が0の場合は下のイラストが表示されます。

■今月の省エネ目標達成度
氷の大きさと上に乗っているペンギンの数で、「今月の」省エネ目標の達成度を示します。
一番左のペンギンは、昨日の省エネ目標達成度を示します。

がんばろう!(15%以上オーバー)

もう少しがんばろう!(約10%オーバー)

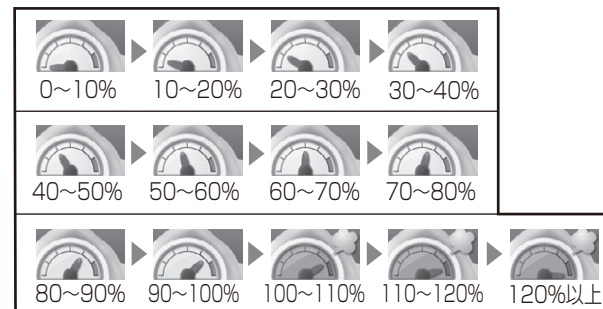
この調子!(±5%程度)

グッド!(約10%マイナス)

●達成度に応じて氷の大きさと上にいるペンギンの数が増減します。
5羽のペンギンが氷の上にいるように省エネを行います。

とってもグッド!(15%以上マイナス)

■今日の省エネ目標達成度
「今日の」省エネ目標の達成度をメーターで示します。
●電気・ガス・水を使用するにつれて針が右に振れ、メーターの色が目標値の80%を超えると黄色に変わり、目標値を超えると赤色に変わります。

0〜10%	10〜20%	20〜30%	30〜40%	
40〜50%	50〜60%	60〜70%	70〜80%	
80〜90%	90〜100%	100〜110%	110〜120%	120%以上

MEMO
●省エネ目標値は「目標値設定」(P.93参照)により月単位で設定します。「昨日の」あるいは「今日の」達成度は、月単位で設定した目標値を日割り計算で判定します。
●省エネ目標の達成度とは、設定した目標値(P.93参照)に対する実際の達成度を、CO_2排出量の割合で表したものです。
●CO_2排出量は電気・ガス・水の使用によるCO_2排出量換算の合計、CO_2削減量は太陽光発電などの発電によるCO_2削減量換算の合計になります。

エネメジャー

指定した時間内にお湯(42℃換算)をどれくらい使っているかを測定します。
注)エネメジャーが動作するのは、AiSEG対応エコキュートが接続されている場合のみです。

お湯の計測を始めたい時点でスタートを押し、

計測を終わりたい時点でストップを押します。

湯使用量

●モニター画面は説明のための表示で、実際の表示とは異なります。

モニター別機能一覧

機能 ＼ モニター	HEMSモニター※1 詳細P.26	住まいるサポE型※1 詳細P.27	ビエラ・ポータブルビエラ※2 詳細P.20	スマートフォン・タブレット・ホームスマートフォン 詳細P.20	パソコン 詳細P.20
見える化 詳細P.4〜9	●	●	●	●	●
通知情報機能 詳細P.14	—	—	●※4	—	—
ピークアラーム※3 下記参照 表示	●「電気を使いすぎています」	●「電気を使いすぎています」	●※4「電気を使いすぎています」	—	—
ピークアラーム※3 下記参照 音声	●「電気を使いすぎています」	●「電気を使いすぎています」	—	—	—
宅内からの機器操作・状態確認 詳細P.9	●	●	●	●※5	●
使い方ガイド・エラー表示サポート 詳細P.15	—	—	—	●	—
計測回路・機器名称の自由文入力の操作 詳細P.82・83	—	—	●	●	●
履歴データでのエコレポート作成 詳細P.14	—	—	—	—	●
備考	●卓上・壁掛け兼用 ●電源はACアダプター	●来客応対機能付 ●ワイヤレスセキュリティ機能付 ●壁掛け専用 ●電源は直結型			

注)各画面で約3分間操作がないと、「一定時間無操作のため、終了しました。起動画面に戻ります。」が表示されます。
※1　HEMSモニターと住まいるサポE型の併用はできません。どちらかを選んでお使いください。
※2　AiSEGに登録できるビエラ・ポータブルビエラ(SV-ME5000、SV-ME7000)は、最大5台までです。
※3　別途、過電流検知用CT(MKN747)が必要です。
※4　ポータブルビエラSV-ME1000は、通知情報機能およびピークアラームは利用できません。
※5　スマートフォンはAiSEG対応エアコンのみ、宅外から状態確認とOFF操作が可能です。

ピークアラーム機能

ピークアラームとは、使用電力が契約電力かブレーカ容量を超えそうな場合にお知らせする機能です。

住宅分電盤の種別		電気使用量	
電流制御器ありの場合		100%超〜110%以下	110%超
電流制御器なしの場合		90%超〜100%以下	100%超
お知らせする機器	AiSEG本体	ブザー(ピッピッピッ)　3分おき	ブザー(ピッピッピッ)　10秒おき
	HEMSモニター・住まいるサポE型	ピクト表示(15秒間)と音声(電気を使いすぎています)3分おき	ピクト表示(3分間)と音声(電気を使いすぎています)10秒おき
	ビエラ・ポータブルビエラ	通知表示(15秒間)3分おき ※6	通知表示(3分間)1回のみ ※6

※6　画面はイメージで、実際の表示とは異なります。

通知情報機能

登録したビエラ・ポータブルビエラ(SV-ME5000・SV-ME7000)を視聴中に、昨日の買電量などを自動表示します。

注)●登録されたビエラ・ポータブルビエラがない場合、通知を有効にしても実際には通知されません。
●通知時刻にビエラ・ポータブルビエラとの通信ができない場合は、表示されません。
●HEMSモニター、住まいるサポE型、ポータブルビエラ(SV-ME1000)、ホームスマートフォン、パソコン、スマートフォン、タブレットには通知されません。

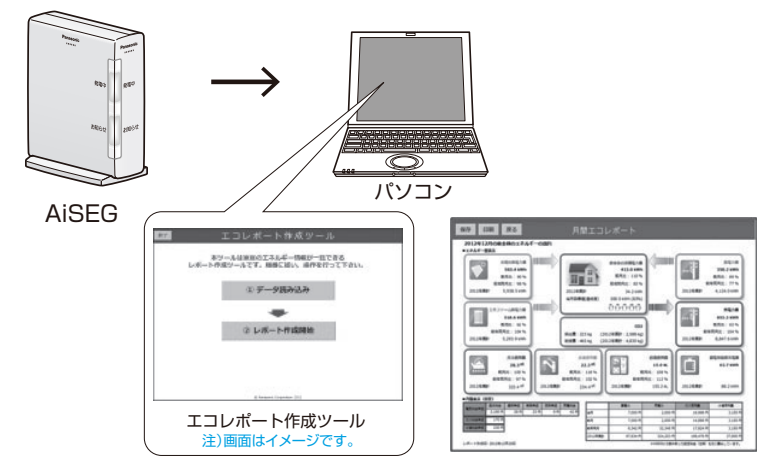
通知情報	内容
昨日の買電量 ※1	昨日の買電量の実績について、買電量と金額換算値を表示します。
昨日の売電量 ※1	昨日の売電量の実績について、売電量と金額換算値を表示します。
今日の買電額 ※1	通知時点までの積算買電量の金額換算値を表示します。
今日の売電額 ※1	通知時点までの積算売電量の金額換算値を表示します。
月間使用電力量目標値に対する達成度 ※1	通知日(毎月1日、11日、21日)時点での目標達成度を表示します。 1日の場合は先月の目標達成度を表示します。
本日の使用電力量の目標値に対する達成度 ※1	通知時点までの目標達成度を表示します。
月間使用電力量目標値超え警告 ※1	月間目標値に対する指定割合を超えた場合、次の通知時に表示します。
売電金額 ※1	売電額が2000円を超えた時点から1000円増加した場合、 次の通知時に表示します。
ピークアラーム(契約電力量に対する利用警告 ※2)	使用電力の瞬時値が、契約電力あるいはブレーカ容量を超えそうな場合に通知します。
エアコン室外温度通知(エコアドバイス)	冷房時：外気温が28℃以下になった場合に表示します。 暖房時：外気温が20℃以上になった場合に表示します。

※1　通知する時刻を自由に設定できます。
※2　契約電力量超過は、AiSEG用過電流検知用CT(MKN747)を使用してAiSEG用エネルギー計測ユニットの定格電流設定に基づいて判定されますので、定格電流設定が正しくないと正常に動作しない場合があります。

エコレポート作成機能

AiSEG本体に保存された電気使用量などの履歴データを、直接パソコンにダウンロード(CSV形式)して、かんたんにエコレポートを作成できます。

注)●出力したデータをご利用いただくためには、当社ホームページにて「エコレポート作成ツール」をパソコンにダウンロードしておく必要があります。
sumai.panasonic.jp/hems/aiseg/
●動作環境は「Excel2002/2003 (WindowsXP)・Excel2007/2010 (Windows7)」で動作確認をしております。
また、注意事項については、ホームページをご確認ください。
●本機能はパソコンのみ使用できます。
●履歴データの記録およびその利用に際しましては、ご利用されるお客様の責任で管理および取り扱いを行ってください。
●本機能はパナソニックサーバーを利用しないでできる機能です。

注)画面はイメージです。

■データの保存期間について

データは計測単位ごとに下記の期間分をAiSEGに保存します。この範囲を超えると、古いデータから順番に新しいデータで上書きされます。

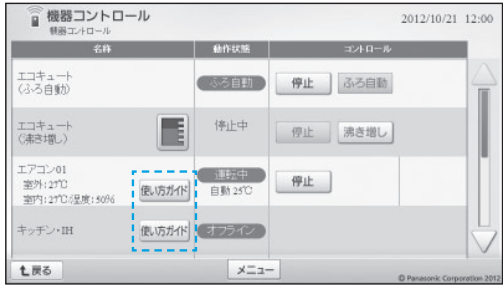
計測単位	保存期間(最大)
30分ごと	32日
1時間ごと	2256時間
1日ごと	489日
1ヵ月ごと	132ヵ月
1年ごと	11年

※Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
※Microsoft、WindowsおよびExcelは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

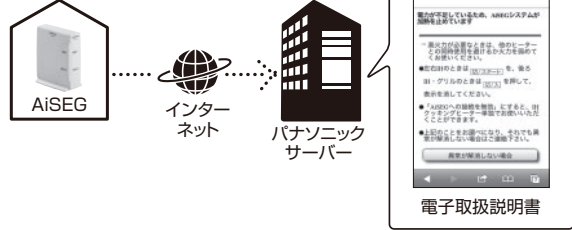
●モニター画面は説明のための表示で、実際の表示とは異なります。

使い方ガイド

スマートフォン・タブレットを、インターネット回線に接続してサーバーサービス（P.99参照）に登録すれば、AiSEGに対応した機器（エアコン、IHクッキングヒーター）で「使い方ガイド」を選ぶと各機器の使い方のアドバイスを読むことができます。

注）●スマートフォン・タブレットをインターネット回線に接続していない場合、HEMSモニター・住まいるサポ E型・ビエラ・ポータブルビエラ・パソコンの場合は「使い方ガイド」が表示されません。
●AiSEG対応エコキュートは「使い方ガイド」に対応していません。

■エラー表示サポート

AiSEGに対応したエアコン、IHクッキングヒーターの本体にエラーが発生した場合、スマートフォンで確認でき、取扱説明書を探す手間を省きます。

注）AiSEG対応エコキュートは「エラー表示サポート」に対応していません。

お知らせ情報機能

お知らせランプが赤色点灯した場合

お知らせ情報がある場合は、AiSEGのお知らせランプが赤色点灯します。
また、モニター画面の メニュー の右側に「お知らせアイコン」が ❶ 表示されます。
注）すべてのお知らせ情報を確認するまで、お知らせランプは赤色点灯し続けます。
下記 1～3 の操作後「エコ記録」と「メンテナンス」情報を確認してください。

お知らせランプが赤色点滅した場合

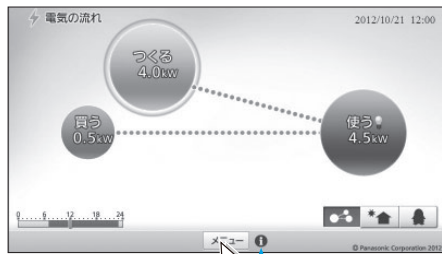
機器に異常がある場合はAiSEGのお知らせランプが赤色点滅します。
また、モニター画面の メニュー の右側に「お知らせアイコン」が ❶ 表示されます。
以下の処置をしてください。 注）すべてのエラー状態が解消されるまで、お知らせランプは赤色点滅し続けます。

1 AiSEGの画面を表示させる

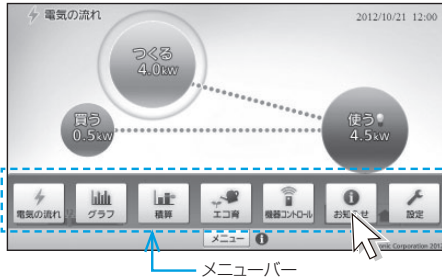
➡ 起動画面が表示されます。

2 メニュー を選ぶ

➡ メニューバーが表示されます。

お知らせアイコン

3 お知らせ を選ぶ

➡ お知らせ（エコ記録）画面が表示されます。

メニューバー

4 エラー のタブを選ぶ

➡ お知らせ（エラー）画面が表示されます。

- 確認していないエラーがある場合、エラータブに ✉（未読）が表示され、更新のあった項目に 新着 が表示されます。
- 新着 がすべて消えている状態で他のタブに切り替えると ✉ 表示が消えます。
- 操作中に 戻る を選ぶと、画面が戻ります。

5 新着アイコン 新着 のついているエラーを確認する

- お知らせ（エラー）画面を開いてから3秒後に 新着 が消えます。
- サーバーサービスの登録（P.99参照）が行われている場合、対処方法を表示できる機器に 詳細 が表示されます。詳細 を選ぶとエラーの対処方法が表示されます。（スマートフォンの場合のみ）
- エラー情報はエラー状態が解消するまで表示されます。

スマートHEMS設置のための確認シート 設計編

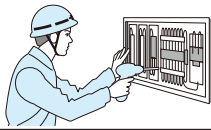
※本シートはスマートHEMS全般についての内容になっております。設置された設備に該当する項目のみチェック「✓」印してください。
未設置に関するところには「－」を入れていただくとわかりやすいです。

分類	チェック	確認事項	備考	参照頁
共通		電気計測をする分岐回路数は決りましたか? 回路数に応じ分岐増設用CTがオプションで必要です。	標準:主幹+分岐8回路 オプション:分岐増設用CT（10·20·30）回路	P33～P36
		分電盤の主幹容量、幹線サイズは?	主幹100A　幹線φ38まで	P31
		分岐増設用CT（100V）は、L1相とL2相に分かれますので回路設計に注意が必要です。	例:分岐増設用CT20回路の場合、L1（奇数回路）10回路、L2（偶数回路）10回路となります。	P35
		分岐回路の名称・電圧・電圧相は決まりましたか?	施工チェックシートを完成してください。 特定1～4は45W以下、特定5～8と増設用は20W以下の場合計測値は、0（ゼロ）となります。	P41～P44
		計測できる200Vは最大8回路です。	太陽光発電や外部発電、ピークアラームなど使用する場合は計測できる200V回路は少なくなります。	P39・P40
		AiSEG用エネルギー計測ユニットの設置場所は?	主幹・特定用中継CTケーブルは1.5mなので基本は住宅分電盤の横に設置。（設置できない場合は距離に応じてCT延長ケーブルを手配）	P34
		AiSEG用エネルギー計測ユニットへの電源（単相3線）の配線方法は?	使用する分電盤や太陽光発電システムを使用の有無などご使用条件により異なります。	P37・P38
		AiSEGとルーター間は2m以上離れてますか?	電波ノイズの影響を避けるため。	P19
		【太陽光発電を使用している場合】 AiSEG用エネルギー計測ユニットを設置する場所はパワーコンディショナから2m以上離れていますか?	電波ノイズの影響を避けるため。	P19
		【太陽光発電を使用している場合】 太陽光連系ブレーカはCTが届く距離にありますか?	必要に応じてCT延長ケーブルを手配してください。	P33
		創蓄連携システム+燃料電池を使用する場合、太陽光発電のパワーコンディショナの増設はできません。		－
		LAN配線設備の計画はできていますか?	AiSEGやHEMSモニター、住まいるサポ E型はLANに接続する必要があります。	P26・P30
		AiSEG設置場所にACコンセントとLANコンセントは用意できていますか?	AiSEGの電源はACアダプタ式なのでコンセント必要。またLANはルーターに接続できるように配線が必要。（LANケーブル別途手配）	P21
HEMSモニター		HEMSモニター設置場所にACコンセントとLANコンセントは用意できていますか?	HEMSモニターの電源はACアダプタ式なのでコンセント必要。またLANはルーターに接続できるように配線が必要。（LANケーブル別途手配）	P26
住まいるサポ E型		住まいるサポ E型は壁面設置です。LANケーブルは用意できていますか?	AC100V直結、LAN配線が必要です。	P30
パソコン・スマートフォン・タブレットで表示		インターネット環境にルーターが設置されていますか?（設置される設計になっていますか）	AiSEGはルーターのLAN側に接続してください。	P21
		【パソコンで表示する場合】 お客様のパソコンのブラウザはIE8.0以降ですか?	WindowsXPパソコンの場合IE8.0へのバージョンアップが必要です。	P20
		【スマートフォン・タブレットで表示する場合】 対応機種か確認しましたか?	Android端末：Android2.3.3以降 iPhone/iPad：iOS5以降	P20
テレビで表示		モニターに使用するテレビは、パナソニック製ビエラですか?	ビエラの対応機種はP.20を参照してください。	P20
ガス・水計測		ガス計測にはパルス発信器付ガスメーター（10リットル/パルス）が必要です。	パルス発信器付ガスメーターを取り扱っているか、ガス事業者様へお問い合わせください。	P51・P52
		水の計測にはパルス発信式流量計（1リットル/パルス）が必要です。	水道設備製造メーカー様に確認してください。	P51・P52
AiSEG対応エアコン		無線アダプター（別途手配）取り付け作業用にエアコンの右側に5cm以上のスペースがありますか?	無線アダプター（CF–TA9）が必要です。	P67
AiSEG対応IHクッキングヒーター		ピークアラーム（過電流検知機能）を使用しますか?	使用する場合は別途過電流検知用CT（MKN747）が必要です。 標準8回路計測のうち2回路分使用します。	P39
AiSEG対応エコキュート		エコキュートと計測ユニット間の配線は準備していますか?	AiSEG非対応のエコキュートの場合は、電気使用量のみ計測可。（この場合はエコキュートと計測ユニット間の配線は不要です。有線配線必要なし）	P51

概要編
設計編
施工編
設定編
トラブル対応編
Q&A

●モニター画面は説明のための表示で、実際の表示とは異なります。

スマートHEMS設置のための確認シート 施工編

※本シートはスマートHEMS全般についての内容になっております。設置された設備に該当する項目のみチェック「✓印」してください。
未設置に関するところには「−」を入れていただくとわかりやすいです。

分類	チェック	確認事項	備考	参照頁
共通		計測ユニットの電源の電圧相は正しいですか?	誤結線の場合、計測値が異常表示。 例:マイナス値が表示	P37・P38
		主幹用CTを取り付ける位置、方向は適切ですか?	誤設置の場合、計測値が異常表示。 例:99.9kWh	P59
		特定1～4はCT(100A)、特定5～8はCT(30A)を使用していますか?	特定1～4にCT(30A)、特定5～8にCT(100A)を使用しないでください。正しく計測できません。	P33・P39
		特定1～8のCTは取り付ける相、方向は適切ですか?	100V:L側に設置 200V:L1側に設置	P59
		特定1～3の回路について、「回路種類設定SW1～4」は適切に設定されていますか?	特定1 SW1: 太陽光発電 or 負荷 特定2 SW2: 外部発電 or 負荷 SW3:(外部発電の場合)太陽光 or エネファーム 特定3 SW4: AiSEG対応エコキュート or 負荷	P60・P61
		特定1～8の回路について、「100V/200V設定SW」は適切に設定されていますか?	太陽光発電、外部発電、エコキュートなど200V機器の場合は200Vに設定	P62
		特定1～8の回路について、100V回路の場合「L1/L2設定SW」は適切に設定されていますか?	誤設置の場合、計測値が異常表示。 例:-1.0kW (マイナス表示) 200Vの場合設定不要。	P62
		照明やコンセントに負荷を接続し正しく使用電力量が表示されるか確認されましたか?	例えば、ドライヤーなど負荷容量の高い機器を接続し、実測してください。主幹は90W以下、特定1～4は45W以下、特定5～8と増設用は20W以下の場合は計測値は0(ゼロ)となります。	P83・P84
増設CT使用時		奇数番号のCTはL1(100V)の負荷、偶数番号のCTはL2(100V)の負荷の計測として使用していますか?	増設CTで200Vの負荷の計測はできません。	P35
過電流検知機能使用時		特定7～8はAiSEG用過電流検知用CT(分割形)が正しく取り付けられていますか?	過電流検知用CT(MKN747)は別途手配が必要です。	P33
		特定7～8の回路について、「回路種類設定SW」は適切に設定されていますか?	SW7:上側(過電流検知有) SW8:リミッター有りの場合上側 リミッター無しの場合下側	P62
		定格電流設定(ロータリースイッチ)は正しく設定されていますか?	リミッターがある場合はリミッターの値に合わせてください。	P62
インターネット環境		AiSEG、HEMSモニター、住まいるサポ E型、パソコン、ビエラは宅内のLAN環境(HUB)に接続できていますか?		P64
		タブレット端末やスマートフォン、ポータブルビエラをモニターとして使用する場合は、無線ルーターを準備しWi−Fi環境が構築できていますか?	無線ルーターはお客様準備品です。	—
ガス·水計測		パルス発信器付ガスメーターからの信号線が計測ユニットの「ガス」端子に正しく接続できていますか?	3線配線。(AE線:φ0.65mm～φ0.9mm) 端子台にて責任分界点となります。	P52
		パルス発信式流量計からの信号線が計測ユニットの「水道」端子に正しく接続できていますか?	2線配線。(AE線:φ0.65mm～φ0.9mm) 端子台にて責任分界点となります。	P52
AiSEG対応エアコン		無線アダプターは正しく取り付けできていますか?		P67
AiSEG対応エコキュート		貯湯ユニットの増設リモコンコードとAiSEG用エネルギー計測ユニットのエコキュート端子が信号線で接続されていますか?	2線配線 CPEV線 φ0.9-1P 20m以内	P51

スマートHEMS設置のための確認シート 設定編

※本シートはスマートHEMS全般についての内容になっております。設置された設備に該当する項目のみチェック「✓印」してください。
未設置に関するところには「−」を入れていただくとわかりやすいです。

分類	チェック	確認事項	備考	参照頁
共通		AiSEGとAiSEG用エネルギー計測ユニットの無線登録をしましたか?	未登録の場合、AiSEGの発電中ランプ(橙色)、お知らせランプ(赤色)が1秒間隔で点滅します。	P65
		計測回路名称を設定しましたか?	設定した名称は分岐回路瞬時値表示画面やグラフの分岐回路使用電力量一覧画面に反映されます。	P81
		時刻設定をしましたか?	時刻を入力しないと、正しく計測データを蓄積できません。(インターネット接続時は自動認識)	P88
ガス·水計測		ガス·水のパルスレート設定をしましたか?	<工場出荷時> ·水:0.001㎥/パルス=1リットル/パルス ·ガス:0.010㎥/パルス=10リットル/パルス	P84
AiSEG対応エアコン		AiSEGにエアコンの無線アダプターを登録しましたか?	「設計·施工ガイド」を参照ください。	P64・P65・P67
		機器名称の設定をしましたか?		P83
AiSEG対応IHクッキングヒーター		AiSEGにIHクッキングヒーターを登録しましたか?	IHクッキングヒーターに同梱の「AiSEGへの登録方法」を参照ください。	P64・P65・P68
		機器名称の設定をしましたか?		P83
AiSEG対応エコキュート		機器名称の設定をしましたか?		P83

【動作確認】

※本シートはスマートHEMS全般についての内容になっております。設置された設備に該当する項目のみチェック「✓印」してください。
未設置に関するところには「−」を入れていただくとわかりやすいです。

分類	チェック	確認事項	備考	参照頁
共通		AiSEGの画面を表示させて、電気の流れ(バブル)画面にバブル(円)と数値が正しく表示されますか?	主幹用CTの取り付けを確認 太陽光発電CTの取り付けを確認 ※計測データは現時点の値です	P85
		を選んで表示される電気の流れ(シンプル)画面の「分岐回路」を選んで表示される分岐回路瞬時値表示画面に回路名称と使用している電力量が正しく表示されますか?	分岐用CTの取り付けを確認 ※計測データは現時点の値です (計測できる最小値は100Vで20W、200Vで40Wです。)	P85
外部発電		エネファーム(または、エコウィル)を使用している場合、を選んで表示される電気の流れ(シンプル)画面で、使用状況に応じて「外部発電」の数値が表示されますか?	配線や特定2のCTを確認	P85
ガス·水計測		[メニュー]を選んでからを選んで表示される積算画面で、[その他]を選び、使用状況に応じて「水」または「ガス」の数値が表示されますか?	水やガスを実際に使用できない場合は、メーター側のリード線を短絡させ擬似的に信号を発生させてください。	P86
AiSEG対応エアコン		[メニュー]を選んでからを選んで表示される機器コントロール画面で、登録したエアコンの「停止」操作が行えますか?	登録を確認	P9
AiSEG対応IHクッキングヒーター		[メニュー]を選んでからを選んで表示される機器コントロール画面にIHの動作状態が表示されますか?	登録を確認	P9
AiSEG対応エコキュート		[メニュー]を選んでからを選んで表示される積算画面で、[その他]を選び、使用状況に応じて「湯」の数値が表示されますか?	エコキュートの電源(ブレーカ)の確認 配線の確認	P85

■使用上のご注意

●専用モニター（HEMSモニター･住まいるサポE型）を使用しない場合でも、本システムは使用可能（各種設定も含め）です。ただし、スマートフォン･タブレット･ポータブルビエラなど無線機器を使用する場合は、必ず無線ルーター（市販品）が必要です。このため新築時は、HEMSモニターまたは住まいるサポE型の設置をおすすめします。

●AiSEGは定期的にAiSEG用エネルギー計測ユニットと通信を行い、時間あたりの電力量のデータをメモリに保存しています。長期間ACアダプターが抜けているなど電源が入っていない状態が継続すると、その間のデータが正しく記録されないことがあります。

●AiSEGでは発電電力の測定データを表示しますが、パワーコンディショナで表示されるデータと若干異なる場合があります。

●エコキュート接続時、本製品で表示される給湯量はエコキュートより出湯した量を42℃換算した目安湯量※です。タンクで貯湯している高温のお湯の使用湯量ではありません。

※エコキュートの機種によっては、リモコンで設定した温度で、タンクから出湯した量を表示するものもあります。

●2012年6月以降発売のエコキュートは、AiSEGとエコキュートリモコンでデータ受信のタイミングが違うため、AiSEGの画面データとエコキュートリモコンの給湯量メーターのデータが異なる場合があります。

●計測された電力、水使用量、ガス使用量のデータに基づいて、省エネ効果を実感しやすいように使用量や目安料金を表示します。これらは目安値ですので、電力会社、水道局、ガス会社などからの請求書に記載される使用量、金額と一致するものではありません。あらかじめご了承ください。

■無線LAN製品のセキュリティに関するご注意

●無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行っていない場合、次のようなセキュリティ問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
･ID、パスワード、通信画像やEメール
などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人のネットワークへアクセスし、
･個人情報や機密情報を取り出す（情報漏えい）
･特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
･傍受した通信内容を書き替えて発信する（改ざん）
･コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
などの行為をされてしまう可能性があります。

注）上記セキュリティ問題が発生する可能性を少なくするためには、お客様が無線LAN製品をご使用になる前に、必ず無線LAN製品のセキュリティに関する設定を無線LAN製品の説明書にしたがって行ってください。

■設計上のご注意

●AiSEGは屋内専用です。屋外では使用しないでください。

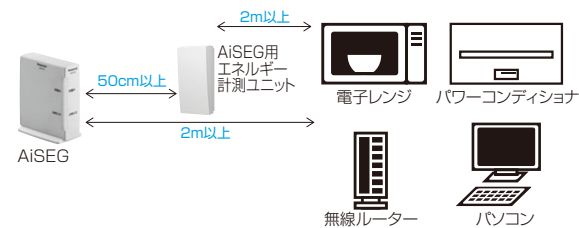
注）AiSEGとルーター（市販品）、HEMSモニター、住まいるサポE型の設置場所が近傍でない場合、あるいは別の部屋に設置する場合、宅内のLAN環境を構築してください。

●AiSEGはランプによるお知らせ機能を持ちますので、なるべく見えやすい場所に設置してください。

●AiSEGとAiSEG用エネルギー計測ユニット、AiSEG対応機器との電波到達距離は、障害物のない場所での水平見通し距離で約100mです。

●到達範囲内でも電波の特性により電波が弱くなる場所がありますので注意してください。

●AiSEGとAiSEG用エネルギー計測ユニットは、50cm以上離して使用してください。

●当社の小電力型ワイヤレス商品（住まいるサポ、ワイヤレス受信器、発信器、ワイヤレス連動型住宅用火災警報器、ワイヤレススイッチなど）および、パワーコンディショナ･電子レンジ･パソコンなどの家庭用電気製品（ルーターを含む）･OA機器とは2m以上離してください。離さないと電波ノイズを受けたり電波の到達距離が短くなります。

●AiSEGはAC100V機器（テレビを含む）およびその電源線から20cm以上離して使用してください。近すぎると正常に動作しない場合があります。

●使用場所ではあらかじめ動作確認を行ってください。設置後、使用環境（電波環境）が変わることがありますので、定期的に電波到達確認を行ってください。

●送信電波が医用電気機器に与える影響はきわめて少ないものですが、安全管理のため本製品は医用電気機器から20cm以上離して使用してください。

●AiSEGは下記のような使用環境では、電波ノイズを受けたり電波の到達距離が短くなります。このような場合は動作しないことがありますのでご注意ください。

●機器間に金属や鉄筋コンクリートなどの電波を通しにくい障壁がある。
●機器間にある壁面内の断熱材にアルミ箔を貼り付けたグラスウールを使用している。
●機器の周辺が金属物で囲まれている。
（スチールキャビネットの間、カラオケボックスなど）
●金属物の壁面に機器を取り付けている。
●操作する人の体の向きで電波を遮っている。
●機器の近くで、直流電圧で駆動するベルやモーターなどの機器が動作している。
●機器の近く（10m以内）で、マイクロ波治療器を使用している。
●近くに、テレビ･ラジオの送信所近辺の強電界地域または各種無線局がある。

注）余剰買取方式に対応した仕様となっているため、全量買取方式では使用できません。

■モニター対象機器一覧（2013年4月現在）

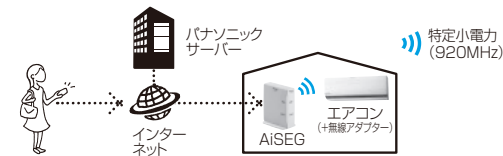
パソコン		Microsoft Internet Explorer8.0 以降
スマートフォン･タブレット		（Android端末）Android2.3.3以降　（iPhone･iPad）iOS5以降の標準ブラウザ
ホームスマートフォン		VS-HSP200S
テレビ	ポータブルビエラ（ポータブル地上デジタルテレビ）	SV-ME1000・SV-ME5000・SV-ME7000
	プラズマテレビ ビエラ	VT60シリーズ・GT60シリーズ・ZT5シリーズ・VT3シリーズ・R2シリーズ・Z1シリーズ・VT5シリーズ・GT5シリーズ・GT3シリーズ・VT2シリーズ V1シリーズ・ST3シリーズ・V2シリーズ・G1シリーズ・S3シリーズ・G2シリーズ・X1シリーズ・RT2Bシリーズ・S2シリーズ
	液晶テレビ ビエラ	FT60シリーズ・DT60シリーズ・E60シリーズ・X6シリーズ・WT5シリーズ・DT5シリーズ・DT3シリーズ・R2Bシリーズ・G1シリーズ・X50シリーズ ET5シリーズ・G3シリーズ・G2シリーズ・X1シリーズ・E5シリーズ・R3シリーズ・S2シリーズ・C1シリーズ・X5シリーズ・X3シリーズ X2シリーズ・C10シリーズ・RB3シリーズ・D2シリーズ・C2シリーズ・F1シリーズ・R2シリーズ・V1シリーズ

注）●エネルギーの見える化は宅外から見ることはできません。
●AiSEGはWindowsXP（IE8.0）、P-01D（Android2.3.3）、iPhone4（iOS5）の標準ブラウザで表示を確認しております。今後発売される対象機器の全ブラウザに対しての表示を保証するものではありません。
●スマートフォン･タブレット･パソコンをWi-Fiで利用する場合およびポータブルビエラを利用する場合は、別途無線ルーター（市販品）が必要です。
●ポータブルビエラSV-ME1000は通知情報機能およびピークアラームは利用できません。
●SV-ME1000、VS-HSP200SはAndroid搭載。スマートフォン･タブレットと同じ設定･操作となります。

■AiSEG対応機器　対象機種品番（パナソニック製）（2013年4月現在）

エアコン	Xシリーズ	CS-X223C-W・CS-X223C-C・CS-X253C-W・CS-X253C-C・CS-X283C-W・CS-X283C-C・CS-X283C2-W・CS-X283C2-C・CS-X363C-W CS-X363C-C・CS-X363C2-W・CS-X363C2-C・CS-X403C-W・CS-X403C-C・CS-X403C2-W・CS-X403C2-C・CS-X563C2-W・CS-X563C2-C CS-X633C2-W・CS-X633C2-C・CS-X713C2-W・CS-X713C2-C・CS-223CXR-W・CS-253CXR-W・CS-283CXR-W・CS-363CXR-W・CS-403CXR-W CS-403CXR2-W・CS-563CXR2-W・CS-223CX-W・CS-223CX-C・CS-253CX-W・CS-253CX-C・CS-283CX-W・CS-283CX-C・CS-283CX2-W CS-283CX2-C・CS-363CX-W・CS-363CX-C・CS-363CX2-W・CS-363CX2-C・CS-403CX-W・CS-403CX-C・CS-403CX2-W・CS-403CX2-C CS-563CX2-W・CS-563CX2-C・CS-633CX2-W・CS-633CX2-C・CS-713CX2-W・CS-713CX2-C・CS-633CXR2-W・CS-713CXR2-W
	UXシリーズ	CS-UX253C2-W・CS-UX283C2-W・CS-UX403C2-W・CS-UX563C2-W
	SXシリーズ	CS-SX223C-W・CS-SX253C-W・CS-SX283C-W・CS-SX363C-W・CS-SX403C2-W・CS-SX563C2-W・CS-223CSX-W・CS-253CSX-W・CS-283CSX-W CS-363CSX-W・CS-403CSX2-W・CS-563CSX2-W
	Tシリーズ	CS-T223C-W・CS-T223C-C・CS-T253C-W・CS-T253C-C・CS-T283C-W・CS-T283C-C・CS-T283C2-W・CS-T283C2-C・CS-T363C2-W CS-T363C2-C・CS-T403C2-W・CS-T403C2-C・CS-223CT-W・CS-223CT-C・CS-253CT-W・CS-253CT-C・CS-283CT-W・CS-283CT-C CS-283CT2-W・CS-283CT2-C・CS-363CT2-W・CS-363CT2-C・CS-403CT2-W・CS-403CT2-C・CS-T563C2-W・CS-T563C2-C・CS-563CT2-W CS-563CT2-C
	Aシリーズ	CS-22PAE1-W・CS-25PAE1-W・CS-28PAE1-W・CS-36PAE1-W・CS-40PA2E1-W・CS-56PA2E1-W・CS-63PA2E1-W・CS-71PA2E1-W
エコキュート		HE-KU37FQS・HE-KU37FQMS・HE-KU46FQS・HE-KU46FQMS・HE-K37FQS・HE-K37FQMS・HE-K37FSS・HE-K37FSMS・HE-K46FQS HE-K46FQMS・HE-K46FSS・HE-K46FSMS・HE-AKU37FQS・HE-AKU46FQS・HE-AK37FQS・HE-AK46FQS・HE-SU46FQS・HE-SU37FQS HE-S46FQS・HE-S37FQS・HE-460SUFQS・HE-370SUFQS・HE-460SFQS・HE-460SFQMS・HE-370SFQS・HE-370SFQMS・HE-KU46FXS HE-AKU46FXS・HE-AK46FXS・HE-K46FXS・HE-KU37FXS・HE-AKU37FXS・HE-AK37FXS・HE-K37FXS・HE-V20FQES・HE-V20FQFS HE-V20FQS・HE-V20FQMS
IHクッキングヒーター		KZ-R573SG

注）AiSEG対応エアコン接続時は、別途無線アダプター（CF-TA9）（オープン価格）が必要です。

外出先からエアコンを遠隔操作（OFFのみ）する場合

スマートフォンと専用の「パナソニックスマートアプリ」で
エアコンを遠隔操作（OFFのみ）できます。（無線アクセス）

注）●外出先からは、エアコンの状態確認およびOFF以外の操作はできません。
●Android™スマートフォン、iPhoneに対応。（別売品が必要です。）

「パナソニックスマートアプリ」の ダウンロード方法

お手持ちのスマートフォンに専用の「パナソニックスマートアプリ」をダウンロード。
･専用アプリは無料です。
･ダウンロードには別途通信料が発生します。

または、http://panasonic.jp/pss/ap/にアクセスしてください。
スマートフォンを使用する場合の登録手順の詳細はP.73をご覧ください。

●専用の「パナソニックスマートアプリ」は、Android OSバージョン2.3.3以降･iPhone iOS5以降に対応しています。
●専用の「パナソニックスマートアプリ」のダウンロード（Android™スマートフォンはGoogle Play™、エアコンのみiPhoneはApp Storeからもダウンロード可能）と、サービスのご利用にはログインIDが必要です。
「パナソニックスマートアプリ」をダウンロードできない機種では、ご利用いただけません。ログインIDはパナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」よりご登録いただけます。

CLUB Panasonic についてはこちらのサイトをご覧ください。
http://club.panasonic.jp/

●専用の「パナソニックスマートアプリ」のダウンロードおよびサービスのご利用には通信費がかかります。
●通信状況が悪い場合には、ご利用できません。
●専用の「パナソニックスマートアプリ」のサービス内容･スマートフォンの画面デザインは、予告なく変更する場合があります。
●「無線アクセス」機能のご利用には、別売の無線アダプター（CF-TA9）が必要です。
●ブロードバンド回線（常時接続）が必要です。
●無線ルーターやハブなどにLANポートの空きが必要です。
●Android™は、Google Inc. の商標または登録商標です。iPhoneはApple Inc. の商標です。

システム構成図

※1 まとめてねットは、HEMSモニターまたは住まいるサポ E型 を有線LAN配線するための設備です。新築時におすすめします。また既築の場合など、無線ルーターと直接、HEMSモニターまたは住まいるサポ E型 を接続する場合は、まとめてねットは不要です。
※2 住まいるサポ E型 のアンテナはワイヤレス防犯センサー、ワイヤレス連動型住宅用火災警報器との連携時に利用するものです。AiSEGとは通信できません。
※3 対応機種についてはP.20をご確認ください。エネルギーの見える化は宅外から見ることはできません。最大5台まで接続可能です。
※4 主幹漏電ブレーカを切らずに計測ユニットの電源を切れるように、ブレーカを設置してください。また計測ユニットは、単相3線の電源配線が必要です。
※5 創蓄連携システム接続時、パナソニック製燃料電池のみ併設可。ただし、停電時パワーステーションの自立出力が100Vのため、燃料電池は動作しません。さらに、創蓄連携システムと燃料電池を併設する場合は、太陽光発電のパワーコンディショナは増設できません。

注) ●AiSEGとルーター(市販品)、HEMSモニター、住まいるサポ E型 の設置場所が近傍でない場合、あるいは別の部屋に設置する場合、宅内のLAN環境を構築してください。
●余剰買取方式に対応した仕様となっているため、全量買取方式では使用できません。
●掲載写真の画面は、はめ込み合成です。実際の画面とは異なる場合がございます。
●イラストや図の内容はイメージです。

AiSEG／AiSEG用エネルギー計測ユニット	品番	品名	希望小売価格	用途
新 AiSEG ＋ AiSEG用エネルギー計測ユニット	MKN7321HE	AiSEGセット品 AiSEG+ AiSEG用エネルギー計測ユニット (フカサ124mm)※1	107,000円〈税抜〉	AiSEG 詳細 P.25 エネルギーの「見える化」やAiSEG対応機器の自動コントロールなどを行う、システムの中核機器です。 AiSEG用エネルギー計測ユニット 詳細 P.31 発電量・売電量などを計測して、AiSEGにデータを送信します。 <付属品> 主幹、分岐、太陽光発電、エコキュートなどを計測(最大8回路)するCTケーブルや中継ケーブルが付属しています。 主幹・特定用 CTケーブル 0.9m／主幹・特定用 中継ケーブル 1.5m／• 主幹用CT分割形 2コ／• 特定用CT(100A) 貫通形 4コ／• 主幹用CTハーネス／• 特定用CT(30A) 貫通形 4コ
	MKN7322HE	AiSEGセット品 AiSEG+ AiSEG用エネルギー計測ユニット (フカサ111mm)※2	107,000円〈税抜〉	

注)●エネルギー計測ユニットは、当社製住宅分電盤(コンパクト21)のデザインと統一できるよう2タイプ準備しています。
※1 北海道・東北・東京・中部・北陸・九州各電力管内向け
※2 関西・中国・四国・沖縄各電力管内向け
●リミッタースペース付やリミッタースペースなしでヨコ688mm以上の住宅分電盤コスモパネル コンパクト21と併設する場合、フカサ124mmの計測ユニットをご使用ください。リミッタースペースなしでヨコ654mm以下の住宅分電盤と併設する場合、フカサ111mmの計測ユニットをご使用ください。

AiSEG用エネルギー計測ユニット別売オプション	品番	品名	希望小売価格	用途	詳細ページ
新 分岐増設用中継ケーブル 1.5m (L1用)と(L2用)各1本／分岐増設用CTケーブル (L1用)と(L2用)各1本／増設用CT(30A)貫通形 10コ／分岐増設用CT (上記はMKN74410の場合)	MKN74410	AiSEG用分岐増設用CT(30A) (ケーブル長1.5m)(10回路)	15,000円〈税抜〉	住宅分電盤の分岐回路数を増やす場合に使用するCT(ケーブル付)です。 • AiSEG用エネルギー計測ユニットに付属の主幹・特定用CTで計測できる回路数は、最大で8回路です。 注)付属の増設用CTは30A(貫通形)です。	P.35
	MKN74420	AiSEG用分岐増設用CT(30A) (ケーブル長1.5m)(20回路)	30,000円〈税抜〉		
	MKN74430	AiSEG用分岐増設用CT(30A) (ケーブル長1.5m)(30回路)	45,000円〈税抜〉		
	MKN744301	AiSEG用分岐増設用CT(30A) (ケーブル長1.5m)(5+25回路 自立分電盤用) 注)創蓄連携システム用バックアップ住宅分電盤分岐計測用のCTから5回路分備わっています。	50,000円〈税抜〉		

AiSEG用エネルギー計測ユニット別売オプション	品番	品名	希望小売価格	用途	詳細ページ
新 CT延長ケーブル(分岐)	MKN74503	AiSEG用分岐CT延長ケーブル (30A/100A)(3m)	2,000円〈税抜〉	特定CTや増設CTへの長さが不足する場合に、AiSEG用分岐CT延長ケーブルを使って、分岐ごとに延長できます。 注)分岐回路(CT1コ)ごとに必要です。	P.33 P.34
	MKN74510	AiSEG用分岐CT延長ケーブル (30A/100A)(10m)	4,000円〈税抜〉		
	MKN74520	AiSEG用分岐CT延長ケーブル (30A/100A)(20m)	6,000円〈税抜〉		
	MKN74530	AiSEG用分岐CT延長ケーブル (30A/100A)(30m)	9,000円〈税抜〉		
新 CT延長ケーブル(主幹)	MKN74603	AiSEG用主幹CT延長ケーブル (3m)	2,500円〈税抜〉	主幹用CTへの長さが不足する場合に、AiSEG用主幹CT延長ケーブルを使って延長できます。	
	MKN74610	AiSEG用主幹CT延長ケーブル (10m)	5,000円〈税抜〉		
	MKN74620	AiSEG用主幹CT延長ケーブル (20m)	8,000円〈税抜〉		
	MKN74630	AiSEG用主幹CT延長ケーブル (30m)	12,000円〈税抜〉		
新 過電流検知用CT	MKN747	AiSEG用過電流検知用CT (2コ)(分割形)	12,000円〈税抜〉	ピークアラーム機能を利用時やIHクッキングヒーター(ピーク制御機能を利用時)を使用する場合に必要です。	

専用モニター類	品番	品名	希望小売価格	用途	詳細ページ
新 HEMSモニター	MKN710	HEMSモニター(7型)	94,000円〈税抜〉	エネルギー表示や、AiSEG対応機器の操作ができます。	P.26
新 住まいるサポ E型	WQH700W	住まいるサポ E型 2:2親機(露出型) (7型)	96,000円〈税抜〉	エネルギー表示や、AiSEG対応機器の操作ができます。 また、インターホン親機としても使えます。 さらに、ワイヤレスの防犯センサーや住宅用火災警報器との連動や、電気錠システムの操作も可能です。 注)副親機や通話副親機も準備しています。	P.27
カメラ付ドアホン子器	WQD872B	カラーカメラ付ドアホン子器 (広角)(露出型) (警報表示付)(オフブラック)	25,000円〈税抜〉	広い範囲を撮影でき、ズーム機能も持つドアホン子器です。	P.28

HA端子(JEM-A)対応IFU	品番	品名	希望小売価格	用途	詳細ページ
モジュラジャック式	WTF47204WK	埋込HA端子(JEM-A)IFU (接続ケーブル1.9m付) (モジュラジャック式)	4,230円〈税抜〉	エアコン・床暖房をHA端子(JEM-A)付機器に接続するための器具です。 別途プレート(WTF7003W) 希望小売価格 110円〈税抜〉	P.51
端子式	WTF47214WK	埋込HA端子(JEM-A)IFU (接続ケーブル1.9m付) (端子式)	4,230円〈税抜〉		

まとめてねット	品番	品名	希望小売価格	用途	詳細ページ
	WTJ5045	宅内LANパネル まとめてねット ギガ	39,500円〈税抜〉	インターネット、ONU/ADSLモデム、ルーターなどのLAN配線が、1ヵ所でまとめて行えます。 電話配線にも対応しています。 ・「まとめてねット」などのマルチメディア対応配線システムの詳細は、専用カタログをご覧ください。	——

AiSEG

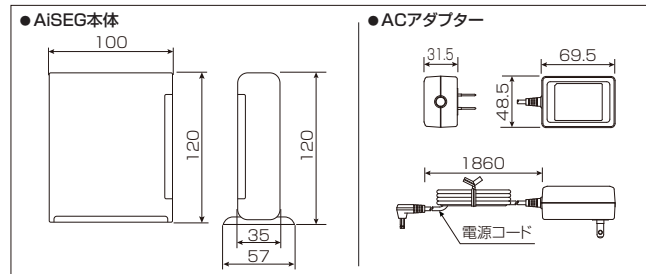
住まいの設備や家電をつなぎ、エネルギーの「見える化」とコントロールのサポートを行います。

AiSEGは単品販売はいたしません。
AiSEG+AiSEG用エネルギー計測ユニットのセット品番についてはP.23をご覧ください。

■特長

- 配線不要のワイヤレス式。
  注）ルーターとの接続は有線になります。
- 室内のどこにでも設置できるコンパクト設計。
  注）電源はACアダプタ式なので近くにコンセントが必要です。

■寸法図（寸法単位：mm）

■仕様

電源電圧	ACアダプター 入力：AC100V 50／60Hz 出力：DC6V 1A
LANポート	10BASE-T・100BASE-TX （RJ45モジュラジャック） （全/半二重・オートネゴシエーション） 注）LANコネクタ部は1ポートのみです。
消費電力	約3.5W
使用周波数	全11波中の1波を使用 周波数は自動設定

時刻停電補償	1時間
電力計測周期	30分 ※
電波の到達可能距離	障害物のない場所での水平見通し距離約100m （周囲環境により異なります。）
使用周囲温度	0℃〜40℃
付属品	ACアダプター（1コ）、取付台（1コ）、化粧シール（1枚）、取付用木ネジ（2本）、取扱説明書（1冊）、かんたんガイド（1枚）、設定マニュアル（1冊） 注）LANケーブルは付属していません。

※注）AiSEGに保存される計測データは最小30分単位です。

■各部のなまえとはたらき

発電中ランプ
太陽光発電中/売電中：ゆっくり青色点滅
太陽光発電中/買電中：ゆっくり橙色点滅

お知らせランプ
- 通常：消灯
- エコ記録更新時：赤色点灯
- メンテナンス情報更新時：赤色点灯
- エラー発生時：赤色点滅

■背面

リセットボタン
先の細い物で5秒以上長押しすると、「アクセスパスワード・ビエラの登録情報・ネットワーク情報」を初期化します。その他の登録情報・計測データは消去されません。

登録ボタン
先の細い物で短押し（1秒以内）すると、登録を開始します。
登録スイッチの切り替えにより、以下の機器が登録できます。
[登録スイッチ：TV側] テレビを登録します。
[登録スイッチ：無線側] AiSEG用エネルギー計測ユニット・AiSEGに対応した機器を登録します。

MEMO
リセットボタンと登録ボタンを同時に5秒以上長押しすると、工場出荷時の状態にリセットします。

状態ランプ
AiSEGのインターネット接続状態を表示します。
- 点灯：正常
- 連続早点滅（1秒間に2回）：設定モード
- 点滅（1秒間に1回）：点滅回数と色により、以下の状態であることを示します

点滅回数	色	内容
連続点滅	緑	IPアドレス取得中
2回	緑	ルーター未接続
3回	緑	インターネット回線未接続
4回	赤	IP重複エラー
5回	赤	機器エラー

約3秒ごとに上記点滅回数をくり返します。（連続点滅を除く）

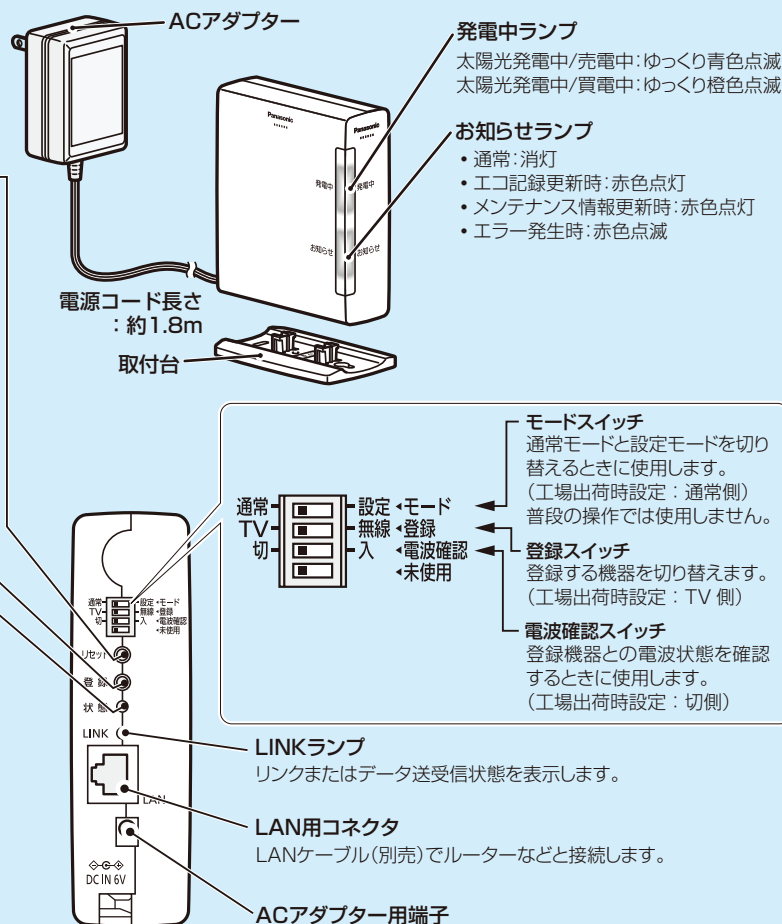
モードスイッチ
通常モードと設定モードを切り替えるときに使用します。
（工場出荷時設定：通常側）
普段の操作では使用しません。

登録スイッチ
登録する機器を切り替えます。
（工場出荷時設定：TV側）

電波確認スイッチ
登録機器との電波状態を確認するときに使用します。
（工場出荷時設定：切側）

LINKランプ
リンクまたはデータ送受信状態を表示します。

LAN用コネクタ
LANケーブル（別売）でルーターなどと接続します。

ACアダプター用端子

注）●AiSEGは予備電源（バッテリー）を内蔵していませんので、停電の場合は動作しません。ただし、蓄積された履歴データおよび設定データは消去されません。
（履歴データの場合、停電直前の最大1時間分のデータが消去されることがあります。）
●停電復旧後安定動作に入るのに、10分程度かかります。しばらく待ってから再操作してください。

HEMSモニター

電気の「つくる」「ためる」「つかう」「買う」「売る」を7型の画面で表示します。

MKN710 希望小売価格94,000円（税抜）
HEMSモニター（7型）

■特長

- 7型画面で簡単操作、デザインすっきりのタッチパネル。
- 太陽光発電やエコキュートのヒートポンプ給湯などを含む家庭の電気・ガス・水の使用状況を表示。
- AiSEG対応機器やJEM-A機器の状態確認や操作が可能。
- AiSEGのピークアラーム設定時、音声と画面で通知。
  注）電源はACアダプタ式なので近くにコンセントが必要です。

■仕様

電源電圧	ACアダプター 入力：AC100V 50／60Hz 出力：DC6V 1.5A
消費電力	待機時：約1.5W　動作時：約10.0W
画面	7.0型カラーTFT液晶（WVGA）
画面明るさ調整	3段階切替可能
適合規格	VCCI クラスB（情報技術装置）
LANポート	10BASE-T・100BASE-TX（RJ45モジュラジャック） （全/半二重・オートネゴシエーション） 注）LANコネクタ部は1ポートのみです。
時刻停電補償	約1時間
使用温度範囲	0〜40℃
付属品	ACアダプター（1コ）、卓上ベース（1コ）、取付金具（1コ）、取付用タッピングネジ（2本）、取扱説明書（1冊） 注）LANケーブルは付属していません。

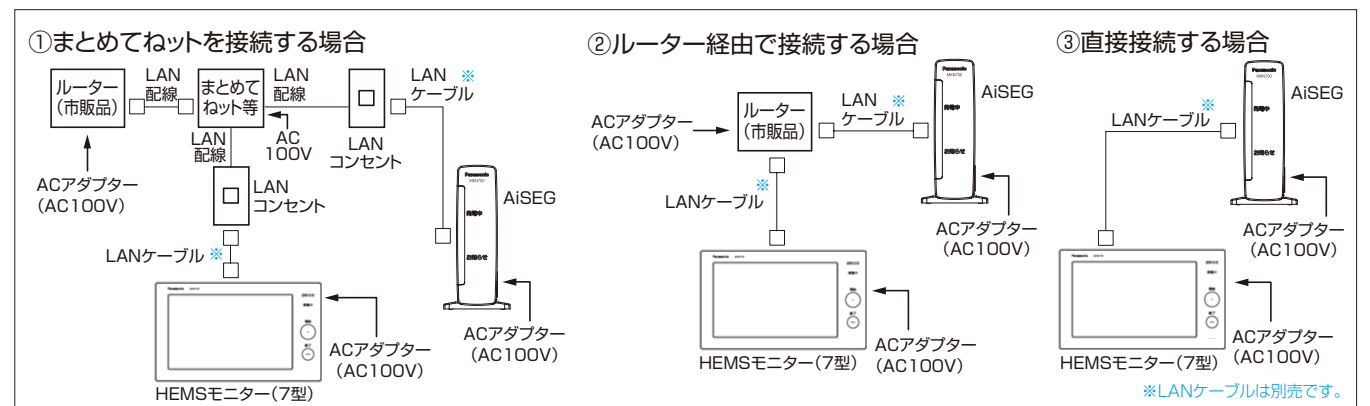
■寸法図（寸法単位：mm）

■各部のなまえとはたらき

お知らせランプ
異常内容がある場合に赤色点滅します。
●開始ボタンを押すと内容が表示されます。

発電中ランプ
太陽光発電中で売電中にゆっくり青色点滅、買電中にゆっくり橙色点滅します。
●待機状態（画面に何も表示されていない状態）でも太陽光発電中であれば点滅します。
●発電停止中は消灯します。

開始ボタン

■システム系統図

注）●ルーター（市販品）をご使用の場合は、施工前にあらかじめルーターをご用意ください。ルーターがないと接続や設定が行えません。
●AiSEGとルーター（市販品）、HEMSモニターの設置場所が近傍でない場合、あるいは別の部屋に設置する場合は、宅内のLAN環境を構築してください。
●まとめてネットなどのマルチメディア配線器具を使用しない場合は、HEMSモニターとAiSEG間のLAN配線にご注意ください。例えば上記②の場合はHEMSモニターとAiSEGをLAN接続するために、施工設定時にルーターが必要です。

HEMSモニターと同等の表示機能を持ち、インターホン親機としても使えます。

新

WQH700W
希望小売価格
96,000円〈税抜〉
住まいるサポE型
2：2親機
（露出型）（7型）

■特長

- 7型画面で簡単操作、デザインすっきりのタッチパネル。
- 太陽光発電やエコキュートのヒートポンプ給湯などを含む家庭の電気・ガス・水の使用状況を表示。
- AiSEG対応機器やJEM-A機器の状態確認や操作が可能。
- インターホン親機として来客応対や室内間通話が可能。
- ワイヤレス機器（住宅用火災警報器、セキュリティ機器など）が利用でき、住まいの安全性をアップ。
- 電気錠システムの操作も可能。（2回路まで）
- AiSEGのピークアラーム設定時、音声と画面で通知。

■仕様

電源電圧		入力: AC100V　50/60Hz			
消費電力		待機時：約2.5W　動作時：約18.0W			
通話方式		音声自動切替方式			
画面		7.0型カラーTFT液晶			
画面明るさ調整（全体）		7段階切替可能			
呼出音量		4段階切替可能（大、中、小、切）			
呼出音	呼出警報先	音色	音量（dBA/m）		
			大	中	小
	ドアホン1	ピンポンピンポン	約75	約62	約50
	ドアホン2	ピンポン			
	室内呼出音	プー			
警報音	防犯警報音	ヒュンヒュンヒュン 防犯異常発生	70以上		
	非常警報音	ピーポーピーポーピーポー 非常発生			
	火災警報音	ピーポーピーポーピーポー ピーポーピーポーピーポー 火災警報器が作動しました。確認してください。			
	ピークアラーム	ピーピーピー 電気を使いすぎています。			
増設スピーカー		70以上			
通話時間		1分間で自動OFF（延長あり）			
ワイヤレスセキュリティ		送信出力	10mW		
		使用周波数	426.7625MHz (CH.1) 426.7875MHz (CH.3) 426.8125MHz (CH.5) 426.8375MHz (CH.7) の1波 ※1		
		電波到達距離	約80m ※2		
伝送方式		2線式（無極性）			
録画仕様		1件につき静止画8枚（最大256件）※3			
時刻停電補償		約1時間（録画画像は停電時も消えません）			
使用温度範囲		0～40℃			

適合スイッチボックス ※4			JIS適合　2コ用スイッチボックス ※5		
LANポート			10BASE-T・100BASE-TX（RJ45モジュラジャック）（全/半二重・オートネゴシエーション）注）LANコネクタ部は1ポートのみです。		
接続機器	カラーカメラ付ドアホン子器（警報表示機能付、広角）		WQD852S/B/Y (薄型) WQD862B/Y (薄型・金属プレート) WQD827B, WQD828B (FF) WQD872S/B/Y		合わせて2台まで
	ドアホン子器		WQD500A		
	副親機		WQH750W		いずれか1台
	通話副親機		WQH770W, WQH771W		
	AiSEG ※6		AiSEG（1台）		
	報知出力	光る増設スピーカー/増設スピーカー	WQN970W（3台まで）またはEC95352（1台まで）		
	HA端子	電気錠操作器（HA端子）2回路	WQN4103W/WQN4133WKなど JEM-A対応他社製電気錠操作器も接続可能		
	ワイヤレス火災警報器		住宅用火災警報器（電池式ワイヤレス連動型）	親器：SH32717	1台まで
	ワイヤレスセキュリティ		ワイヤレスセキュリティ各種送信器	ECD3470A/H, ECD3472A/H, ECD3474A/H, ECD2490A/H, ECD3420A/H, ECD2305, ECD2308	30台まで
			警戒セット・解除発信器	ECD3320	7台まで
			ワイヤレス警報ランプ付ブザー受信器	ECD6130K	台数制限 ※7 なし（電波の届く範囲内）
			ワイヤレス中継器（ワイヤレスセキュリティ用）	ECD3100	2台まで

※1　周波数設定スイッチで選択
※2　障害物のない場所での水平見通し距離（周囲環境により異なります）
※3　録画は、WQH700Wのフラッシュメモリに保存されます。画像をパソコンへ移動させるためにSDカードを使用します。
　　適合SDメモリーカード（推奨）：パナソニック製SD（2GB）、SDHC（4～32GB）。SDメモリーカードは付属していません。
※4　AC100V配線と小勢力配線の間にはセパレータ（DM8601）を取り付けてください。
※5　1個用スイッチボックスでも施工可能です。
※6　AiSEGへの接続にはLAN配線またはLANケーブル（別売）が必要です。
※7　一括制御になります。個別に点灯制御はできません。

注）●住まいるサポE型と電気錠操作ユニット（2回路）を2回路ともJEM-A接続される場合は、別途1本JEM-Aコネクタケーブル（WQN412W7300／希望小売価格500円〈税抜〉をご用意してください。1本は電気錠操作ユニットに同梱。
●上下左右50cm以内には、障害物がないように取り付けてください。埋込設置はしないでください。
●ネットアダプタ（住まいるサポ用）、携帯電話アダプタ（住まいるサポ用）には接続できません。
●住まいるサポW型とは、接続できる機器や動作に違いがありますのでご注意ください。
●SDメモリーカードに計測データはダウンロードできません。

■寸法図（寸法単位：mm）

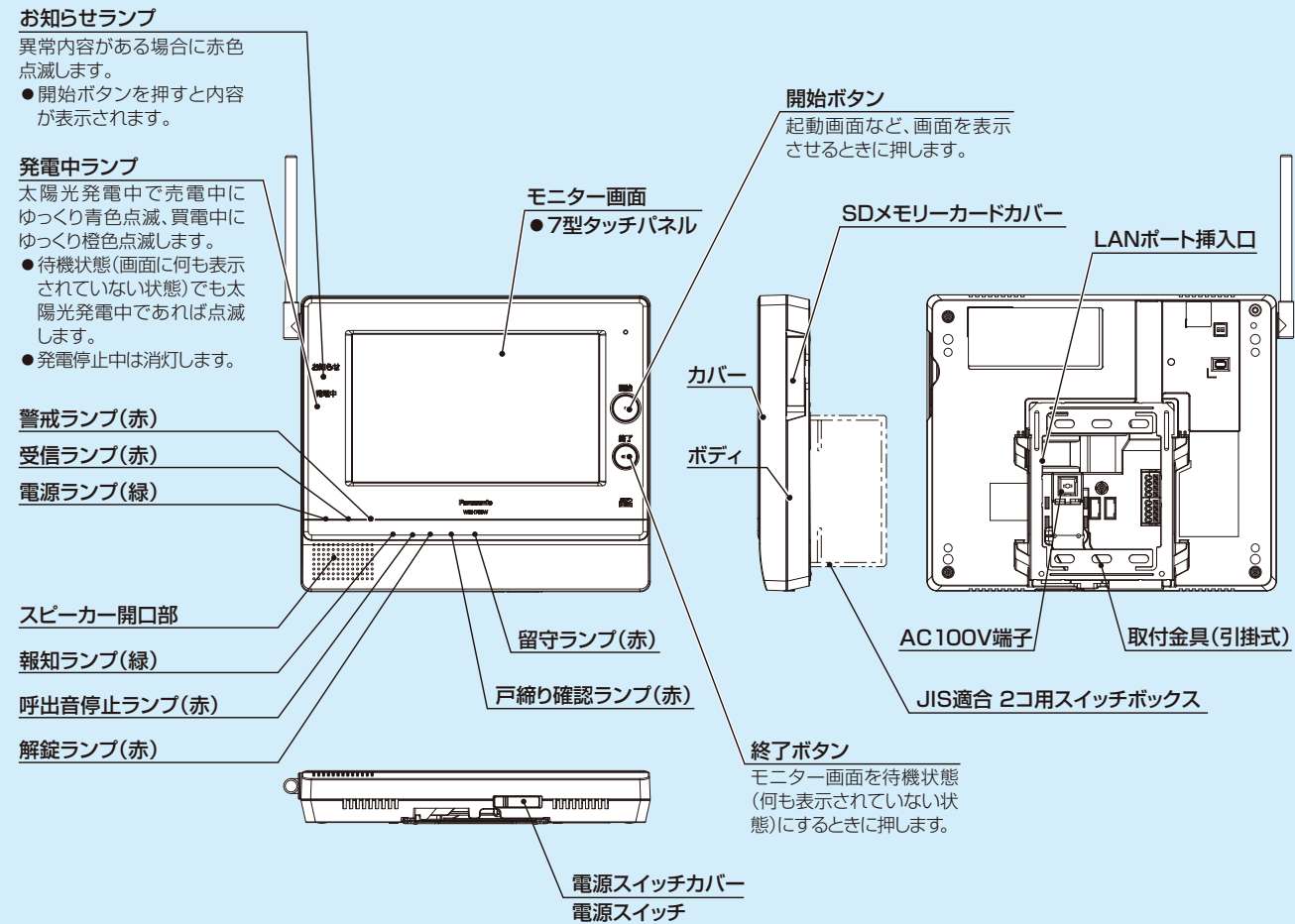
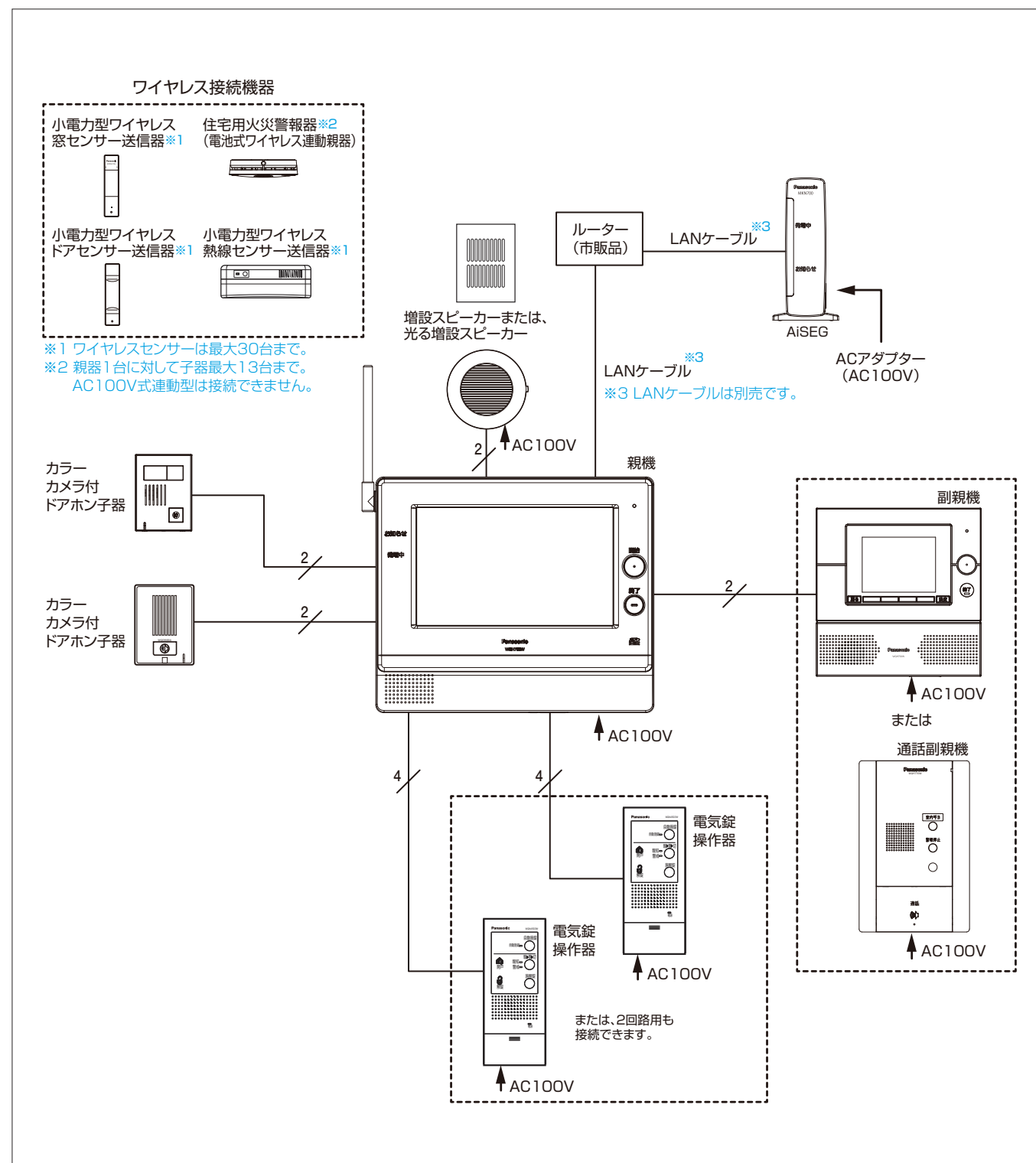
■関連機器

	品番	品名	希望小売価格
新	WQH750W	住まいるサポ2：2 副親機（露出型）	43,000円〈税抜〉
新	WQH770W	住まいるサポ2：2 通話副親機（露出型）	15,000円〈税抜〉
	WQH771W	住まいるサポ2：2 通話副親機（露出型）（電気錠釦付）	
	WQD872B	カラーカメラ付ドアホン子器（広角）（露出型）（警報表示付）（オフブラック）	25,000円〈税抜〉
	WQD872S	カラーカメラ付ドアホン子器（広角）（露出型）（警報表示付）（シルバー）	
	WQD872Y	カラーカメラ付ドアホン子器（広角）（露出型）（警報表示付）（シャンパンブロンズ）	

注）センサーライト付カメラ子器・センサー付カメラ子器は接続できません。

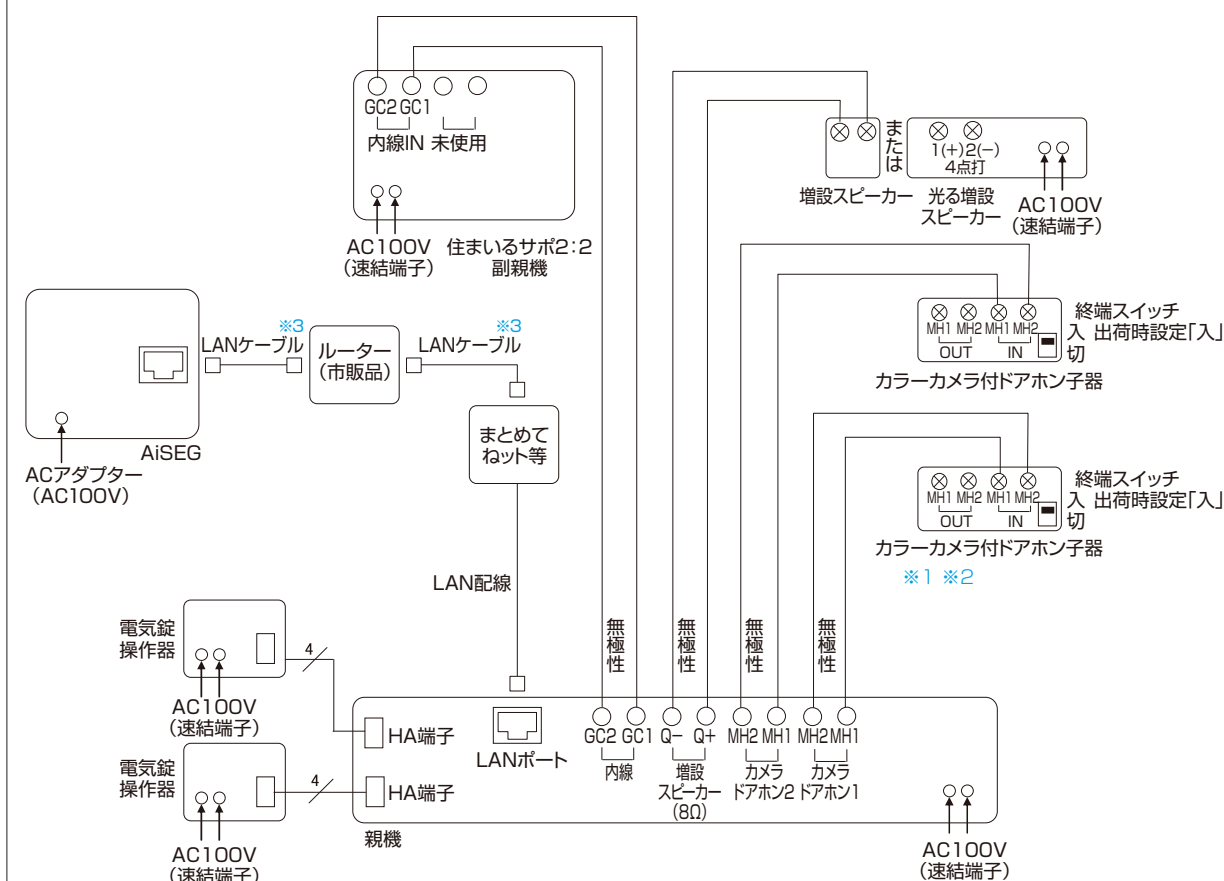
■各部のなまえとはたらき

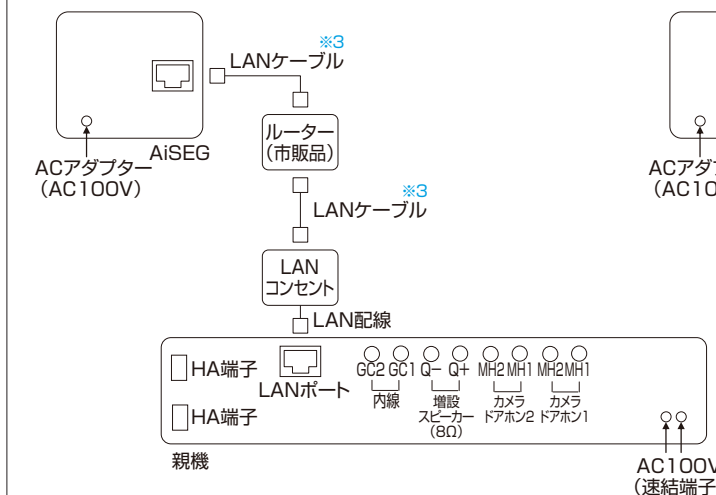
■システム系統図

配線の送り戻しなどで4心ケーブルは使用できません。（同一シース禁止）

注）●親機・副親機・通話副親機は住まいるサポ2：2専用です。住まいるサポ3：5やWQD、WQF、WQR、WQC、WQS品番の親機・副親機・通話副親機商品との接続はできません。
●室内機、ドアホン子器のまわりの音が大きく騒がしい時は、音がとぎれて聞き取りにくくなることがあります。その時は親機のガイドボタンを押しながら話すと、室内の音が強制的にドアホンから流れます。
●近くに高出力の無線局や強い磁気を発生するものなどがあると、映像や音声が乱れる場合があります。
●逆光の場合は、お客様の顔が識別しにくくなりますので、設置場所にはご注意ください。
●電気錠操作は画面表示に従い、親機はタッチパネル、副親機は画面下の押ボタンで操作します。
●カラーカメラ付ドアホン子器の警報表示機能は1台のみできます。

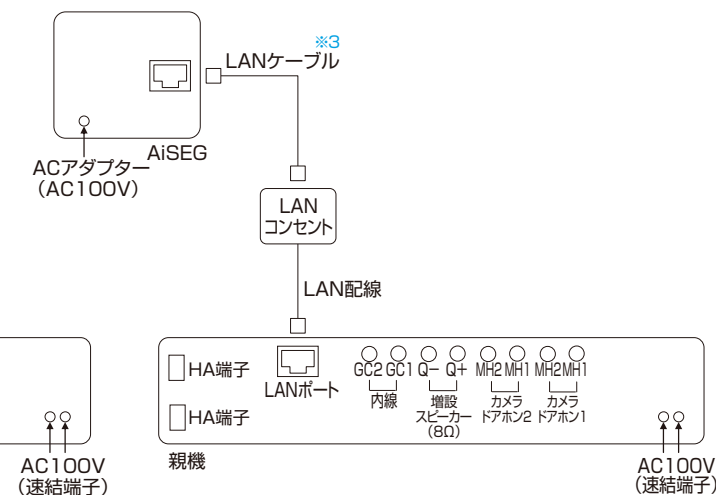
■配線図

①まとめてねットを接続する場合

GC2 GC1
内線IN 未使用
AC100V（速結端子）
住まいるサポ2：2 副親機
増設スピーカー
または
光る増設スピーカー
1(+)2(−) 4点灯
AC100V（速結端子）
MH1 MH2 MH1 MH2 OUT IN
入 切
終端スイッチ 出荷時設定「入」
カラーカメラ付ドアホン子器
カラーカメラ付ドアホン子器 ※1 ※2
AiSEG
ACアダプター（AC100V）
LANケーブル※3
ルーター（市販品）
LANケーブル※3
まとめてねット等
LAN配線
無極性
電気錠操作器
AC100V（速結端子）
HA端子
LANポート
GC2 GC1 Q− Q+ MH2 MH1 MH2 MH1
内線 増設スピーカー（8Ω） カメラドアホン2 カメラドアホン1
親機
AC100V（速結端子）

※1 子器への警報表示はカメラドアホン1のみ動作します。（カメラドアホン2へ接続されても表示および、警報を鳴動することができません。）
※2 カメラドアホン1にカメラなしドアホンの接続はできません。配線の送り戻しなどで4心ケーブルは使用できません。（同一シース禁止）
※3 LANケーブルは別売です。

②ルーター経由で接続する場合

AiSEG
ACアダプター（AC100V）
LANケーブル※3
ルーター（市販品）
LANケーブル※3
LANコンセント
LAN配線
HA端子
LANポート
GC2 GC1 Q− Q+ MH2 MH1 MH2 MH1
内線 増設スピーカー（8Ω） カメラドアホン2 カメラドアホン1
親機
AC100V（速結端子）

③直接接続する場合

AiSEG
ACアダプター（AC100V）
LANケーブル※3
LANコンセント
LAN配線
HA端子
LANポート
GC2 GC1 Q− Q+ MH2 MH1 MH2 MH1
内線 増設スピーカー（8Ω） カメラドアホン2 カメラドアホン1
親機
AC100V（速結端子）

注）●ルーター（市販品）をご使用の場合は、施工前にあらかじめルーターをご用意ください。ルーターがないと接続や設定が行えません。
●AiSEGとルーター（市販品）、住まいるサポE型の設置場所が近傍でない場合、あるいは別の部屋に設置する場合は、宅内のLAN環境を構築してください。
●まとめてねットなどのマルチメディア配線器具を使用しない場合は、住まいるサポE型とAiSEG間のLAN配線にご注意ください。例えば上記②の場合は住まいるサポE型とAiSEGをLAN接続するために、施工設定時にルーターが必要です。

電気の使用量や売電量、お湯・ガス・水の使用量などを計測してデータを送信します。

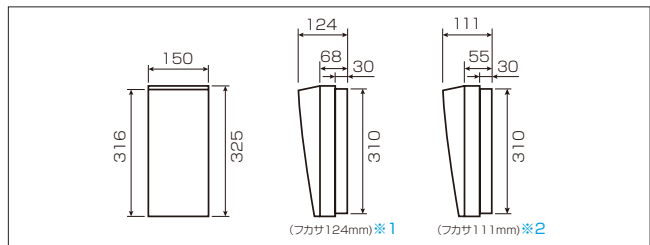
新

AiSEG用エネルギー計測ユニットは単品販売はいたしません。
AiSEG+AiSEG用エネルギー計測ユニットのセット品番についてはP.23をご覧ください。

注)主幹計測に加え、標準仕様で最大8回路の分岐計測が可能（オプションで最大38回路の分岐計測が可能）。ただし、太陽光発電、外部発電、ピークアラームを計測する場合は、分岐計測できる回路数が減ります。

■仕様

定格電圧	AC100/200V (50/60Hz)単相3線接続 注)専用の単相3線式分岐ブレーカから接続できない場合は、住宅分電盤の2次送り端子からブレーカを介してφ1.6以上の電線で接続してください（長さ規定無し）。詳しくはP.37をご覧ください。
定格電流	主　幹： 定格電流 150A (50/60Hz) 注)幹線サイズは38mm²以下です。 特定1～4： 定格電流 100A (50/60Hz) 特定5～8： 定格電流 30A (50/60Hz) 〔特定7・8：定格電流100A (50/60Hz)〕 ※オプションの過電流検知用CT使用時 増設1～30： 定格電流30A (50/60Hz)※オプション
電力測定範囲	主　幹： －30kW ～＋30kW (単相3線測定：各相電圧100V) ●90W以下の計測値は0Wとなります 特定1～4： 最大20kW (単相2線測定：電圧100V/200V) 注)45W以下の計測値の分岐回路の瞬時値は0Wとなります 特定5～8： 最大6kW (単相2線測定：電圧100V/200V) 注)20W以下の計測値の分岐回路の瞬時値は0Wとなります 増　設： 最大3kW (単相2線測定：電圧100V) 注)20W以下の計測値の分岐回路の瞬時値は0Wとなります
主幹電力計測確度	±5% (cosφ＝1：定格5 %～100 %の間) (精度条件はVin＝100V±6V　周囲温度：23℃±5℃)
トータル積算電力量計測確度 (主幹)	±5% (cosφ＝1：定格5 %～100 %の間) (精度条件はVin＝100V±6V　周囲温度：23℃±5℃)
各種接続線	エコキュート接続線： CPEV線 (φ0.9-1P) 最大長20m ガス・水道パルスメーター接続線： VCTF線 (0.5mm²～0.75mm²) またはCPEV線またはAE線 (φ0.65～0.9) 最大長50m パワーステーション接続線： CPEV線 (φ0.9-1P) 最大長30m HA制御線接続端子接続線： CPEV線またはAE線 (φ0.65-2P)最大長30m
電波の到達距離	障害物のない場所での水平見通し距離　約100m (周囲環境により異なります)
消費電力	3W以下
使用温度範囲	－10℃～40℃

■寸法図 (寸法単位：mm)

当社製住宅分電盤（コンパクト21）とデザイン統一できるよう2タイプ準備。
※1 ●リミッタースペース付やリミッタースペースなしでヨコ688mm以上の住宅分電盤（コンパクト21）との併設に
●北海道・東北・東京・中部・北陸・九州各電力管内向け
※2 ●リミッタースペースなしでヨコ654mm以下の住宅分電盤との併設に
●関西・中国・四国・沖縄各電力管内向け

■付属品

●下記以外に「施工チェックシート」「施工説明書」「棒圧着端子」「結束バンド」を付属しています。

■AiSEG用エネルギー計測ユニット別売オプション

新

	品番	品名	希望小売価格
分岐増設用CT (下記はMKN74410の場合) 分岐増設用中継ケーブル 1.5m (L1用)と(L2用) 各1本	MKN74410	AiSEG用分岐増設用CT (30A)(ケーブル長1.5m)(10回路)	15,000円〈税抜〉
	MKN74420	AiSEG用分岐増設用CT (30A)(ケーブル長1.5m)(20回路)	30,000円〈税抜〉
分岐増設用CTケーブル (L1用)と(L2用) 各1本	MKN74430	AiSEG用分岐増設用CT (30A)(ケーブル長1.5m)(30回路)	45,000円〈税抜〉
増設用CT (30A) 貫通形 10コ	※3 MKN744301	AiSEG用分岐増設用CT (30A)(ケーブル長1.5m)(5+25回路自立分電盤用)	50,000円〈税抜〉
CT延長ケーブル (分岐)※4	MKN74503	AiSEG用分岐CT延長ケーブル(30A/100A)(3m)	2,000円〈税抜〉
	MKN74510	AiSEG用分岐CT延長ケーブル(30A/100A)(10m)	4,000円〈税抜〉
	MKN74520	AiSEG用分岐CT延長ケーブル(30A/100A)(20m)	6,000円〈税抜〉
	MKN74530	AiSEG用分岐CT延長ケーブル(30A/100A)(30m)	9,000円〈税抜〉
CT延長ケーブル (主幹)	MKN74603	AiSEG用主幹CT延長ケーブル(3m)	2,500円〈税抜〉
	MKN74610	AiSEG用主幹CT延長ケーブル(10m)	5,000円〈税抜〉
	MKN74620	AiSEG用主幹CT延長ケーブル(20m)	8,000円〈税抜〉
	MKN74630	AiSEG用主幹CT延長ケーブル(30m)	12,000円〈税抜〉
過電流検知用CT	MKN747	AiSEG用過電流検知用CT (2コ)(分割形)	12,000円〈税抜〉

※3 創蓄連携システム用バックアップ住宅分電盤分岐計測用のCTが5回路分備わっています。
※4 分岐回路 (CT1コ)ごとに必要です。

■各部のなまえとはたらき（計測ユニット本体）

❶ 電源用端子 （詳細P.37）

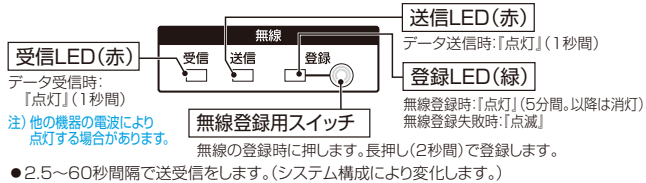
点検・異常時など、電源の入切をするために電源用のブレーカから接続してください。

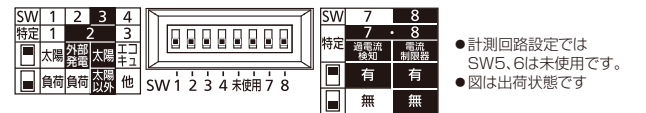
❷ 無線登録

注) 他の機器の電波により点灯する場合があります。

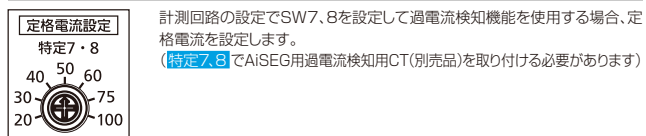
無線の登録時に押します。長押し(2秒間)で登録します。

●2.5～60秒間隔で送受信をします。(システム構成により変化します。)

❸ 特定CTの設定①　計測回路の設定 （詳細P.59～62）

SW1：特定1 のCTを設定します。 ▀ 太陽光発電 ▄ 負荷(分岐回路の電力計測)
SW2：特定2 のCTを設定します。 ▀ 外部発電 ▶SW3へ ▄ 負荷(分岐回路の電力計測)
SW3：特定2 のCTの発電種類を設定します。 ▀ 太陽光発電 ▄ 太陽光発電以外(燃料電池など)
SW4：特定3 のCTを設定します。 ▀ エコキュート ▄ 負荷(分岐回路の電力計測)
未使用：使用しません。

●計測回路設定ではSW5、6は未使用です。
●図は出荷状態です

オプション設定 (AiSEG用過電流検知用CTを使用する場合)
過電流検知機能を使用時に設定します。
特定7、8 でAiSEG用過電流検知用CT(別売品)を取り付ける必要があります。

❹【オプション設定】過電流検知の定格電流設定 （詳細P.62）

計測回路の設定でSW7、8を設定して過電流検知機能を使用する場合、定格電流を設定します。
(特定7、8 でAiSEG用過電流検知用CT(別売品)を取り付ける必要があります)

❺ 特定CTの設定②　電圧・電圧相の設定 （詳細P.62）

＊ 特定回路の電圧設定
特定1～8 の電圧（100V/200V）を設定します。
＊ 特定回路の電圧相設定
電圧を100Vに設定した場合、L1/L2の設定をします。

●計測回路の設定で、SW1 特定1「太陽」、SW2 特定2「外部発電」、SW4 特定3「エコキュート」に設定時は、該当回路の電圧・電圧相の設定は不要です。
●図は出荷時の状態です。

❻ 電源LED（緑）

通　電　中：『点灯』
機器異常時：『点滅』

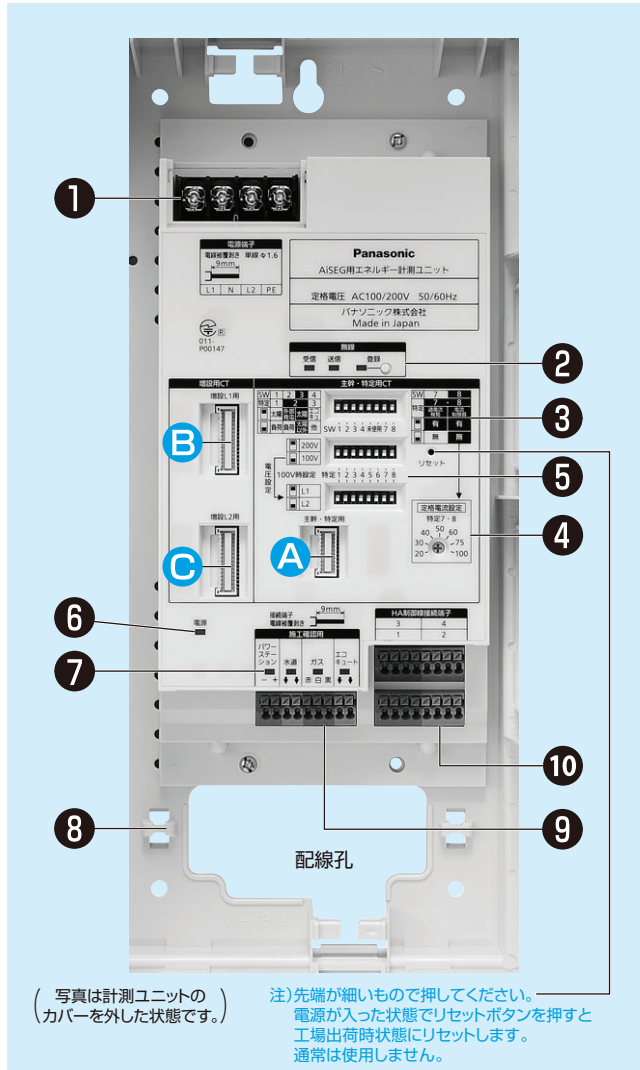
❼ 施工確認用LED（緑）

施工後の配線確認方法
《**エコキュート**》エコキュートとの配線・通信が正常であれば常時点灯。
《**ガス・水道**》パルスを1パルス計測すると1秒点灯。
《**パワーステーション**》パワーステーションとの配線・通信が正常であれば常時点灯。

❽ 結束バンド固定位置

無線特性に影響を与えないようにCTケーブル・電源線を無線アンテナから離して固定してください。
(無線アンテナは計測ユニット上部に内蔵されています)

（写真は計測ユニットのカバーを外した状態です。）

注)先端が細いもので押してください。
電源が入った状態でリセットボタンを押すと工場出荷時状態にリセットします。
通常は使用しません。

❾ 通信線接続端子 （詳細P.51）

《エコキュート(通信)》
極性なし(CPEV線 φ0.9-1P 最大20mまで)
《パルス発信器付ガスメーター(ガスパルス)》
VCTF線0.5mm²～0.75mm²
CPEV線またはAE線 φ0.65～0.9 最大長50mまで
《パルス発信式流量計(水道パルス)》
VCTF線0.5mm²～0.75mm²
CPEV線またはAE線 φ0.65～0.9 最大長50mまで
《パワーステーション》
CPEV線 φ0.9-1P 最大30mまで(極性あり)

❿ HA制御線接続端子 （詳細P.51）

IFU(インターフェイスユニット)を介して対応機器の制御に使用できます。

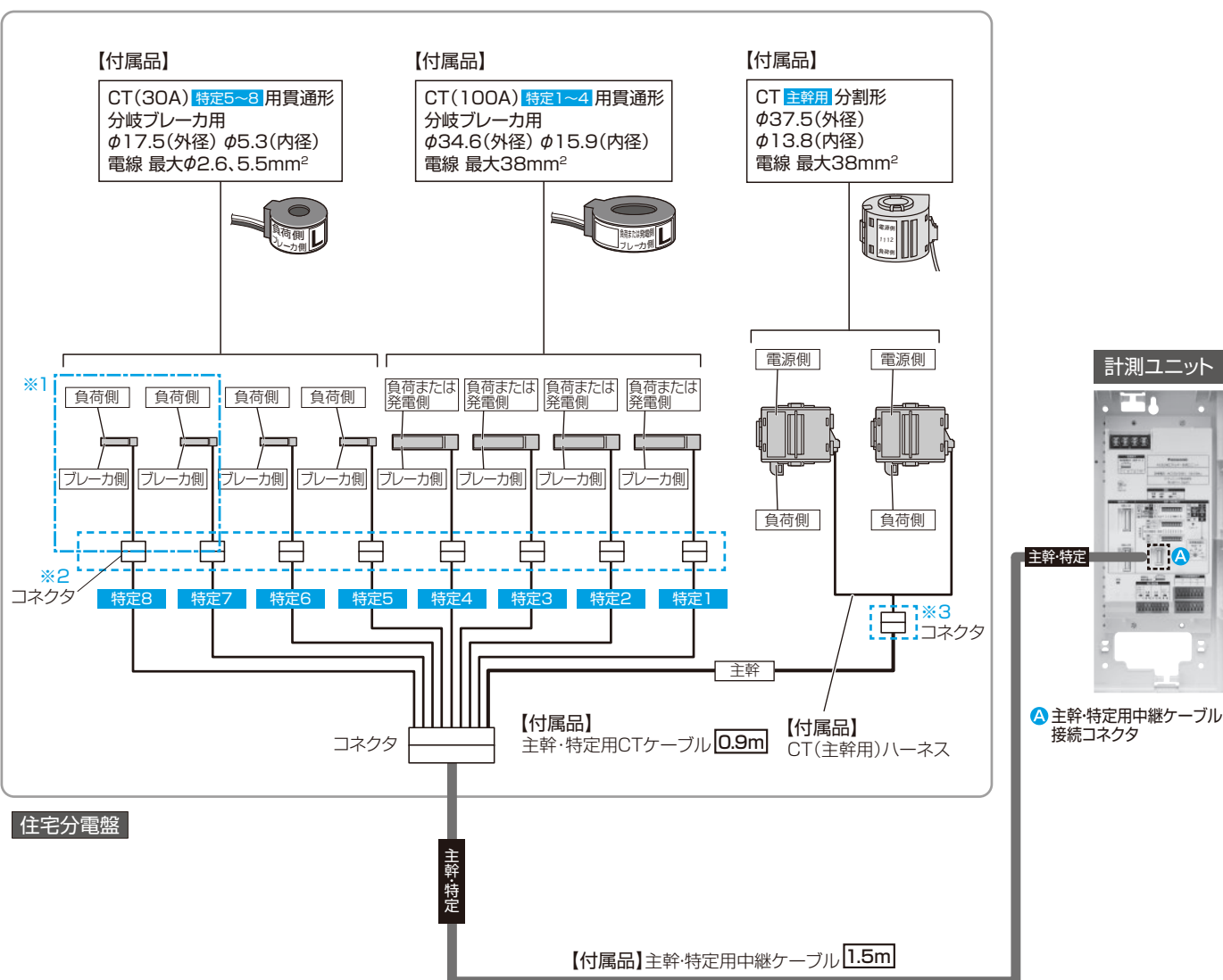
接続可能機器：日本電機工業会規格JEM1427「ルームエアコンHA端子」に適合したJEM-A標準HA端子-Aまたは HA JEM-A の表示を有するもの

使用の際は回路1からご使用ください。
CPEV線またはAE線 φ0.65～0.9-2P 最大長30m

Ⓐ 主幹・特定用中継ケーブル接続コネクタ

Ⓑ 分岐増設L1用中継ケーブル接続コネクタ

Ⓒ 分岐増設L2用中継ケーブル接続コネクタ

■各部のなまえとはたらき（CT・ケーブル）

※1
特定7、8 は、以下のCT（別売オプション）に付け替えることで過電流検知機能として使用可能です。

AiSEG用 過電流検知用CT（2個）
（分割形）
品番：MKN747

※2
特定CTや増設CTへの長さが不足する場合に、AiSEG用分岐CT延長ケーブル（オプション）を使って、分岐ごとに延長できます。
注）分岐回路（CT1コ）ごとに必要です。

- AiSEG用分岐CT延長ケーブル（30A/100A）（3m） 品番：MKN74503
- AiSEG用分岐CT延長ケーブル（30A/100A）（10m） 品番：MKN74510
- AiSEG用分岐CT延長ケーブル（30A/100A）（20m） 品番：MKN74520
- AiSEG用分岐CT延長ケーブル（30A/100A）（30m） 品番：MKN74530

注）延長ケーブルと延長ケーブルの接続はできません。

※3
主幹用CTへの長さが不足する場合に、AiSEG用主幹CT延長ケーブル（オプション）を使って延長できます。

- AiSEG用主幹CT延長ケーブル（3m） 品番：MKN74603
- AiSEG用主幹CT延長ケーブル（10m） 品番：MKN74610
- AiSEG用主幹CT延長ケーブル（20m） 品番：MKN74620
- AiSEG用主幹CT延長ケーブル（30m） 品番：MKN74630

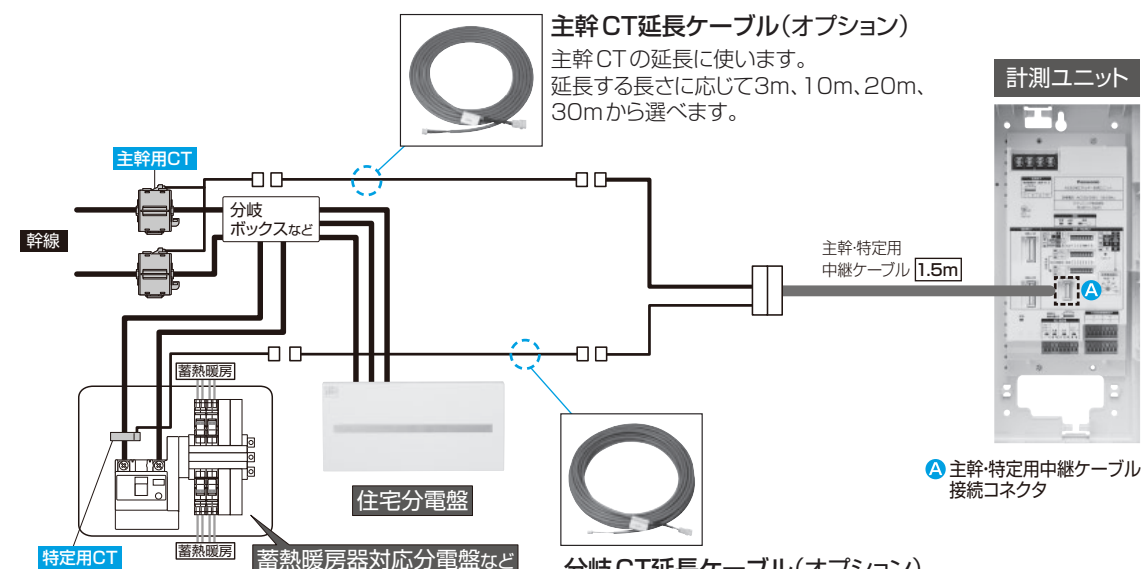
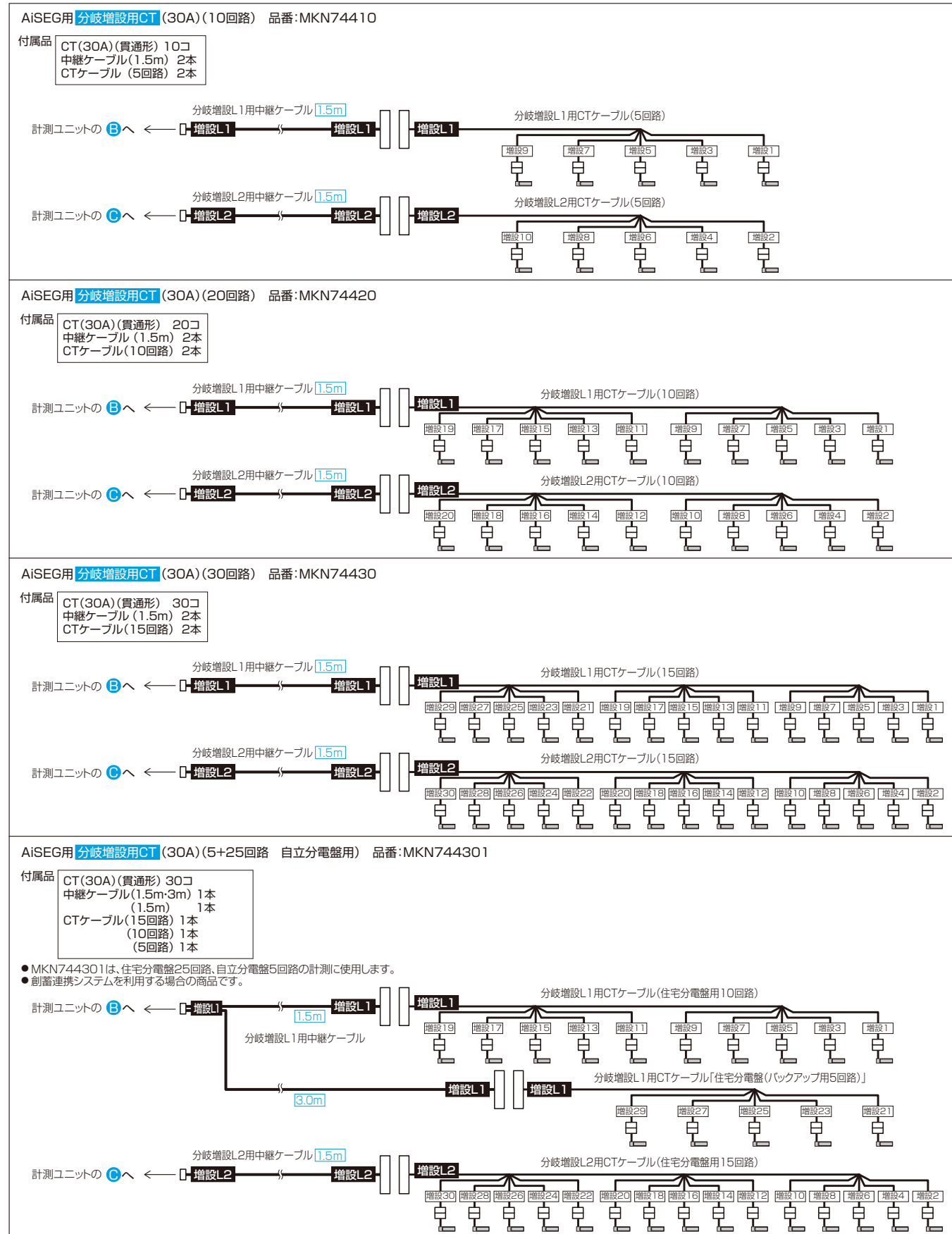
重要

計測ユニットの設置場所

主幹・特定用中継CTケーブル（付属品）および分岐増設L1用・L2用中継ケーブル（オプション）の長さは1.5mで、この中継ケーブルは延長できません。計測ユニットは必ず住宅分電盤の近くに設置してください。

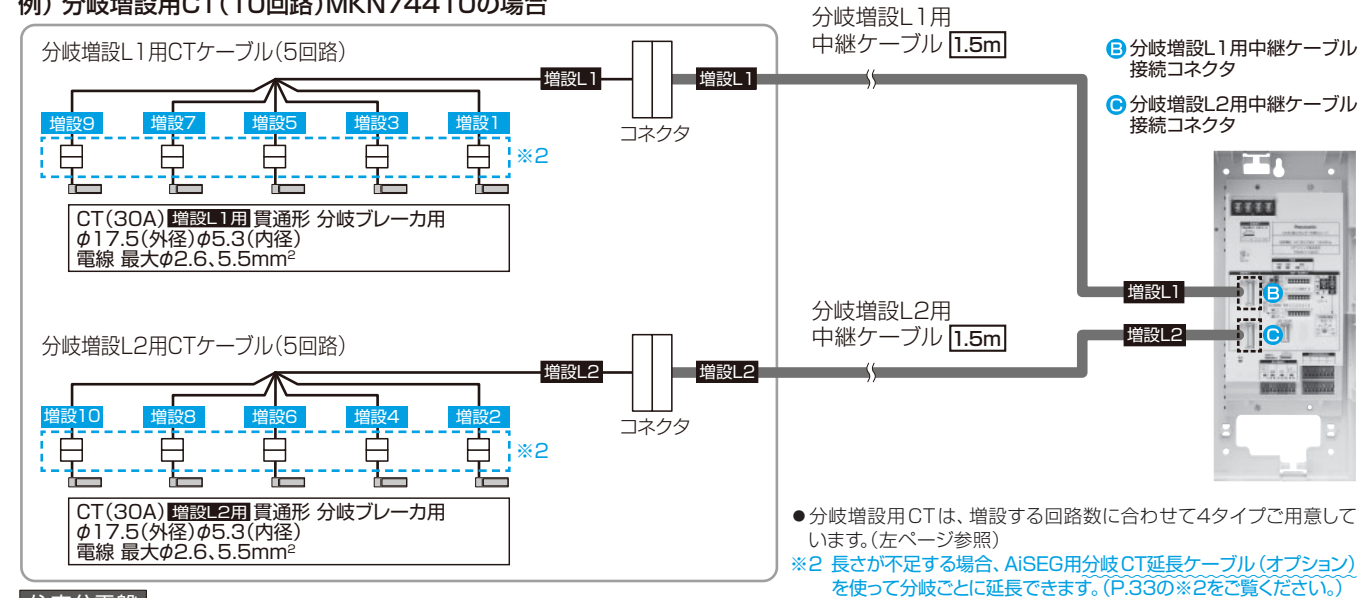
主幹・分岐CT延長ケーブルの考え方

次のようなケースでケーブル長が足りない場合には、必ずCT延長ケーブル（オプション）をご使用ください。
（専用ケーブル以外の使用はできません。）

注）
- 同一電力契約で住宅分電盤を複数台接続する場合。
- 住宅分電盤と太陽光発電システム用連系ブレーカなどを離して設置する場合。
- 床暖房や蓄熱暖房などの専用分電盤を設置する場合。

■分岐増設用CT（オプション）

注)●分岐増設用CTはあらかじめL1用とL2用で個数が決まっていますのでご注意ください。例えばMKN74410を使用する場合、L1用で5個、L2用で5個です。L1用で7個、L2用で3個使用することはできません。
●分岐増設用CTは1種類しか利用できませんのでご注意ください。例えばMKN74410を2個使用することはできません。あらかじめ計測したい回路数を決めた上で、分岐増設用CTの種類(品番)を決めてください。

■分岐増設用CT（オプション）の考え方（主幹・特定用CTの接続図は省略）

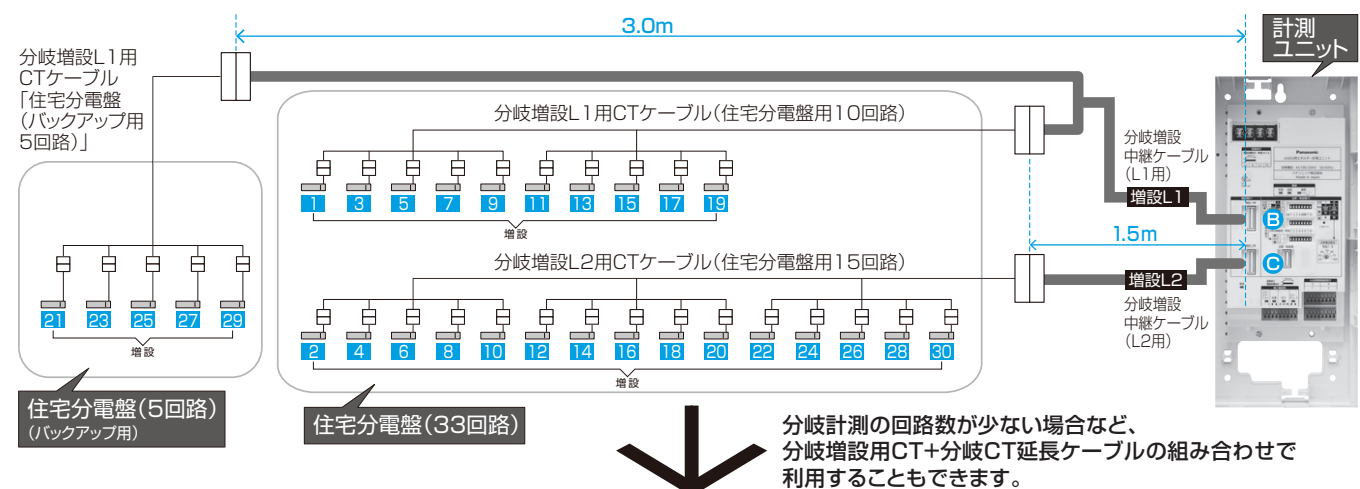
例）分岐増設用CT（10回路）MKN74410の場合

●分岐増設用CTは、増設する回路数に合わせて4タイプご用意しています。(左ページ参照)
※2 長さが不足する場合、AiSEG用分岐CT延長ケーブル（オプション）を使って分岐ごとに延長できます。(P.33の※2をご覧ください。)

■分岐増設用CT（5+25回路 自立分電盤用）MKN744301・CT延長ケーブルについて

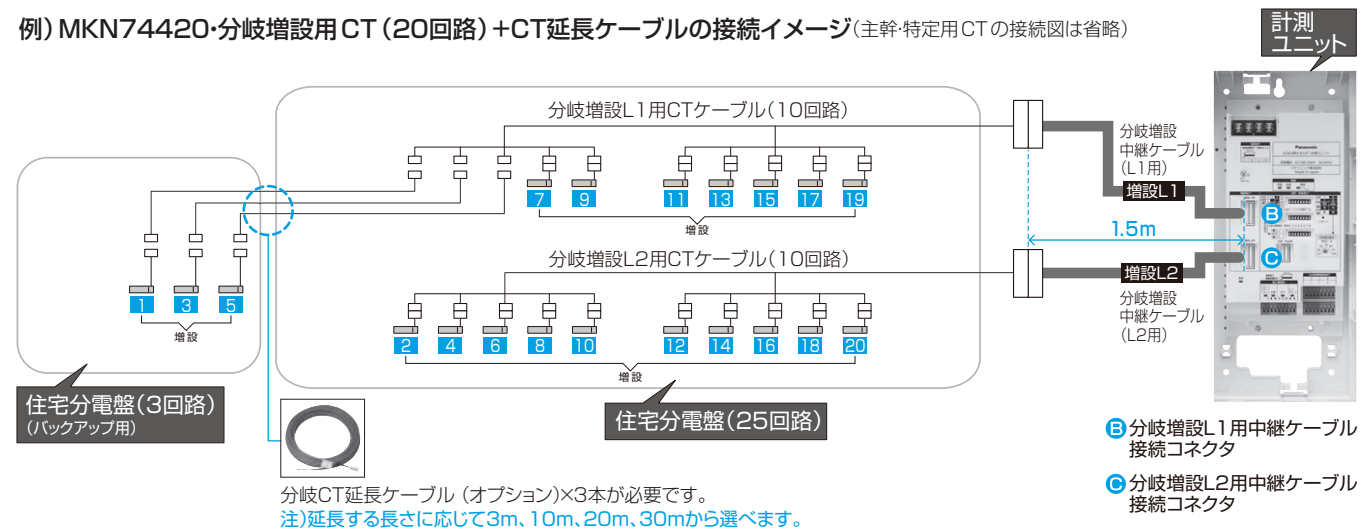
MKN744301は、創蓄連携システムのバックアップ用住宅分電盤の分岐計測を行うCT（5回路）をあらかじめ備えたものです。
・この5回路分の中継ケーブルのみ長さが3.0mあります。(他の中継ケーブルの長さは1.5m)
・CT自体は他の増設用CTと同じです。(30A、貫通形、φ17.5（外径）φ5.3（内径）、電線 最大φ2.6、5.5mm²)

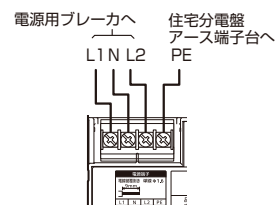
●MKN744301·分岐増設用CT（5+25回路 自立分電盤用）の接続イメージ（主幹・特定用CTの接続図は省略）

注)バックアップ用住宅分電盤への接続は「L1用」となりますのでご注意ください。

分岐計測の回路数が少ない場合など、分岐増設用CT+分岐CT延長ケーブルの組み合わせで利用することもできます。

例）MKN74420·分岐増設用CT（20回路）+CT延長ケーブルの接続イメージ（主幹・特定用CTの接続図は省略）

分岐CT延長ケーブル（オプション）×3本が必要です。
注)延長する長さに応じて3m、10m、20m、30mから選べます。

注）太陽光発電用の連系ブレーカなどブレーカは、種類によりL1、L2、Nの配置は異なる場合がありますので、計測ユニットへの電源配線時はご注意ください。

電源配線について

電源用端子に電源線とアース線を接続します。

電源線の取り方

主幹漏電ブレーカを切らずに計測ユニットの電源を切れるように接続してください。

・専用の単相3線式分岐ブレーカから接続する場合　長さ規定無し
・専用の単相3線式分岐ブレーカから接続できない場合は、住宅分電盤の2次送り端子からブレーカを介してφ1.6以上の電線で接続してください。（長さ規定無し）

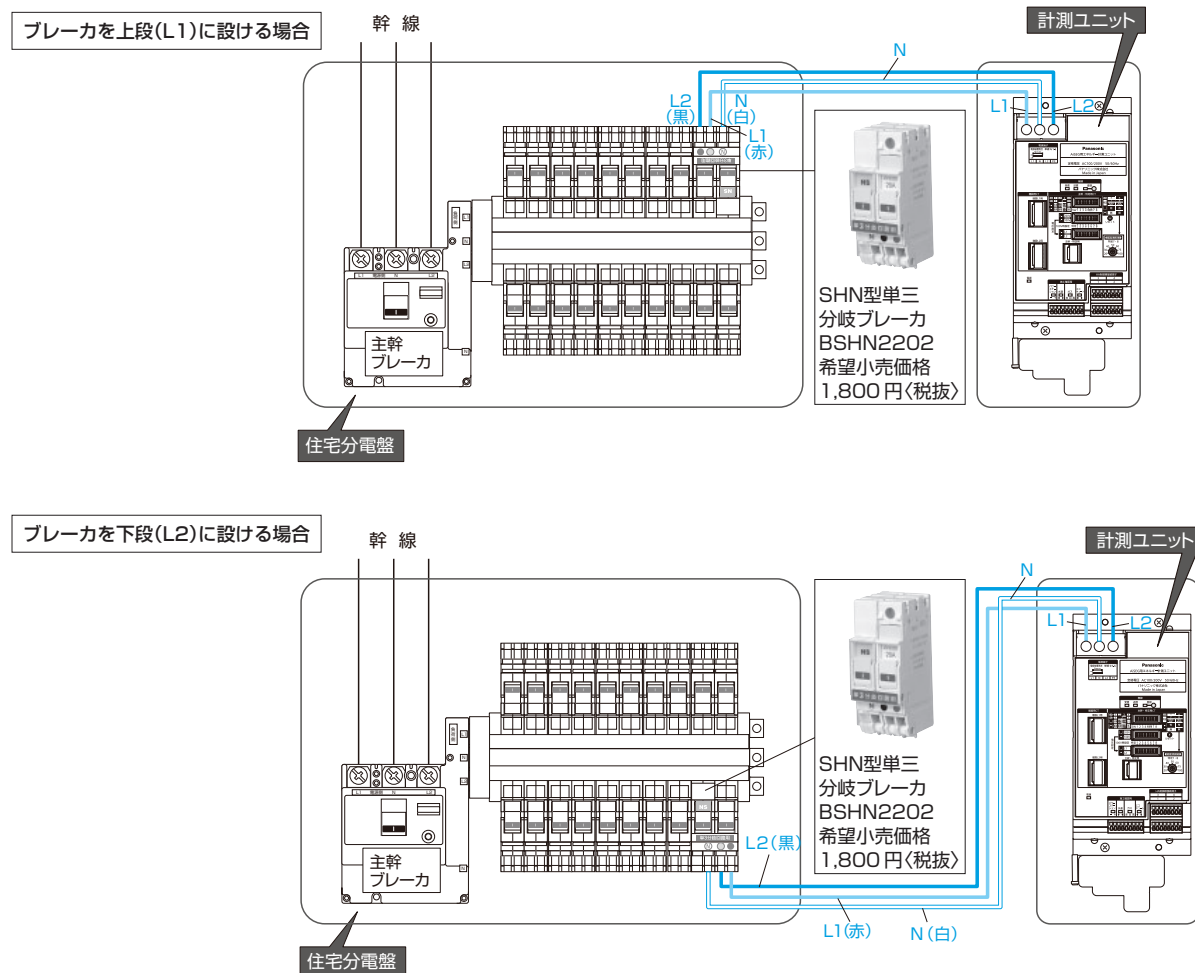
注）●相線・アース線を確認してください。（電源の相線を間違えると機器が故障します）
●電源線・アース線は結束バンドでボックスに固定してください。

①当社製住宅分電盤「コンパクト21」で2回路以上の分岐スペースがある場合

●SHN型単三分岐ブレーカ（2P）を設け、そこから電源をとります。

SHN型単三分岐ブレーカは、上段（L1）と下段（L2）では電源（相）の取り方が異なります。ご注意ください。

ブレーカを上段（L1）に設ける場合

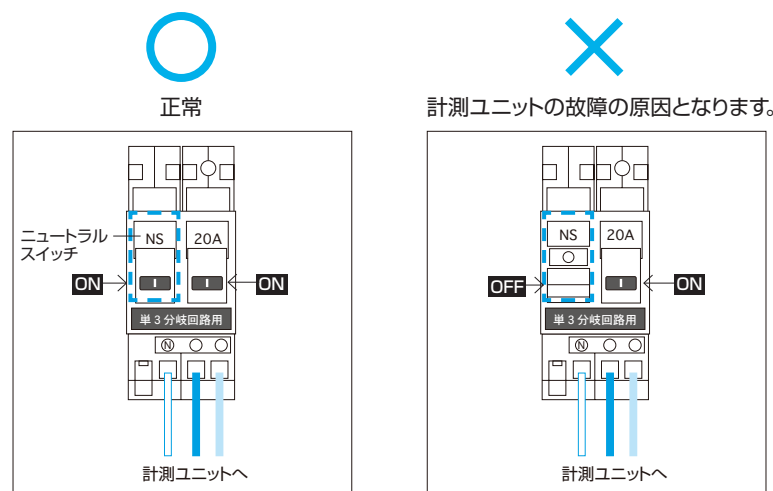
ブレーカを下段（L2）に設ける場合

■SHN型単三分岐ブレーカ通電時のご注意

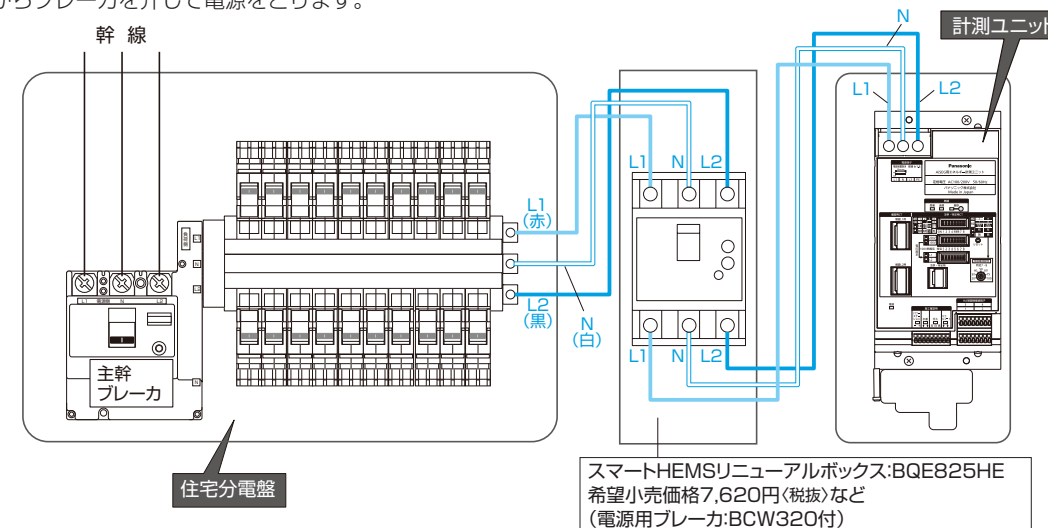
NS（ニュートラルスイッチ）は、通電前に「必ずON」にしてください。NSをOFFの状態で通電すると、計測ユニットの故障の原因となりますのでご注意ください。
回路をOFFにする場合は、NS（ニュートラルスイッチ）を切らずに「20A」側をOFFにしてください。

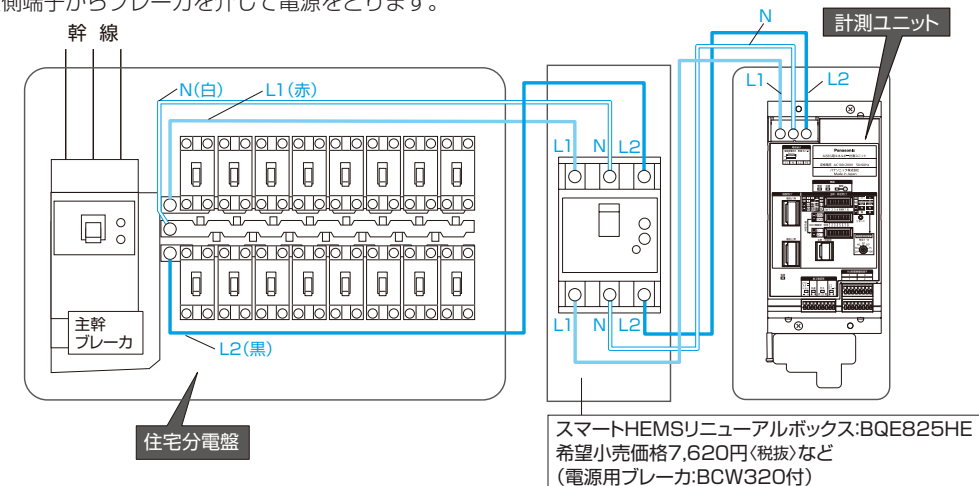
（右図は下段（L2）側にブレーカを設けた場合の例です）

〇 正常

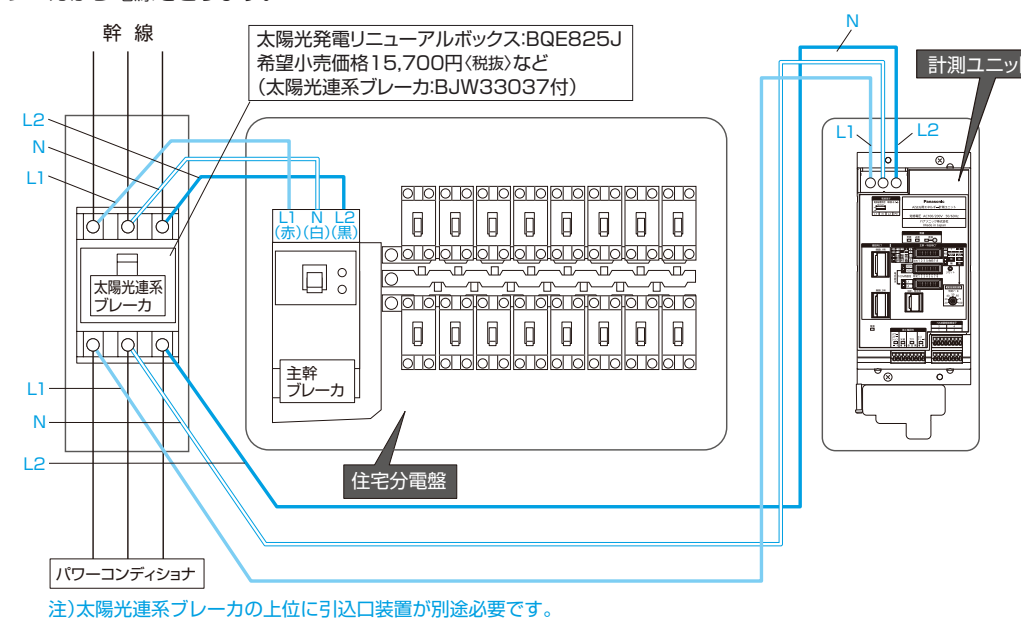
✕ 計測ユニットの故障の原因となります。

注）● NS（ニュートラルスイッチ）を「ON」にした後は、操作防止カバー（付属品・透明カバー）を必ず閉めてください。
● 他社製の単三分岐ブレーカを使用される場合、電源の投入方法を事前にご確認の上、計測ユニットに電源投入してください。

②当社製住宅分電盤「コンパクト21」で2回路以上の分岐スペースがない場合

●他社製の住宅分電盤で2次送り端子がある場合も同様です。
●2次送り端子からブレーカを介して電源をとります。

③当社製住宅分電盤「コンパクト21」以外の場合

●他社製の住宅分電盤で2次送り端子がない場合も同様です。
●主幹ブレーカ2次側端子からブレーカを介して電源をとります。

④既存の住宅分電盤に太陽光連系ブレーカ（1次連系）を設ける場合

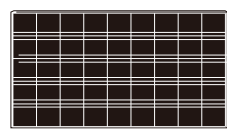
●太陽光連系ブレーカから電源をとります。

注）太陽光連系ブレーカの上位に引込口装置が別途必要です。

回路設計の考え方

より効果的に省エネ・節電するために、
電気をたくさん使用する設備や機器の計測をおすすめします。

計測のポイント

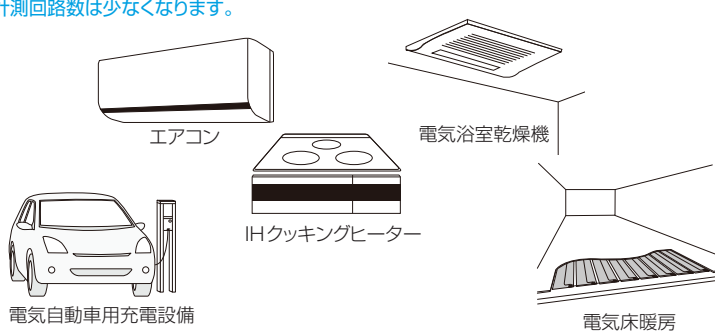
POINT1

太陽光発電や燃料電池あるいは
ガス発電などの発電量を計測。

太陽電池モジュール

燃料電池

POINT2

消費電力量が大きな設備機器
（例えば200V機器）の使用電力量を計測。

注）200V機器の計測は最大8回路です。ただし、特定用途（太陽光発電など）の使用状況に応じて、計測回路数は少なくなります。

計測の方法

発電量や使用電力量は「CT」で計測します。

■特定用途と分岐計測の使い分け方

例えば、太陽光発電の発電量の計測には必ず「特定1CT」を使用するなど、機器や用途によっては、使用するCTがあらかじめ決まっています。

●増設用CTは分岐計測（100V）専用です。

注）特定1〜4はCT（100A）専用。特定5〜8（および増設用）はCT（30A）専用です。例えば、特定1にCT（30A）は接続しないでください。計測値が誤った値となります。

特定CTの種類	特定用途	特定用途に使用しない場合
特定１CT	太陽光発電	分岐計測 （各回路ごとに100Aまで） （100V/200V）
特定2CT	太陽光発電/外部発電（燃料電池/ガス発電）	
特定3CT	エコキュート/電気温水器	
特定4CT	——	
特定5CT	——	分岐計測 （各回路ごとに30Aまで） （100V/200V）
特定6CT	——	
特定7CT	過電流検知	
特定8CT		

設備機器とCTの接続

AiSEG用エネルギー計測ユニットに付属の「特定1〜4CT」「特定5〜8CT」を特定用途に使用した場合、分岐計測できる回路数は少なくなります。また、200V分岐回路は最大8回路ですのでご注意ください。

●太陽光発電を利用の場合

特定CTの種類	用途	
特定1CT	太陽光発電	
特定2CT	分岐計測 （各回路ごとに100Aまで） （100V/200V）	分岐計測は7回路まで
特定3CT		
特定4CT		
特定5CT	分岐計測 （各回路ごとに30Aまで） （100V/200V）	
特定6CT		
特定7CT		
特定8CT		

●太陽光発電+燃料電池を利用の場合

特定CTの種類	用途	
特定1CT	太陽光発電	
特定2CT	燃料電池	
特定3CT	分岐計測 （各回路ごとに100Aまで） （100V/200V）	分岐計測は6回路まで
特定4CT		
特定5CT	分岐計測 （各回路ごとに30Aまで） （100V/200V）	
特定6CT		
特定7CT		
特定8CT		

分岐計測の数が不足する場合は、増設用CT（オプション）を使用ください。

●計測する回路数に応じて「10回路」「20回路」「30回路」をご用意しています。

注）増設用CTは100V回路専用です。（200V回路の計測はできません。）

■接続例 ◎…使用するCTが決まっています。○…設備機器に応じて100A（特定1〜4）または30A（特定5〜8）のCTを使用します。

太陽光発電システム	あり			なし		
設備機器 ＼ 給湯機の種類	一般ガス	エコキュート/電気温水器	外部発電（燃料電池/ガス発電）	一般ガス	エコキュート/電気温水器	外部発電（燃料電池/ガス発電）
太陽光発電システム	◎（特定1CT）	◎（特定1CT）	◎（特定1CT）	——	——	——
外部発電（燃料電池/ガス発電）	——	——	◎（特定2CT）	——	——	◎（特定2CT）
エコキュート/電気温水器	——	◎（特定3CT）	——	——	◎（特定3CT）	——
電気蓄熱式暖房機	○（特定2CT）	○（特定2CT）	○（特定3CT）	○（特定1CT〜特定4CT）	○（特定1CT）	○（特定1CT）
IHクッキングヒーター	○（特定3CT）	○（特定4CT）	○（特定4CT）	○（特定1CT〜特定4CT）	○（特定2CT）	○（特定3CT）
エアコン（200V）	○（特定4CT）	○（特定5CT〜特定8CT）	○（特定5CT〜特定8CT）	○（特定1CT〜特定4CT）	○（特定4CT）	○（特定4CT）
電気床暖房	○（特定5CT〜特定8CT）	○（特定5CT〜特定8CT）	○（特定5CT〜特定8CT）	○（特定1CT〜特定4CT）	○（特定5CT〜特定8CT）	○（特定5CT〜特定8CT）
電気浴室乾燥機	○（特定5CT〜特定8CT）	○（特定5CT〜特定8CT）	○（特定5CT〜特定8CT）	○（特定5CT〜特定8CT）	○（特定5CT〜特定8CT）	○（特定5CT〜特定8CT）
電気自動車用充電設備	○（特定5CT〜特定8CT）	○（特定5CT〜特定8CT）	○（特定5CT〜特定8CT）	○（特定5CT〜特定8CT）	○（特定5CT〜特定8CT）	○（特定5CT〜特定8CT）

注1）太陽光発電が2系統の場合は、特定1 CT、特定2 CTを使用するので、特定2 CTに燃料電池/ガス発電は計測できません。ただし、太陽光発電2系統を 特定1 に接続すると、燃料電池/ガス発電の計測は可能です。詳細方法はP.60をご覧ください。 注2）パワーステーションを接続する場合、特定1 CTは分岐計測としてください。また、パワーステーションとは別に太陽光発電がある場合は、特定2 CTを使用して太陽光発電を計測してください。

【具体的な使用例については以下のページをご参照ください。】

使用例	計測ポイント	掲載ページ
①	主幹計測+分岐計測（8回路）	45
②	主幹計測+エコキュート+分岐計測（7回路）	
③	主幹計測+エコキュート+過電流検知（別売オプション）+分岐計測（5回路）	46
④	主幹計測+分岐計測（18回路）	
⑤	主幹計測+太陽光発電（2次運系）+エコキュート+分岐計測（6回路）	47
⑥	主幹計測+太陽光発電（1次運系）+エコキュート+過電流検知（別売オプション）+分岐計測（4回路）	
⑦	主幹計測+太陽光発電（1次運系）+燃料電池（またはガス発電）+分岐計測（6回路）	48
⑧	主幹計測+太陽光発電（2次運系）+エコキュート+蓄熱暖房+分岐計測（5回路）	49
⑨	主幹計測+太陽光発電（2次運系）+エコキュート+蓄熱暖房（2系統）+分岐計測（4回路）	50
⑩	通信線の接続	51
⑪	主幹計測+創蓄連携システム	55
⑫	主幹計測+創蓄連携システム+太陽光発電（2系統目）	56
⑬	主幹計測+創蓄連携システム+燃料電池	57

■ご注意
下記施工チェックシートは、商品に同梱している施工チェックシートとは異なります。

［施工チェックシートについて］

計測ユニットを施工される前に、必ずこのシートを完成させてください。

計測ユニットに同梱の施工チェックシートを使って、CTの取り付け位置や設定スイッチの設定内容を事前にお決めください。

ステップ1

・P.43の記入例を参考に記入ください。

主分電盤

バックアップ用分電盤
（創蓄連携システム併用時）

ステップ2

	特定1	特定2	特定3	特定4	特定5	特定6	特定7	特定8
回路種類設定SW（SW 1 2 3 4 未使用 7 8／特定 1 2 3：太陽・負荷／外部発電・負荷／太陽・太陽以外／エコキュ・他／特定7・8：過電流検知 有・無／電流制限器 有・無）	太陽光発電　分岐負荷計測（SW 1）	太陽（2台目）SW 2 3／外部発電 SW 2 3／分岐負荷計測 SW 2 3	エコキュート　その他の分岐負荷計測（SW 4）	——	——	——	分岐負荷計測の場合 SW 7 8／オプション：過電流検知機能有りの場合（MKN747（別売）が必要です）電流制限器あり SW 7 8	電流制限器なし SW 7 8
100 V/200 V設定SW（電圧設定：200V／100V、100V時設定 特定 1 2 3 4 5 6 7 8）	200 V　100 V	200 V　100 V	200 V　100 V	200 V　100 V	200 V　100 V	200 V　100 V	200 V　100 V	200 V　100 V
L1/L2設定SW（L1／L2）	L1　L2	L1　L2	L1　L2	L1　L2	L1　L2	L1　L2	L1　L2	L1　L2

施工チェックリスト

- □ 主幹用CTは売電と買電の両方が計測できる位置に取付けられていますか？
- □ 主幹用CTの取付ける位置、方向は適切ですか？
- □ 特定1～4はCT（100A）、特定5～8はCT（30A）を使用していますか？
〔オプションの過電流検知機能を使用する場合は特定7、8はAiSEG用過電流検知用CT（分割形）が正しく取付けられており、定格電流の設定をしていますか？〕
- □ 特定1～3の計測回路の設定スイッチは適切にされていますか？
特定7、8を過電流検知として使用する場合はスイッチの設定をしていますか？
- □ 特定1～8の電圧・電圧相の設定スイッチは回路の種類に関わらずすべて設定していますか？
- □ 特定1～8および増設1～30の取付ける相、方向は適切ですか？
- □ ステップ1の表の取付けCTの番号とCTケーブルの番号は一致していますか？
- □ 増設1～30は、奇数番号はL1（100V）の負荷、偶数番号はL2（100V）の負荷の計測として使用していますか？
- □ 計測ユニットの電源の電圧相は正しいですか？

概要編 設計編 施工編 設定編 トラブル対応編 Q&A

■施工チェックシートの記入例（青字は記入例です。）

ステップ1

下図の記入例を参考に施工状態を描図いただき、CTの取付位置を決めてください。（記入例は一例です）
回路名称はAiSEGの分岐回路の名称を設定するのに使用します。（名称設定は最大12文字以内）

取付CT番号	増1	増3	増5	増7	特7	特5	特6
回路名称	玄関・廊下トイレ	洋室1・2照明	換気洗面台コンセント	バルコニーコンセント	洋室2コンセント	洋室2エアコン	トイレコンセント	和室エアコン	浴室乾燥機	計測ユニット用電源
電圧区分	100	100	100	100	100	100	100	200	200
回路番号	1	3	5	7	23	25	27	29	31	33	35	37	39
回路番号	2	4	6	8	24	26	28	30	32	34	36	38	40
電圧区分	100	100	100	100	100	100	200	200
回路名称	LD和室照明	洋室3・洗面浴室照明	LDコンセント	洋室1コンセント	洋室3コンセント	洋室3エアコン	LDエアコン	IHヒーター	太	陽	光
取付CT番号	増2	増4	増6	増8		特8	特2	特4	特1

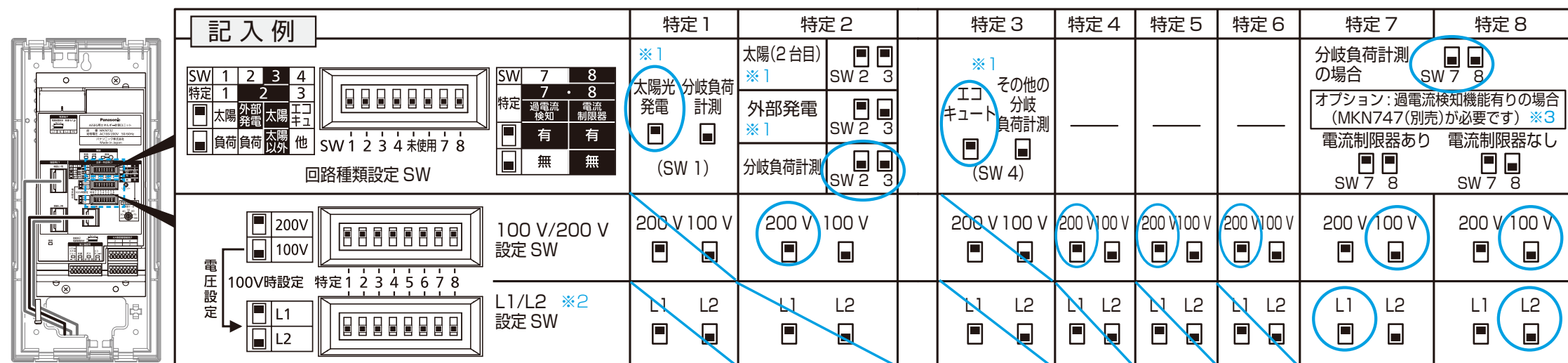
・主幹CT
太陽光発電がある場合は売電・買電の両方が測定できる位置に取り付けてください。
・特定CT
太陽光、外部発電、エコキュート、電気温水器、過電流検知（オプション）の計測としてご使用する場合はそちらを優先させてください。分岐負荷回路の計測としてご使用する場合は、特定回路は電圧・電圧相設定が可能ですので、200Vの負荷から優先させて選定してください

特定1～4はCT（100A）専用（緑色・ラベル色は黒・白）、
特定5～8はCT（30A）専用（緑色・ラベル色は赤・白）です。
誤接続すると、誤った計測値になりますのでご注意ください。

・増設CT（オプション）
電圧・電圧相設定がない100V負荷専用です。
（施工後、AiSEGの設定画面で回路名称とCTの結びつけを行いますので、回路番号と増設CTの番号を合わせる必要はありません）

ステップ2

特定回路のスイッチ設定を行ってください。（増設回路については不要です）

該当するSW設定に○を付けてください。

※1 太陽光発電、外部発電、エコキュートに設定の場合は200Vに自動的に設定します。
電圧・電圧相の設定は不要です。過電流検知機能有りの場合も特定7、8の電圧・電圧相の設定は不要です。
※2 L1/L2設定SWは電圧設定を100Vにした時のみ有効です。

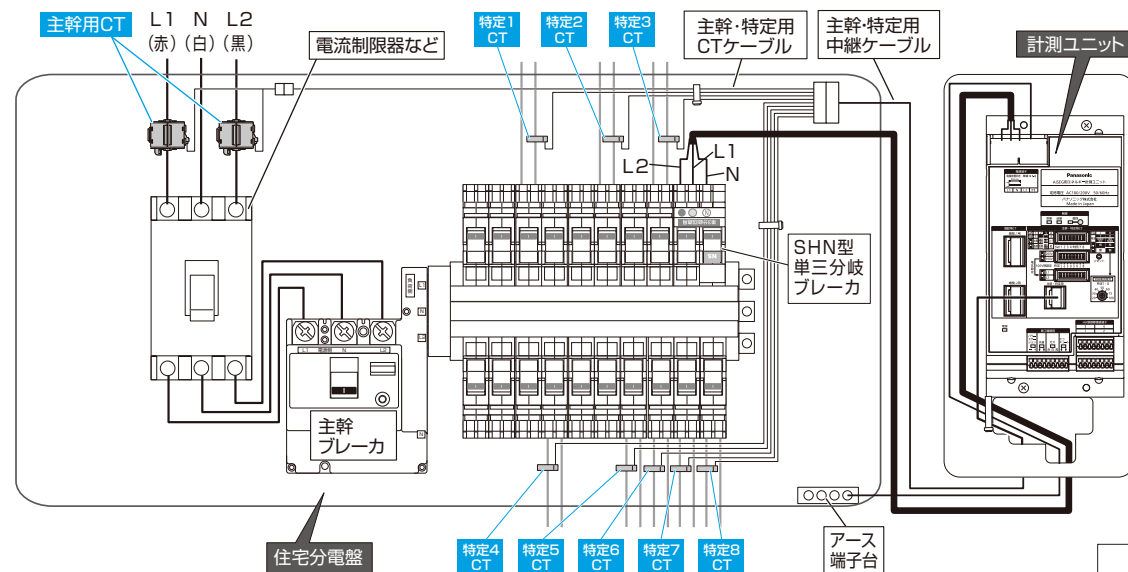
※3 設定する定格電流に矢印を記入してください。
過電流検知機能をご使用の場合は定格電流設定も必要です。

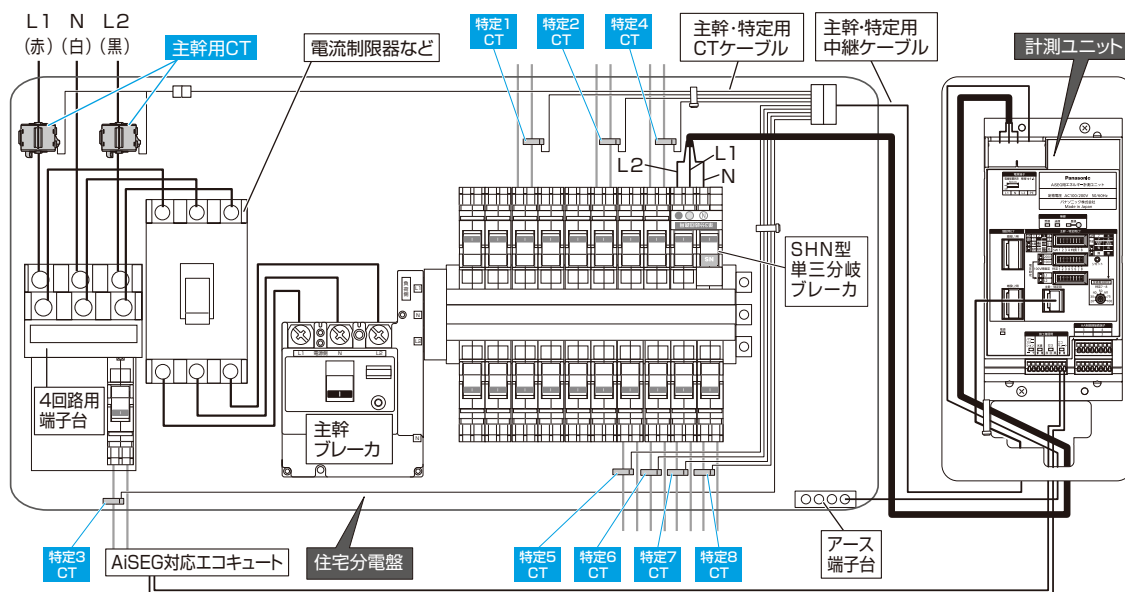
ステップ3

チェックシートを参考にCTの取り付け、SW設定を行ってください。
・ステップ1の表を参照して、CTを取り付けてください。
特定1～4にはCT（100A）を、特定5～8および増設1～30についてはCT（30A）を取り付けてください。
CTには取り付ける相と方向が決まっていますのでご注意ください。
・ステップ2の表を参照して、SW設定を行ってください。

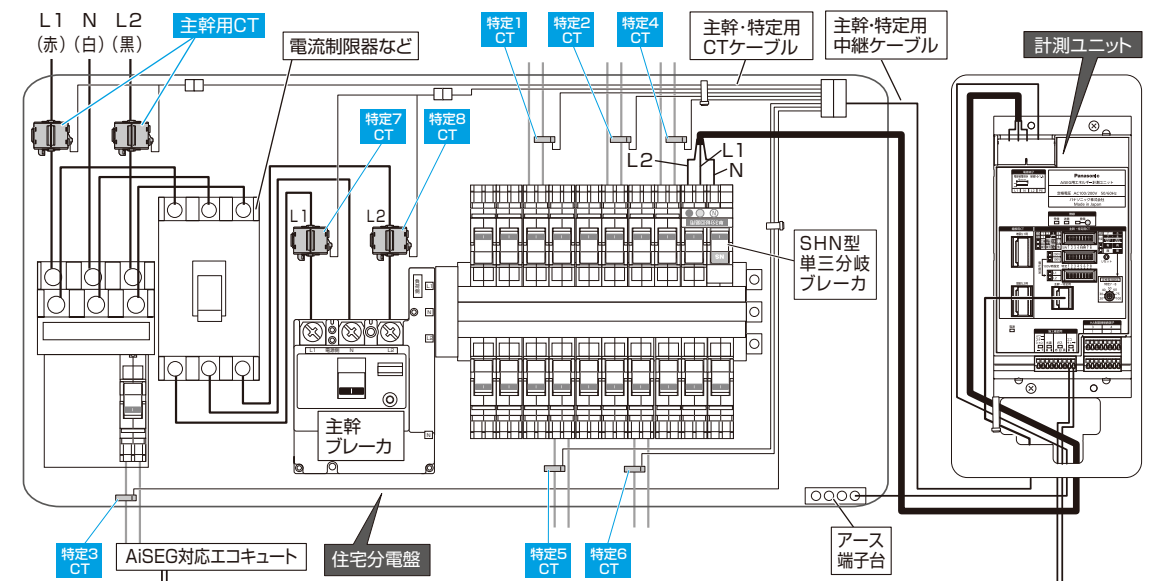
使用例

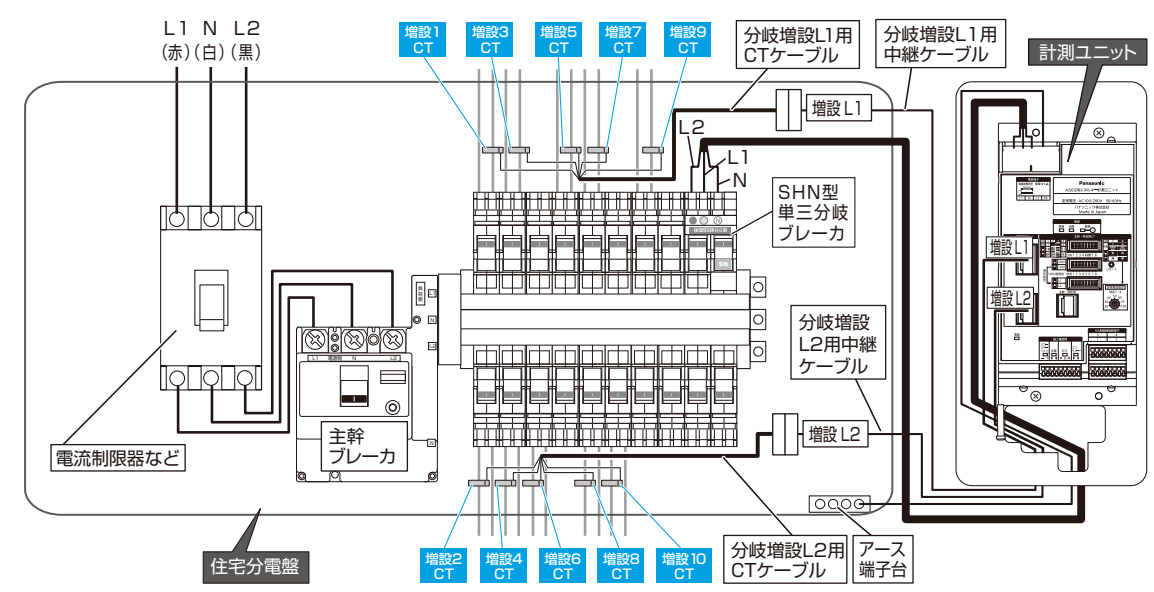
使用例 ① 主幹計測＋分岐計測(8回路)

●主幹・特定用CTケーブル(付属品)の 特定1～4 特定5～8 を8回路分の分岐計測に使用。

使用例 ② 主幹計測＋エコキュート＋分岐計測(7回路)

●主幹・特定用CTケーブル(付属品)の 特定3 をエコキュートに使用。
● 特定1・2・4 特定5～8 を7回路分の分岐計測に使用。

■ご注意
計測ユニットへの電源は、当社製住宅分電盤(コスモパネル コンパクト21)のSHN型単三分岐ブレーカから取り込んだ例です。
SHN型単三分岐ブレーカ以外から電源を取り込む方法もあります。詳しくはP.37をご覧ください。

使用例 ③ 主幹計測＋エコキュート＋過電流検知(別売オプション)＋分岐計測(5回路)

●主幹・特定用CTケーブル(付属品)の 特定3 をエコキュート、特定7・8 を過電流検知(別売オプション)に使用。
● 特定1・2・4 特定5・6 を5回路分の分岐計測に使用。

使用例 ④ 主幹計測＋分岐計測(18回路)

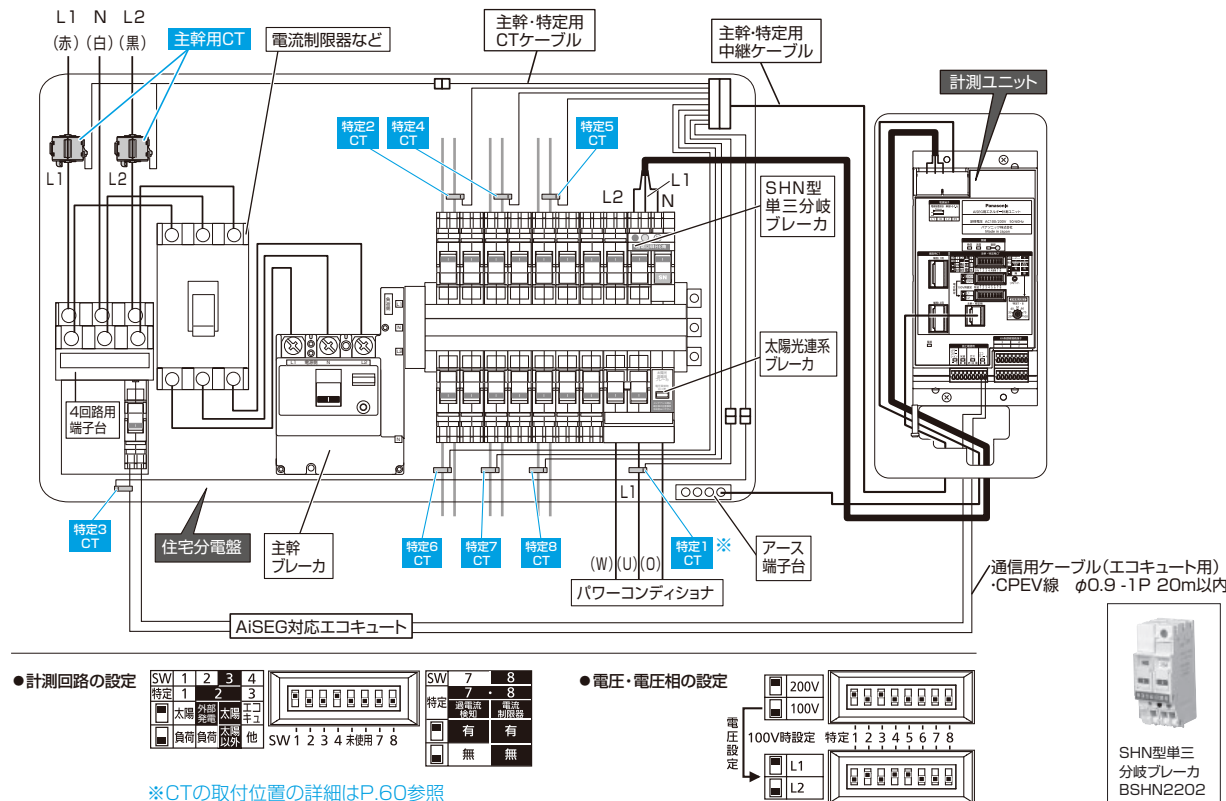
●主幹・特定用CTケーブル(付属品)の 特定1～4 特定5～8 を、8回路分の分岐計測に使用。(図は省略しています)(使用例①と同じです)
●分岐増設用CT(10回路)(別売品)の 増設1～10 を10回路分の分岐計測に使用。

●「計測回路の設定」「電圧・電圧相の設定」は、使用例①と同じです。

■ご注意
使用例⑤の場合、計測ユニットへの電源は、当社製住宅分電盤（コスモパネル コンパクト21）のSHN型単三分岐ブレーカから取り込んだ例です。SHN型単三分岐ブレーカ以外から電源を取り込む方法もあります。詳しくはP.37をご覧ください。

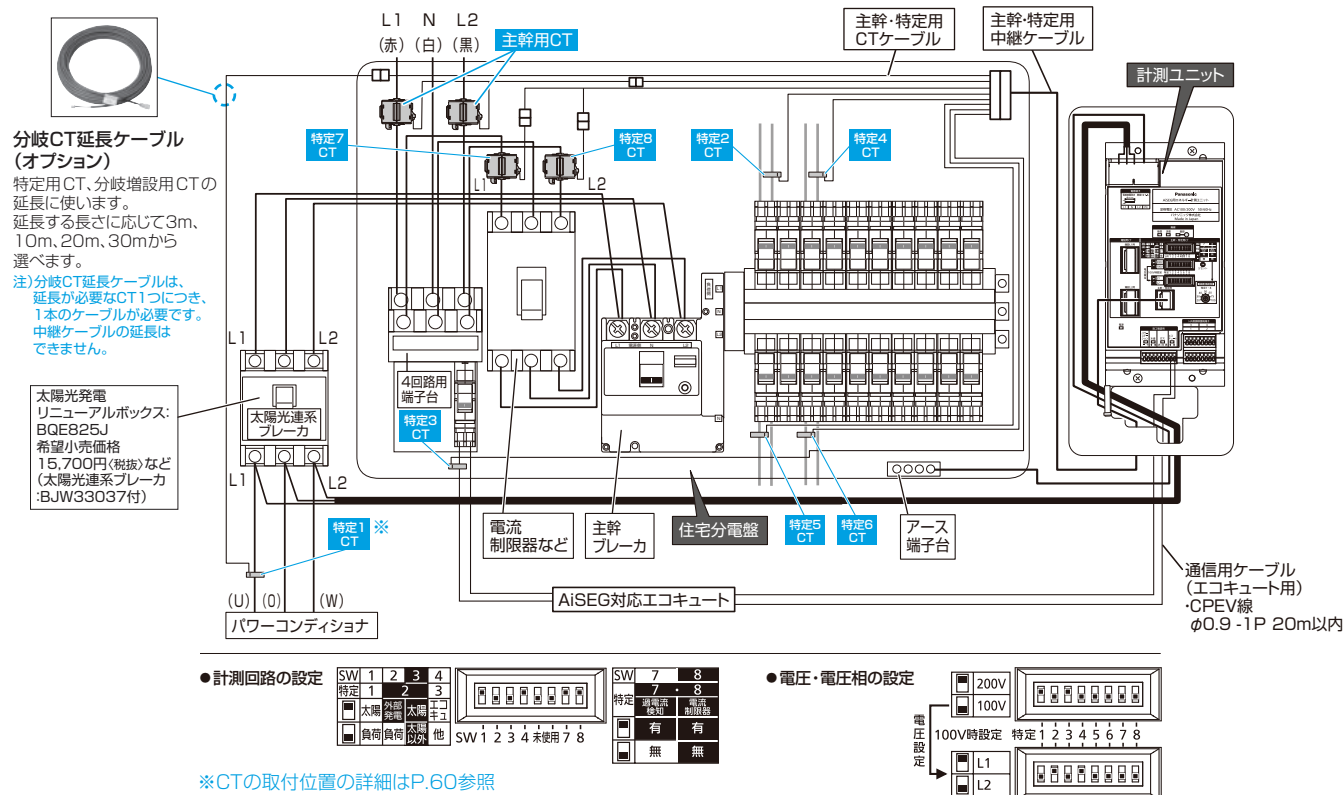
[使用例]

使用例 ⑤　主幹計測＋太陽光発電（2次連系）＋エコキュート＋分岐計測（6回路）

● 主幹・特定用CTケーブル（付属品）の 特定1 を太陽光発電、特定3 をエコキュートに使用。
● 特定2・4 特定5・6・7・8 を6回路分の分岐計測に使用。

※CTの取付位置の詳細はP.60参照

使用例 ⑥　主幹計測＋太陽光発電（1次連系）＋エコキュート＋過電流検知（別売オプション）＋分岐計測（4回路）

● 主幹・特定用CTケーブル（付属品）の 特定1 を太陽光発電、特定3 をエコキュート、特定7・8 を過電流検知（別売オプション）に使用。
● 特定2・4 特定5・6 を4回路分の分岐計測に使用。

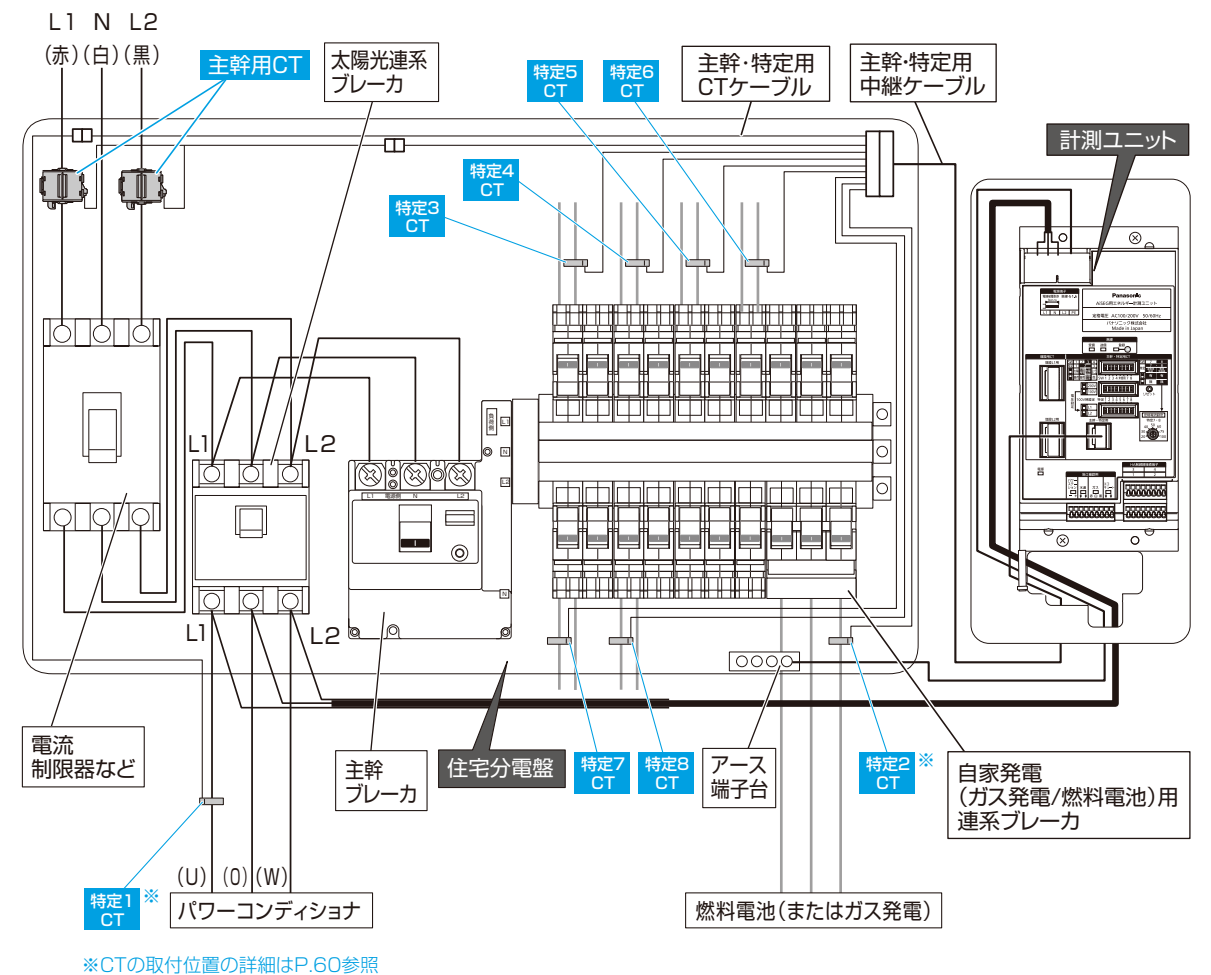
※CTの取付位置の詳細はP.60参照

使用例 ⑦　主幹計測＋太陽光発電（1次連系）＋燃料電池（またはガス発電）＋分岐計測（6回路）

● 主幹・特定用CTケーブル（付属品）の 特定1 を太陽光発電、特定2 を燃料電池（またはガス発電）に使用。
● 特定3・4 特定5・6・7・8 を6回路分の分岐計測に使用。

※CTの取付位置の詳細はP.60参照

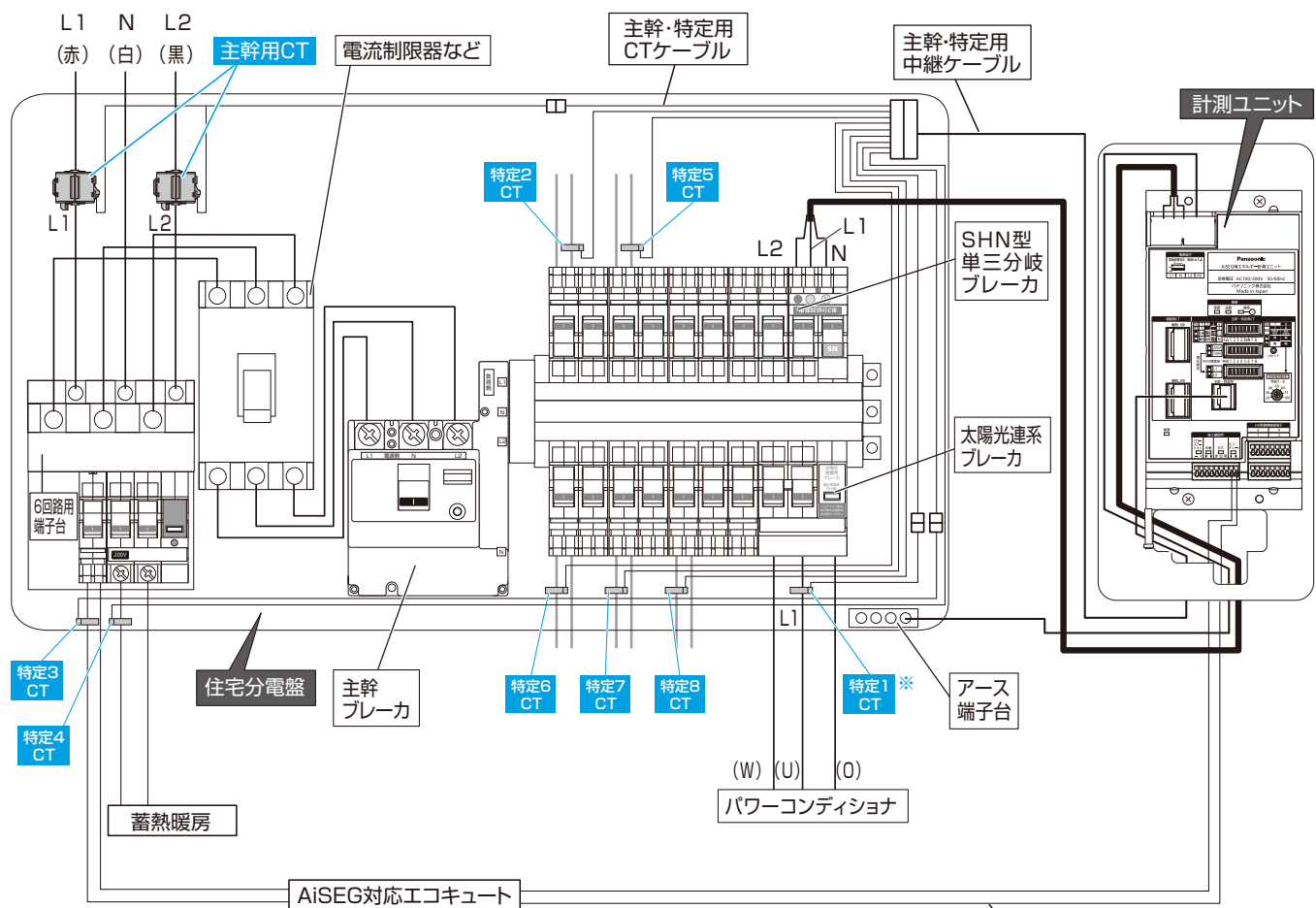
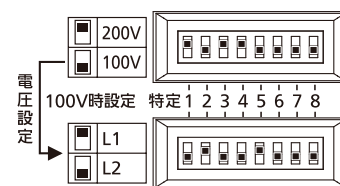
●計測回路の設定

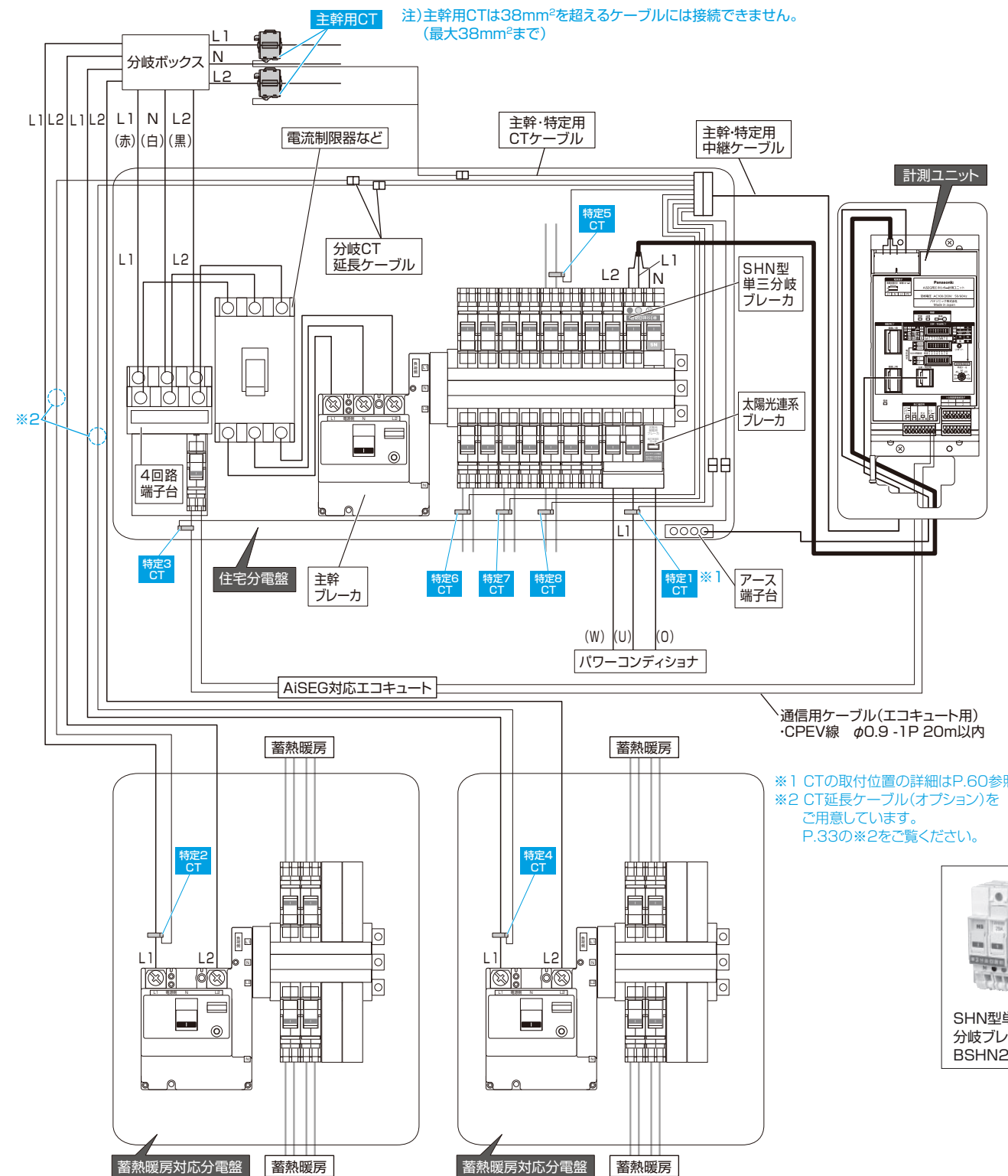
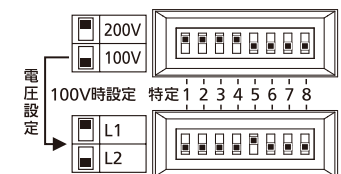
●電圧・電圧相の設定

概要編 設計編 施工編 設定編 トラブル対応編 Q&A

■ご注意
使用例⑧の場合、計測ユニットへの電源は、当社製住宅分電盤（コスモパネル コンパクト21）のSHN型単三分岐ブレーカから取り込んだ例です。
SHN型単三分岐ブレーカ以外から電源を取り込む方法もあります。詳しくはP.37をご覧ください。

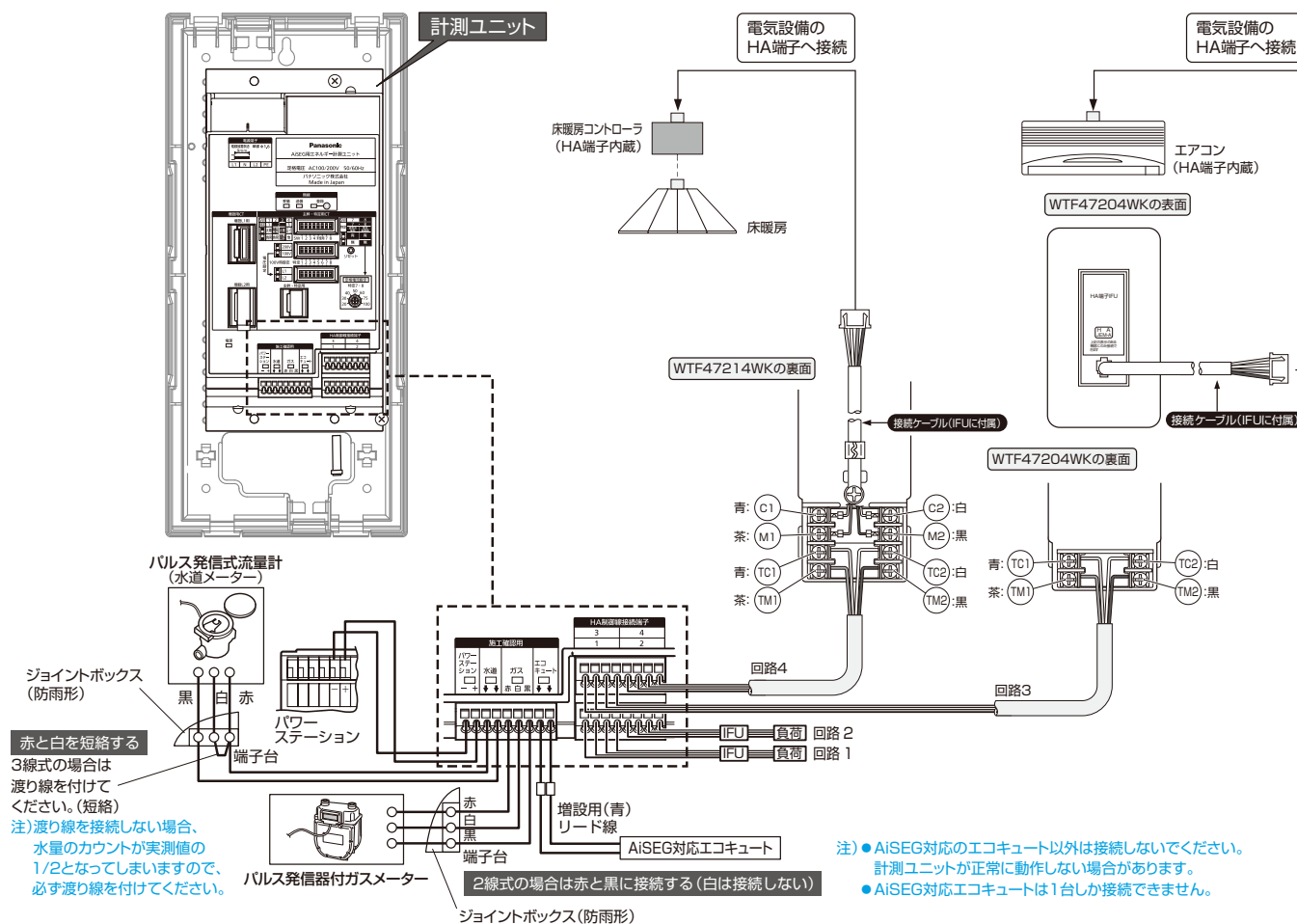
使用例

使用例 ⑧ 主幹計測＋太陽光発電（2次連系）＋エコキュート＋蓄熱暖房＋分岐計測（5回路）

● 主幹・特定用CTケーブル（付属品）の 特定1 を太陽光発電、特定3 をエコキュート、特定4 を蓄熱暖房に使用。
● 特定2 特定5・6・7・8 を5回路分の分岐計測に使用。

※CTの取付位置の詳細はP.60参照

使用例 ⑨ 主幹計測＋太陽光発電（2次連系）＋エコキュート＋蓄熱暖房（2系統）＋分岐計測（4回路）

● 主幹・特定用CTケーブル（付属品）の 特定1 を太陽光発電、特定3 をエコキュート、特定2・4 を蓄熱暖房（2系統）に使用。
● 特定5・6・7・8 を4回路分の分岐計測に使用。

※1 CTの取付位置の詳細はP.60参照
※2 CT延長ケーブル（オプション）をご用意しています。P.33の※2をご覧ください。

［使用例］

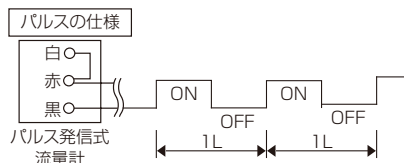
使用例 ⑩ 通信線の接続

●AiSEG対応エコキュート、ガス・水道パルスメーター、パワーステーション、HA端子（JEM-A）対応IFUに接続する場合、通信線の接続が必要です。

■パルス発信式流量計（水道メーター）

●パルス発信式流量計のリード線は基本的に1.5mが標準です。
（詳細仕様は製造メーカーにご確認ください。）

パルス発信式流量計と
AiSEG用エネルギー計測ユニット間の配線について

適用電線	最大配線長
VCTF線（2芯）：0.5mm²〜0.75mm²	50m
AE線（2芯）・CPE-V線（1Pr）： φ0.65mm〜φ0.9mm	

●接続可能なパルス発信式流量計の仕様
・無電圧接点（2線式a接点）／パルス幅150ms以上

●3線式の場合は、赤・白を接続し、黒との2線でAiSEG用エネルギー計測ユニットへ接続してください。

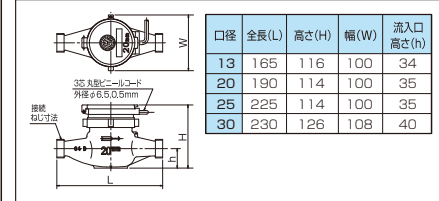
愛知時計電機株式会社製
パルス発信式流量計 FMDSⅡ（1リットル／パルスタイプ）
日本水道協会（JWWA）品質認証登録商号 E-25（各口径共通）

■商品手配に関するご注意
必ずパナソニック製「スマートHEMS」接続用、パルス単位（1リットル／パルス）および口径を指定してください。

■製品仕様

口径	接続ネジ	始動流量（L／h）	適正使用流量範囲（m³／h）	使用最大流量 m³／日	使用最大流量 m³／月	質量（kg）
13	G1/2	30	0.15〜1.2	7.5	125	1.6
20	G3/4	30	0.2〜1.6	10	170	1.8
25	G1	30	0.23〜1.8	11	190	2.0
30	G1 1/4	50	0.4〜6	36	630	2.7

■外形寸法

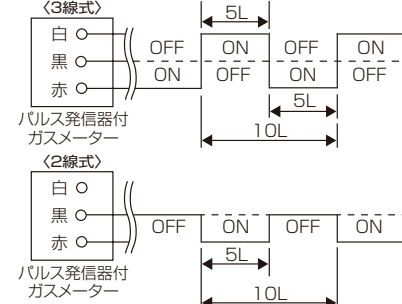
口径	全長(L)	高さ(H)	幅(W)	流入口高さ(h)
13	165	116	100	34
20	190	114	100	35
25	225	114	100	35
30	230	126	108	40

本製品のお問い合わせは
052-661-5160（愛知時計電機株式会社 直通電話番号）まで

■パルス発信器付ガスメーター

●パルス発信器付ガスメーターのリード線は基本的に1.5mが標準です。
（詳細仕様はガス事業者にご確認ください。）

パルス発信器付ガスメーターと
AiSEG用エネルギー計測ユニット間の配線について

適用電線	最大配線長
VCTF線（3芯）：0.5mm²〜0.75mm²	50m
AE線（3芯）・CPE-V線（2Pr）： φ0.65mm〜φ0.9mm	

●接続可能なパルス発信器付ガスメーターの仕様
・3線式…無電圧接点（c接点）／パルス幅150ms以上
・2線式…無電圧接点（a接点）／パルス幅150ms以上

［ガス・水道メーターの接続］

注）ガスおよび水の計測をするには「パルス発信式」のメーターが必要ですので、新築での使用をおすすめします。

ガスメーター

**ガス使用量を計測する場合は、
パルス発信器付ガスメーター
10リットル/パルス のご使用をおすすめします。**

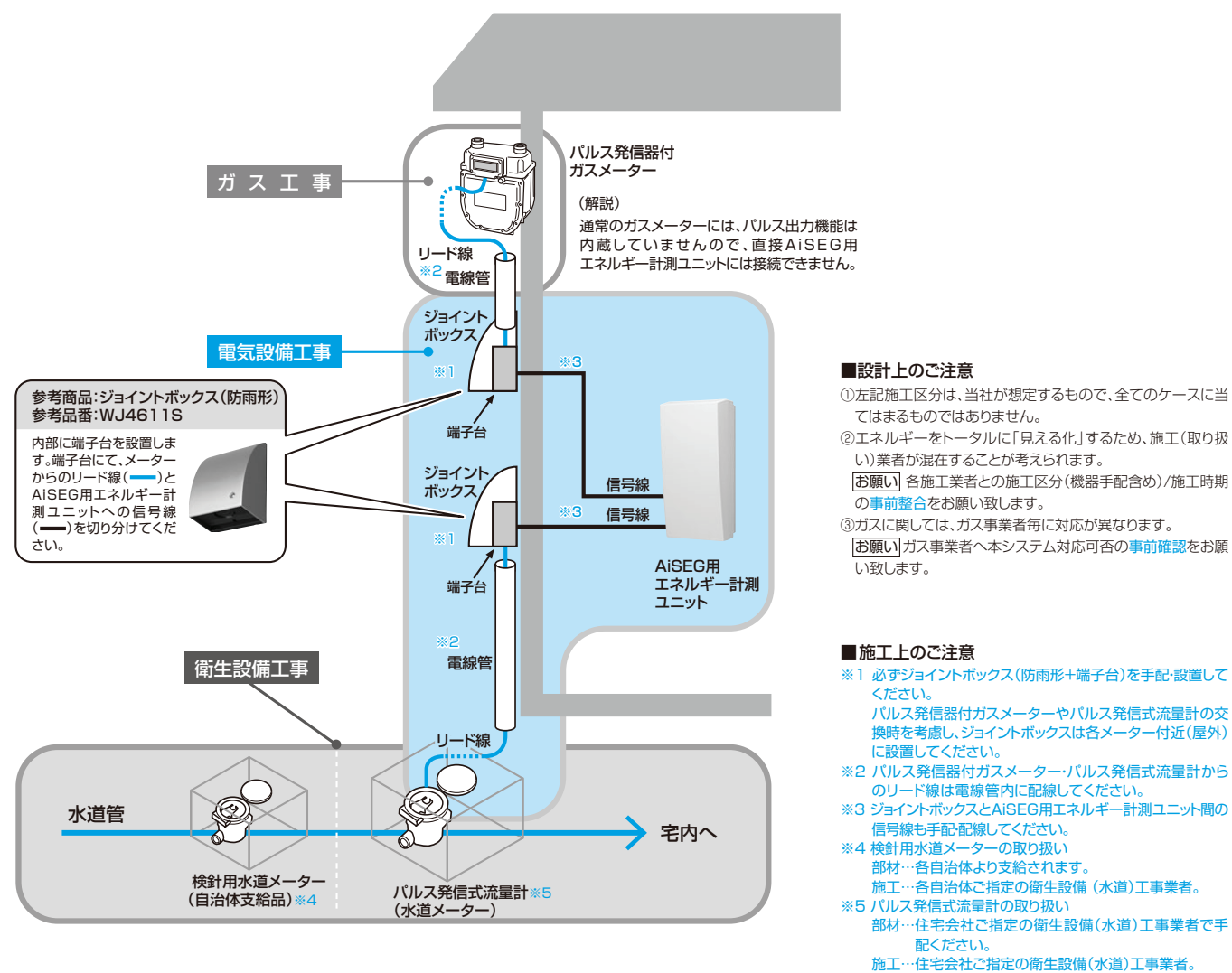
■パルス発信器付ガスメーターの取扱いについて

●ガス会社が支給するパルス発信器付ガスメーター（有料）が必要です。
●初期費用および、メーター交換時の費用や運用はガス事業者により異なります。各ガス事業者へお問い合わせください。
●パルス対応の商品を扱っているかガス事業者にご確認お願いします。（無電圧C接点、パルス幅150ms以上）
●通常のガスメーターからの置き換えとなるか、通常メーターの二次側にパルス発信器付ガスメーターを設置するか、ガス事業者へご確認お願いします。
●ガスメーターは、10年毎にメーターの交換が必要です。交換時には端子台とリード線の再接続が必要です。

水道メーター

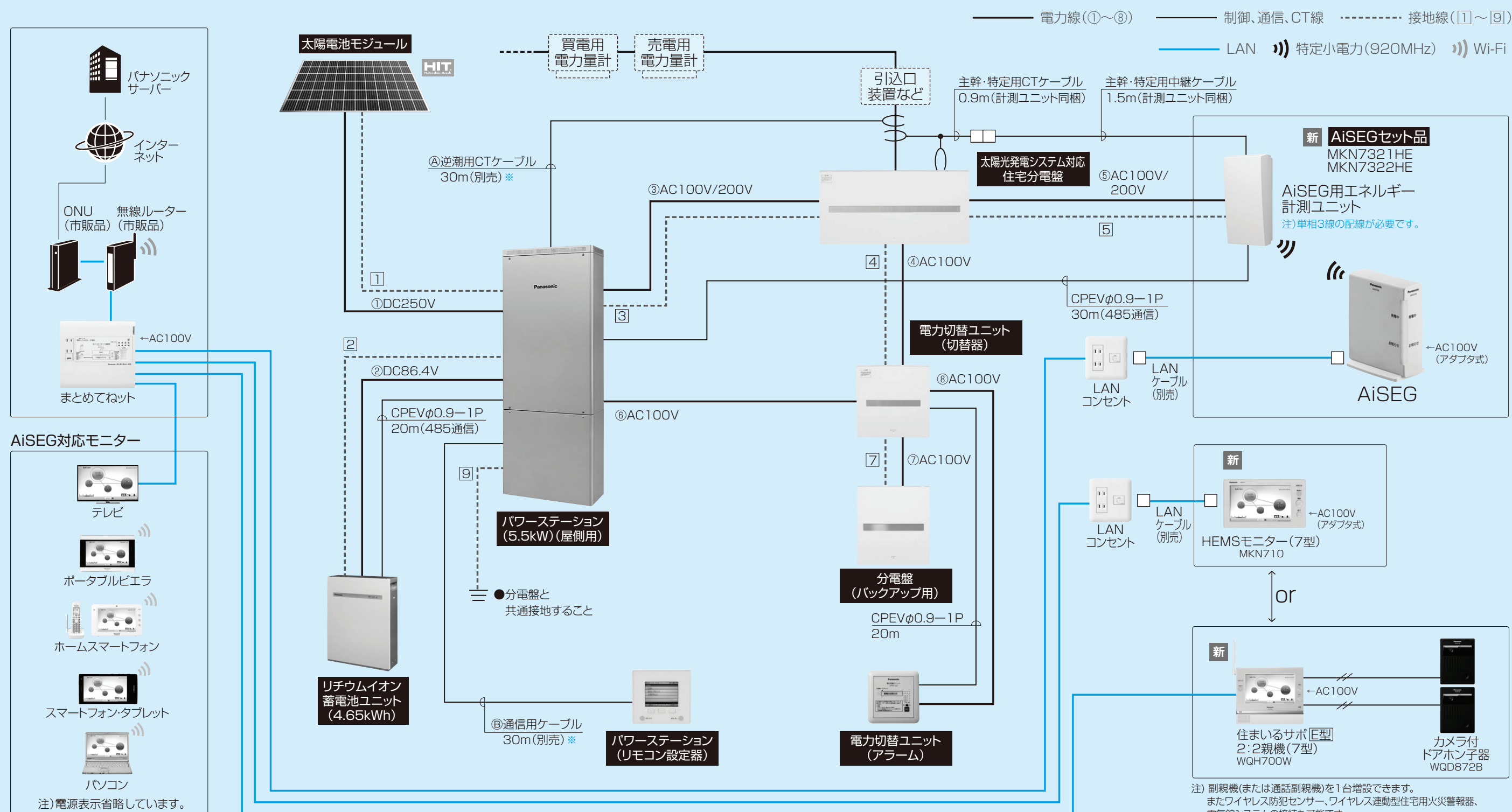
**水量を計測する場合は、
パルス発信式流量計
1リットル/パルス のご使用をおすすめします。**

■パルス発信式流量計の取扱いについて

●パルス対応の商品を扱っているか水道設備製造メーカーにご確認お願いします。（無電圧a接点、パルス幅150ms以上）
●接続推奨機器はP.51下の愛知時計電機株式会社製パルス発信式流量計です。
●口径に合わせてパルス発信式流量計を手配ください。
●検針用水道メーターの二次側（家側）に別途設置になります。
●検針用メーターと誤認されないよう離れた場所へ設置してください。
●検針用メーターは8年毎に機器交換が必要です。パルス発信式流量計も同時に交換をおすすめします。また、交換時には端子台とリード線の再接続が必要です。

■設計上のご注意
①左記施工区分は、当社が想定するもので、全てのケースに当てはまるものではありません。
②エネルギーをトータルに「見える化」するため、施工（取り扱い）業者が混在することが考えられます。
お願い 各施工業者との施工区分（機器手配含め）/施工時期の事前整合をお願い致します。
③ガスに関しては、ガス事業者毎に対応が異なります。
お願い ガス事業者へ本システム対応可否の事前確認をお願い致します。

■施工上のご注意
※1 必ずジョイントボックス（防雨形＋端子台）を手配・設置してください。
パルス発信器付ガスメーターやパルス発信式流量計の交換時を考慮し、ジョイントボックスは各メーター付近（屋外）に設置してください。
※2 パルス発信器付ガスメーター・パルス発信式流量計からのリード線は電線管内に配線してください。
※3 ジョイントボックスとAiSEG用エネルギー計測ユニット間の信号線も手配・配線してください。
※4 検針用水道メーターの取り扱い
部材…各自治体より支給されます。
施工…各自治体ご指定の衛生設備（水道）工事業者。
※5 パルス発信式流量計の取り扱い
部材…住宅会社ご指定の衛生設備（水道）工事業者で手配ください。
施工…住宅会社ご指定の衛生設備（水道）工事業者。

スマートHEMS ＋ 創蓄連携システムのシステム系統図

システム図と構成部材

- パナソニック住宅用太陽光発電システム用の商品です。既設の太陽光発電システムへの追加設置はできません。
- 引込み容量は100A以下です。(38mm²以下)
- ※ⒶⒷはパワーステーション専用別売部材として、パワーステーション専用ケーブルセットLJP7130が必要です。
- ECOマネシステムへの接続はできません。
- 増設パワーコンディショナをつける場合は、増設パワーコンディショナを住宅分電盤に1次送り連系で接続し、パワーステーションを住宅分電盤に2次送り連系で接続しないでください。

接続組み合わせ例	パワーステーション1次送り	パワーステーション2次送り
増設パワーコンディショナ1次送り	○	×
増設パワーコンディショナ2次送り	○	○

設置場所や設置スペースに条件があります。詳細は創蓄連携システムの設計施工ガイド、各々の施工説明書をご確認ください。

- 住宅分電盤の分岐ブレーカ(30A)から電力切替ユニットへ配線を行ってください。住宅分電盤には電力切替ユニットへ配線する分岐ブレーカ(30A)が必要です。

注) ●掲載写真の画面は、はめ込み合成です。実際の画面とは異なる場合がございます。
●イラストや図の内容はイメージです。

■電力線について

電力線	配置方式	推奨電線種×最大電線長
①	DC	太陽電池専用ケーブル VB80103TP(20m) ※1
②	DC	CV 2心 5.5mm²×15m 8mm²×20m
③	1φ 3W	CV 3心 5.5mm²×20m 8mm²×30m
④	1φ 2W	VV 2心 5.5mm²×5m 8mm²×8m
⑤	1φ 3W	VV 3心 φ1.6×1.5m ※2
⑥	1φ 2W	CV 2心 5.5mm²×15m 8mm²×25m
⑦	1φ 2W	VV 2心 5.5mm²×3m 8mm²×5m
⑧	1φ 2W	VV 2心 φ1.6×20m

※1 20mを超える場合は、30m:VB8CN30EKT、40m:VB8CN40EKTをご使用ください。
※2 AiSEG用エネルギー計測ユニット施工説明書を参照し、選定してください。

■接地線について

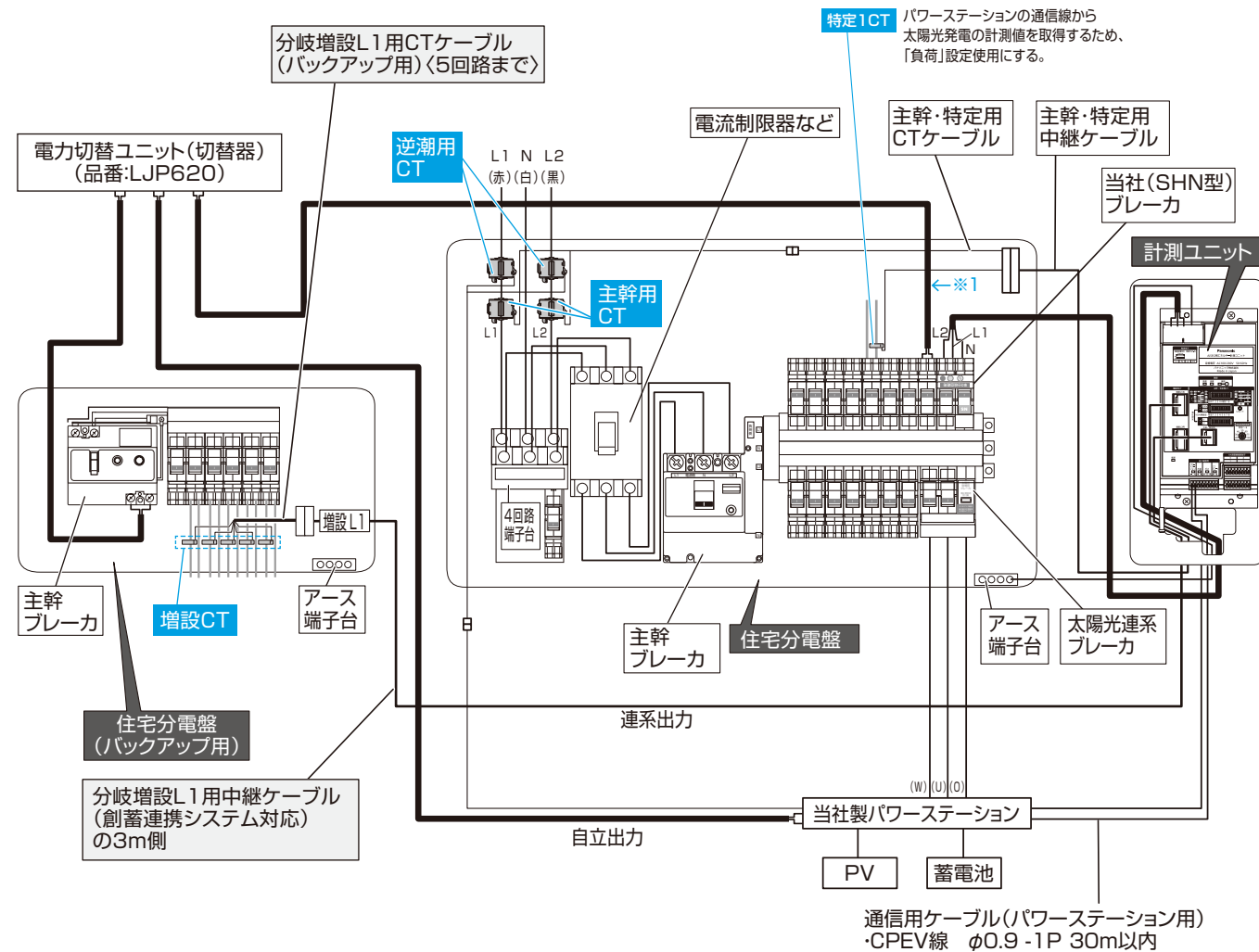
接地線	推奨電線種	備考
1	IV 1心 φ2.6(5.5mm²)	当社太陽電池モジュールの仕様に合わせてください。
2	IV 1心 φ1.6(2mm²)	—
3	IV 1心 φ2.6(5.5mm²)	容量100Aまで
4	IV 1心 φ1.6(2mm²)	—
5		
7		
9	IV 1心 φ2.6(5.5mm²)	容量100Aまで

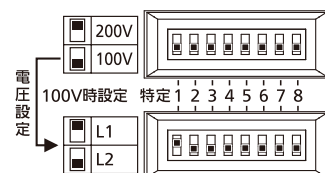
■ご注意
計測ユニットへの電源は、当社製住宅分電盤（コスモパネル コンパクト21）のSHN型単三分岐ブレーカから取り込んだ例です。
SHN型単三分岐ブレーカ以外から電源を取り込む方法もあります。詳しくはP.37をご覧ください。

［使用例］

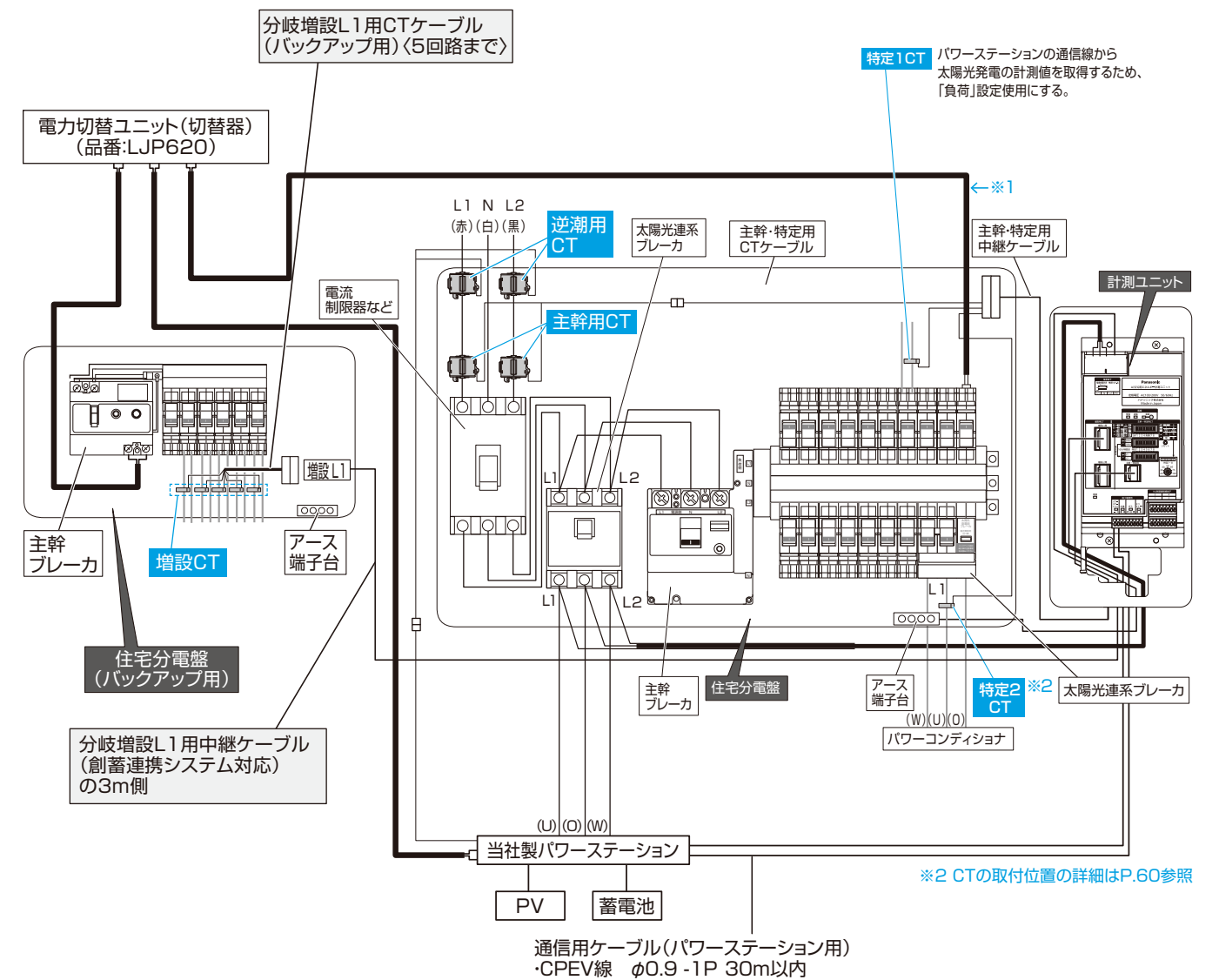
使用例 ⑪ 主幹計測+創蓄連携システム

●別売のAiSEG用分岐増設CT（30A）（5+25回路）（自立分電盤用）を使用。
● 特定1〜8 は負荷として使用（または未使用）。（特定2〜8 の図は省略）
●増設についてはバックアップ用分電盤への配線以外は省略。

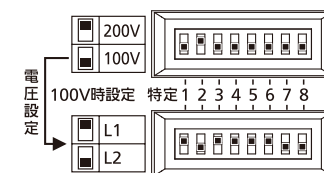
※1 主分電盤からバックアップ用分電盤へ接続する30Aブレーカは、主分電盤のL1側に設置してください。

●計測回路の設定

●電圧・電圧相の設定

使用例 ⑫ 主幹計測+創蓄連携システム+太陽光発電（2系統目）

●別売のAiSEG用分岐増設CT（30A）（5+25回路）（自立分電盤用）を使用。
●主幹·特定用CTケーブル（付属品）の 特定2 を太陽光発電（2系統目）に使用。
特定1 特定3〜8 は負荷として使用（または未使用）。（特定3〜8 の図は省略）
●増設についてはバックアップ用分電盤への配線以外は省略。

※1 主分電盤からバックアップ用分電盤へ接続する30Aブレーカは、主分電盤のL1側に設置してください。

●計測回路の設定

●電圧・電圧相の設定

使用例

使用例 ⑬ 主幹計測+創蓄連携システム+燃料電池

●別販売のAiSEG用分岐増設CT(30A)(5+25回路)(自立分電盤用)を使用。
●主幹・特定用CTケーブル(付属品)の 特定2 を燃料電池に使用。
特定1 特定3〜8 は負荷として使用(または未使用)。(特定3〜8 の図は省略)
●増設についてはバックアップ用分電盤への配線以外は省略。

※1 主分電盤からバックアップ用分電盤へ接続する30Aブレーカは、主分電盤のL1側に設置してください。

●計測回路の設定

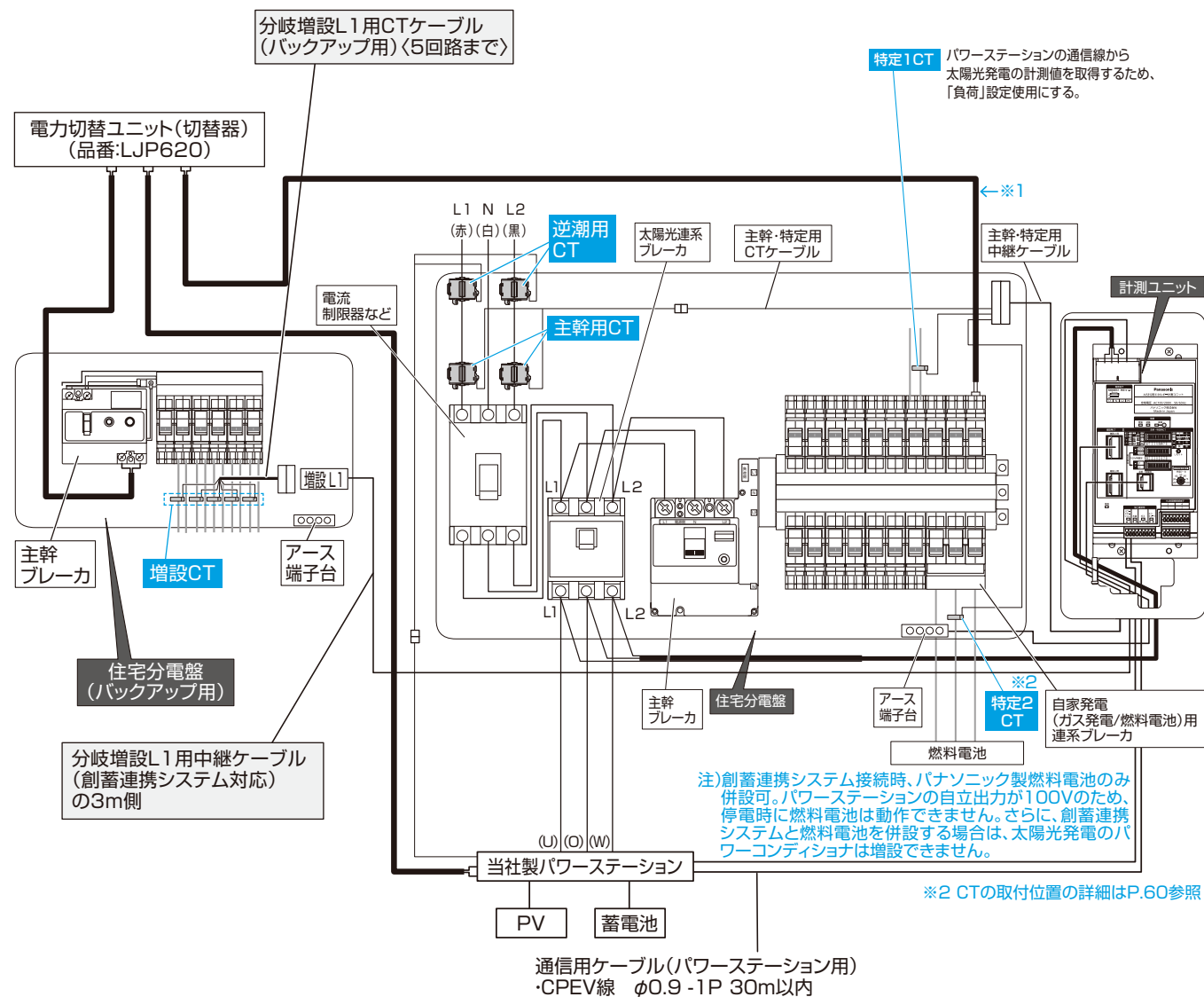
SW	7	8
特定	7・8 過電流検知	7・8 電流制限器
(上)	有	有
(下)	無	無

●電圧・電圧相の設定

(上)	200V
(下)	100V

電圧設定 → 100V時設定

特定 1 2 3 4 5 6 7 8

(上)	L1
(下)	L2

Memo

1 本体の取付

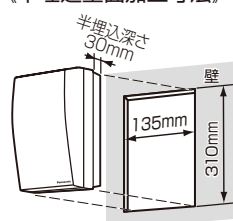
【露出取付】

●本体（ボックス）の配線孔に合わせて壁に穴を開ける。

【半埋込取付】

●壁に半埋込用の穴を開ける。

注）ベースの底面に合わせて穴を開けないでください。ベースの底面寸法と半埋込穴寸法は異なります。

《半埋込壁面加工寸法》

【石こうボード用取付はさみ金具〔露出・半埋込取付兼用〕（別売）】

●別売の石こうボード用取付はさみ金具をご使用いただくと下地工事なしで石こうボード壁・新建材壁に直接簡単に取り付けできます。
当社品番:BQS900（9～15mm壁用）・BQS901（16～25mm壁用）

2 CT（変流器）の取り付け位置確認

あらかじめP.41～44の施工チェックシートを完成させてからCTの取り付け位置を決めてください。

3 CT（変流器）の取付・スイッチの設定

① 主幹用CTの取付

主幹ブレーカ1次側または、電流制限器の1次側に、L1（赤）・L2（黒）に取り付ける。
（使用例の太陽光1次連系や2次連系を参照し、売電電力も計測できる位置に取り付けてください）

・CTにはL1側・L2側があります。
CT本体表示を確認して取り付けてください。
・CTには極性があります。
電線にCTを取り付ける際、CT本体ラベル表示の「電源側」が電力メーター側になるように取り付けてください。

＊主幹用CTは分割形です。電線を端子に接続した後でも取り付け可能です。

主幹ブレーカ1次側または、電流制限器の1次側

CT（変流器）の取り付け方

■分割形（主幹用）

CTを開いてはさみこみ、

カチッと音がするまで閉めます。

■貫通形（特定用）（増設用）

CTに電線を通してから、

電線をブレーカに接続します。

〈ご参考〉テスターによる判断

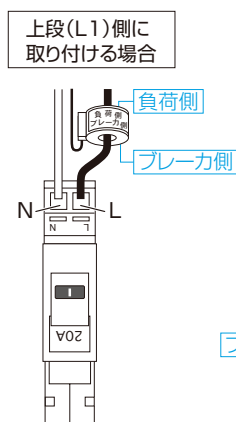
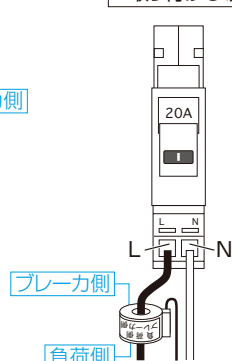
計測ユニットの電源L1端子と主幹ブレーカのL1端子をテスターで電圧測定してください。『0Vと表示されたら接続は正しい』、200Vと表示されたら接続が誤っています。

CT取付に関するご注意

CT取付時は、取り付ける電線と向き（極性）にご注意ください。（下図は当社製コンパクトブレーカの場合です）

注）●向き（極性）を間違えると計測データがマイナス表示になります。
●特定1～4はCT（100A）専用。特定5～8（および増設用）はCT（30A）専用です。
例えば、特定1にCT（30A）は接続しないでください。計測値が誤った値となります。

100V 分岐ブレーカ

L側にCTを取り付けてください。

200V 分岐ブレーカ

L1側にCTを取り付けてください。

上段側に取り付ける場合　下段側に取り付ける場合

負荷側　ブレーカ側　L2　L1　20A

注意　L2　L1　ブレーカ側　負荷側

② 分岐 計測用CTの取り付け

特定1～4用（100A）、特定5～8用（30A）を測定対象回路に応じて取り付ける。

注）特定1～4はCT（100A）専用。特定5～8（および増設用）はCT（30A）専用です。例えば、特定1にCT（30A）は接続しないでください。計測値が誤った値となります。

③ 特定1（100A専用）の設定

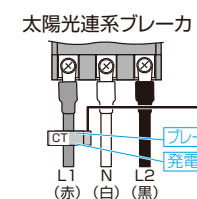
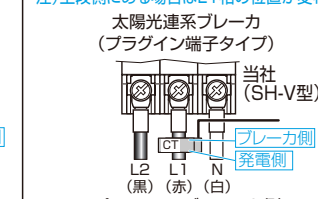
■ 太陽光発電として使用する場合

CTを太陽光連系ブレーカのパワーコンディショナ側電線（L1（赤）側）に貫通させる。

・CTには極性があります。電線にCTを貫通させる際、CT本体ラベル表示の「発電側」がパワーコンディショナ側になるようにしてください。

注）当社製パワーステーションに接続する際は太陽光用CTは必要ありませんので、スイッチを「負荷」に設定して、分岐回路の計測としてお使いください。

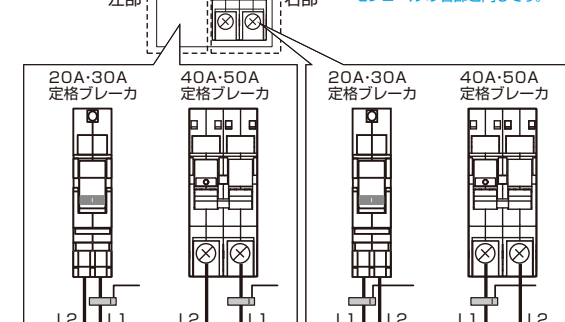
スイッチ設定

SW1を上「太陽」に設定

■ 分岐負荷回路の計測として使用する場合

CTを計測したいブレーカの電線（L側、200Vの場合はL1側）に貫通させる。

・CTには極性があります。電線にCTを貫通させる際、CT本体ラベル表示の「ブレーカ側」がブレーカ側になるようにしてください。

スイッチ設定　SW1を下「負荷」に設定

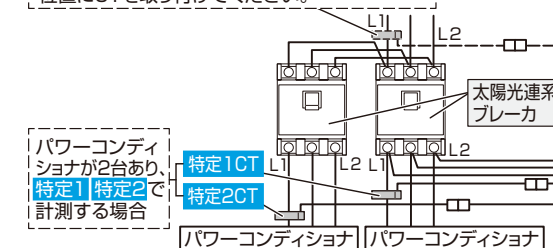
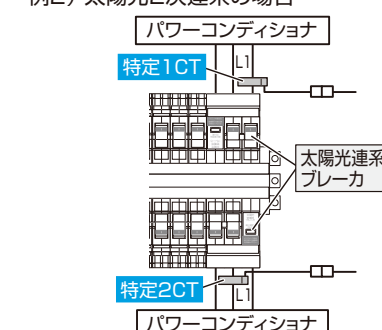
エコキュート回路専用端子台（4Cモジュール対応）

④ 特定2（100A専用）の設定

■ 太陽光発電（2台目）として使用する場合

パワーコンディショナが2台あり個別に発電量を計測したい場合は、それぞれを単独で計測できる箇所のL1（赤）側にCTを貫通させてください。

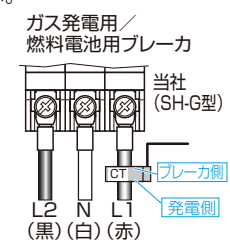
スイッチ設定

例1）太陽光1次連系の場合

パワーコンディショナが2台あり、特定1のみで計測する場合は2台の出力を同時に計測できる位置にCTを取り付けてください。

例2）太陽光2次連系の場合

■ 外部発電として使用する場合

・CTはL1（赤）側に取り付けてください。
・CTには極性があります。電線にCTを貫通させる際、CT本体ラベル表示の「発電側」が外部発電側になるようにしてください。

スイッチ設定

SW2を上「外部発電」
SW3を下「太陽以外」に設定

■ 分岐負荷回路の計測として使用する場合

CTの取り付けは「特定1」を分岐負荷回路として使用する場合と同じです。

スイッチ設定

SW2を下「負荷」に設定
SW3の設定は無効

⑤ 特定3（100A専用）の設定

■ エコキュート（電力計測）として使用する場合

CTをエコキュート用のブレーカの電線（L1側）に貫通させる。

・CTには極性があります。電線にCTを貫通させる際、CT本体ラベル表示の「ブレーカ側」がブレーカ側になるようにしてください。

スイッチ設定

■ 分岐負荷回路の計測として使用する場合

CTの取り付けは「特定1」を分岐負荷回路として使用する場合と同じです。

スイッチ設定

⑥ 特定4（100A専用）／特定5･6（30A専用）について

分岐負荷回路の計測専用です。（回路の種類についての設定はありません）

CTの取り付けは「特定1」を分岐負荷回路として使用する場合と同じです。

⑦ 特定7･8（30A専用）の設定

■ 分岐負荷回路の計測として使用する場合

CTの取り付けは「特定1」を分岐負荷回路として使用する場合と同じです。

スイッチ設定

■ ピークアラーム（過電流検知機能）を使用する場合

MEMO ピークアラームとは、使用電力の瞬時値が契約電力あるいはブレーカ容量を超えそうな場合に、ブザーでお知らせする機能のことです。

手順1 CT（変流器）･CTケーブルの取付

①過電流検知用CT（MKN747）は、主幹ブレーカまたは電流制限器の1次側に取り付けます。

②計測ユニットから引き込まれた主幹･特定用CTケーブル 特定7･8 のコネクタに、同梱の 特定7（L1）用、特定8（L2）用ハーネスでCTと接続します。

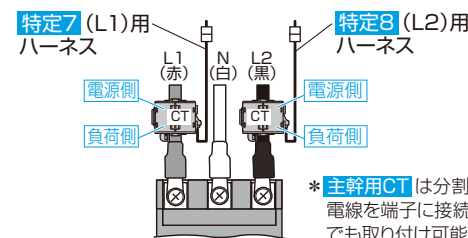
◆ 電流制限器ありの場合

電流制限器の1次側（L1相･L2相）電線に取り付ける。

◆ 電流制限器なしの場合

主幹ブレーカまたは契約用しゃ断器の1次側（L1相･L2相）電線に取り付ける。

・特定7 はL1側･特定8 はL2側に接続します。

・CTには極性があります。必ずCT本体ラベル表示の「電源側」が電力メーター側になるようにしてください。

・電流制限器と契約用しゃ断器は異なるものです。

手順2 スイッチの設定

AiSEG用エネルギー計測ユニットの
スイッチ「SW7･8」を設定します。

◆ 電流制限器ありの場合

スイッチ設定

◆ 電流制限器なしの場合

スイッチ設定

SW7を上「有」
SW8を下「無」に設定

・過電流検知機能（SW7）を「有」に設定した場合、電圧･電圧相は自動で設定されます。特定7･8 の電圧･電圧相設定は不要です。

手順3 定格電流の設定

AiSEG用エネルギー計測ユニットの
定格電流設定スイッチを設定します。

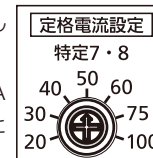
◆ 電流制限器ありの場合

電流制限器の定格電流値に設定します。

◆ 電流制限器なしの場合

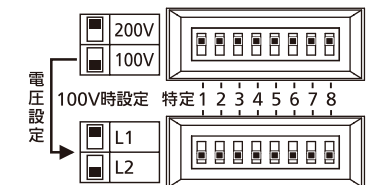
主幹ブレーカの定格電流と同じ値に設定します。ただし契約用しゃ断器（電流電力量契約用しゃ断器）があり、かつ、その定格電流値が小さい場合は契約用しゃ断器の定格電流と同じ値に設定してください。

・「カチッ」と音がするまで回転し、設定してください。

・電流値のないところに設定すると20Aの設定になります。（電気を使いすぎると早めに過電流を検知します）

⑧ 特定1～8 の電圧･電圧相の設定

特定1～8 で計測している回路の電圧（100V/200V）を設定します。

電圧を100Vに設定の場合は電圧相（L1/L2）の設定をします。

・電圧･電圧相の設定は回路の種類に関わらず必ず行ってください。（正しく設定していない場合は誤った計測値になります）ただし、計測回路の設定で、SW1 特定1「太陽」、SW2 特定2「外部発電」、SW4 特定3「エコキュ」に設定時は、該当回路の電圧･電圧相の設定は不要です。

⑨ 増設用CT の取り付け

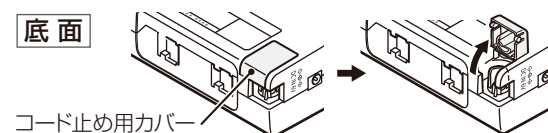
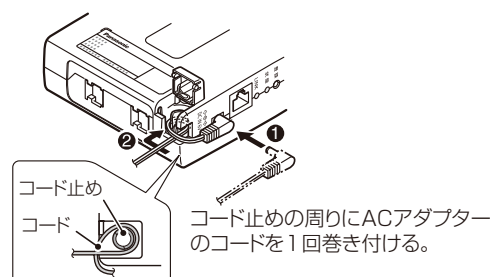
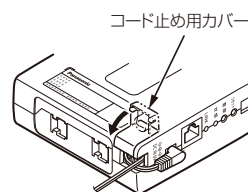
増設用CT を分岐ブレーカに貫通させる。

・増設用CTはL相側に取り付けてください。

ACアダプターを接続する

付属のACアダプターをAiSEGとコンセントに接続してください。

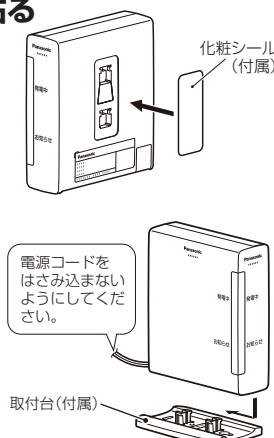
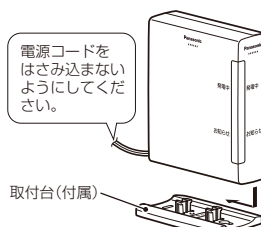
注)登録を行うため、AiSEG用エネルギー計測ユニットやAiSEGに対応したエアコン、IHクッキングヒーターに近い場所で接続してください。

1 コード止め用カバーを開ける

2 電源プラグを差し込み、ACアダプターのコードをコード止めに通す

3 コード止め用カバーを閉じる

4 設置する

卓上置きの場合

1 化粧シール(付属)を貼る

●使用しない取付穴(側面)を隠すために、化粧シールを貼り付けてください。

注)化粧シールは一度貼り付けるとはがすことが困難ですので、取付場所を決めてから、貼り付けてください。

2 取付台を底面にはめる

壁かけの場合

●固定する前に必ず電波到達確認(P.65参照)を行ってください。

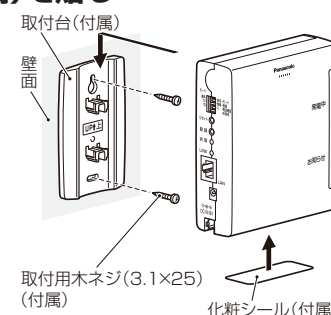
●設置後、エアコンなどの家電機器を追加した場合、AiSEGへ電波が届かないことがあります。その際は、AiSEGを電波が届く場所に設置してください。

注)●壁にかける場合、AiSEGの中心は取付台の中心より11mm下がります。
●石こうボードへの取り付けは脱落を防止するため、横木などで補強された場所に取り付けてください。
●ネジを強く締め付け過ぎないようにしてください。締め付けすぎると取付台が変形するおそれがあります。

1 化粧シール(付属)を貼る

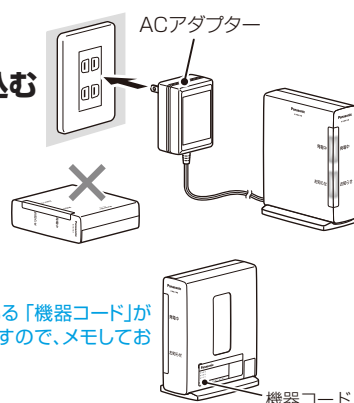
●使用しない取付穴(底面)を隠すために、化粧シールを貼り付けてください。

注)化粧シールは一度貼り付けるとはがすことが困難ですので、取付場所を決めてから、貼り付けてください。

取付台(付属)
壁面
取付用木ネジ(3.1×25)(付属)
化粧シール(付属)

2 取付台を使用場所にネジ止めし、AiSEGを取り付ける

5 ACアダプターをコンセントに差し込む

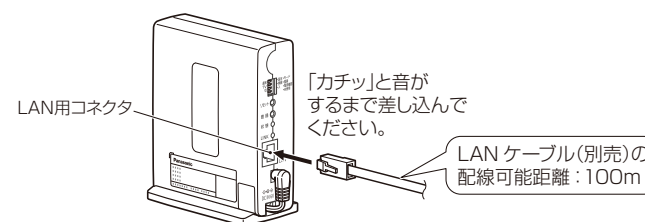
注)●発熱により故障するおそれがありますので、右図のような設置はしないでください。

●本体側面に表示されている「機器コード」が必要になる場合がありますので、メモしておいてください。

(メモ欄)

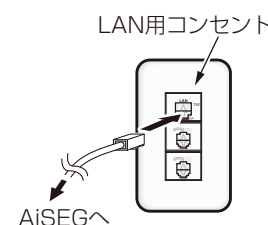
機器コード	

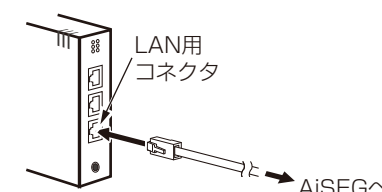
LANケーブルを接続する

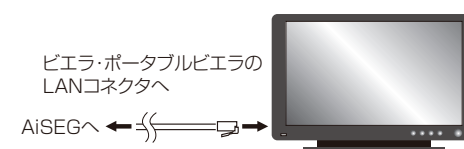
注)●LANケーブルは別売です。必要な長さのケーブルをご用意ください。ストレート/クロスどちらのタイプのケーブルでも使用できます。
●宅内LANに接続した場合は、テレビやパソコンなどAiSEGを表示するための機器も同じ宅内LANに接続してください。

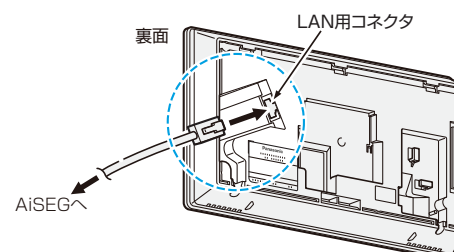
1 AiSEGのLAN用コネクタにLANケーブルを差し込む

2 LANケーブルを接続する

LAN用コンセントに接続する場合

LAN用コンセントに差し込む

ルーターに接続する場合

ルーターのLAN用コネクタに差し込む

ビエラ・ポータブルビエラに接続する場合

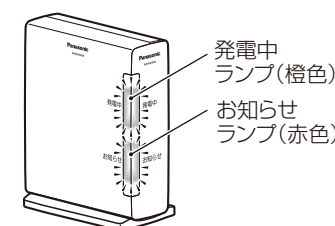
テレビのLANコネクタに差し込む

HEMSモニターに直接接続する場合

HEMSモニターのLAN用コネクタに差し込む

AiSEG用エネルギー計測ユニット、AiSEG対応機器を登録する

■登録機器と登録可能台数

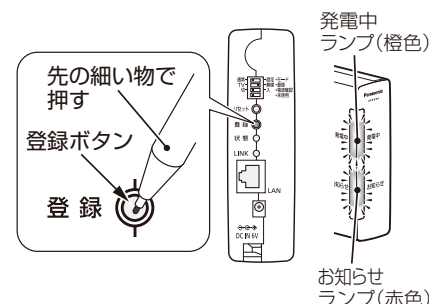
機器	台数
AiSEG用エネルギー計測ユニット	1台
AiSEG対応エアコン	12台
AiSEG対応IHクッキングヒーター	1台

1 AiSEGをコンセントに接続する

注)AiSEG用エネルギー計測ユニットを登録しないとAiSEGは動作しません。AiSEG用エネルギー計測ユニットが未登録の場合、AiSEGの発電中ランプ(橙色)、お知らせランプ(赤色)が1秒間隔で点滅します。

2 AiSEG背面の登録スイッチを「無線」側に切り替える

3 登録ボタンをボールペンなど先の細い物で1秒押す

AiSEGが「ピッ」と鳴り、

➡ 本体前面の発電中ランプ(橙色)とお知らせランプ(赤色)が早点滅し、登録待機状態になります。

登録は、AiSEGの電源を入れてから約2分経過してから行ってください。

注)●登録ボタンを押してから何も操作しない状態が約5分間続くと、登録待機状態は自動的に解除され、通常状態に戻ります。
●登録が完了した後は自動的に通常状態に戻ります。

4 AiSEG用エネルギー計測ユニットの無線登録用スイッチを長押し（2秒以上）する

登録完了したとき

AiSEG用エネルギー計測ユニット:
　登録LEDが点灯（約5分間）

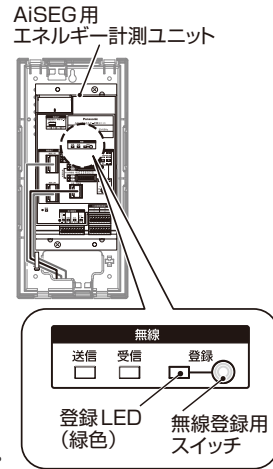
AiSEG:
　「ピー」と鳴る

登録失敗したとき

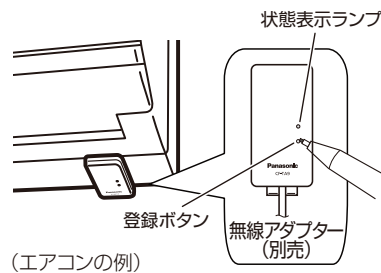
AiSEG用エネルギー計測ユニット:
　登録LEDが点滅（2回）を3回くり返す

AiSEG:
　「ピッピッピ」と鳴り、発電中ランプとお知らせランプが1秒間隔で点滅

●再度、手順 3 4 を行ってください。

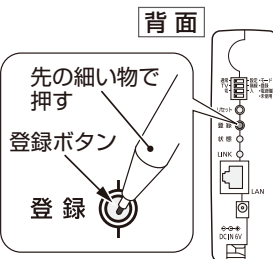
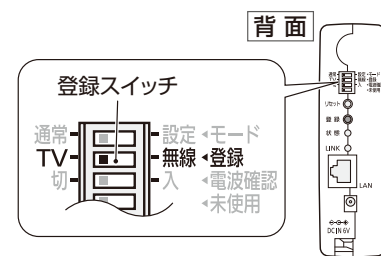
AiSEG用
エネルギー計測ユニット
無線
送信
受信
登録
登録LED
（緑色）
無線登録用
スイッチ

5 AiSEG対応の無線機器がある場合は登録操作を行う

注）登録操作および登録時の動作については、AiSEGに対応した機器の説明書を参照してください。

（エアコンの例）

6 登録が終わればAiSEG背面の登録ボタンをボールペンなど先の細い物で短押し（1秒以内）する

AiSEG：「ピッ」と鳴る

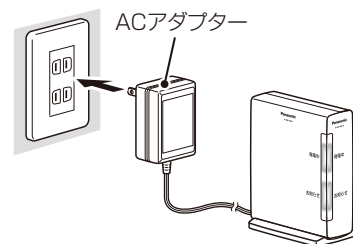
➡ 登録待機状態が終了します。

➡ 本体前面の発電中ランプとお知らせランプが消灯します。

7 登録スイッチを「TV」側に切り替える

電波到達を確認する

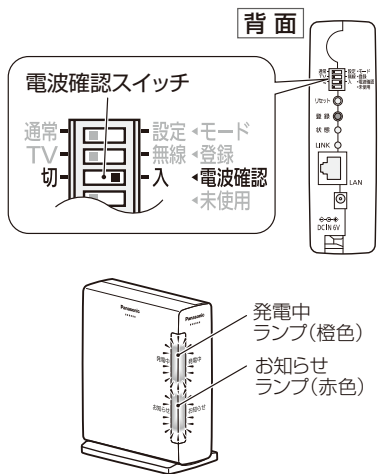
実際に使用する場所で、AiSEG用エネルギー計測ユニットやAiSEGに対応した機器の電波がAiSEGに届いているかを確認します。

注）●使用する場所については、取扱説明書のご注意をご確認ください。
　●AiSEGの使用場所を変更した場合は、その都度、電波到達確認を行ってください。

1 AiSEGを使用場所に置く

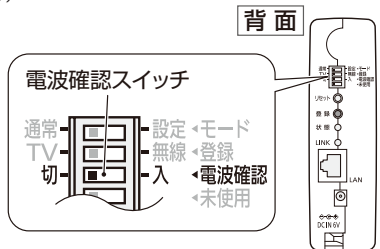
注）ACアダプターをいったん抜いた場合は、使用場所ですみやかに再度コンセントに差し込んでください。1時間以上抜いたままにしていると、時刻設定が失われる場合があります。

2 AiSEG背面の電波確認スイッチを「入」側に切り替える

➡ 本体前面の発電中ランプ（橙色）とお知らせランプ（赤色）が交互に早点滅します。

➡ AiSEG用エネルギー計測ユニットの登録LEDが点灯（約5分間）すれば電波が正常に到達しています。

注）AiSEGに対応した機器の動作については、AiSEGに対応した機器側の説明書を参照してください。

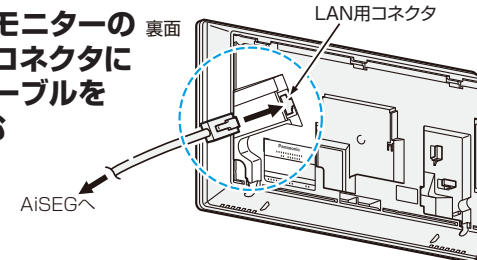
3 確認が終われば電波確認スイッチを「切」側に切り替える

➡ 本体前面の発電中ランプが消灯し、お知らせランプが赤色点滅します。

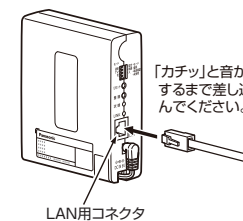
●時刻設定されていればお知らせランプも消灯します。
（AiSEGがインターネット回線に接続されている場合は自動的に時刻設定されます。）

■接続方法

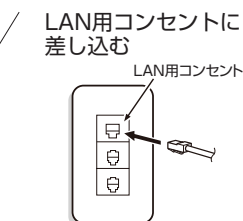
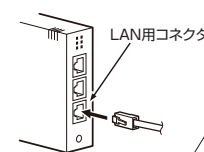
LANケーブルの接続

注）●LANケーブルは別売です。必要な長さのケーブルをご用意ください。
　ストレート/クロスどちらのタイプのケーブルでも使用できます。
　また、ラッチカバーなしのLANケーブルをご使用ください。
　（ラッチカバー付を使用し挿入しにくい場合には、ラッチカバーを外してご使用ください。）
　●宅内LANに接続した場合は、AiSEGも同じ宅内LANに接続してください。

1 HEMSモニターのLAN用コネクタにLANケーブルを差し込む

2 LANケーブルを接続する

AiSEGに直接接続する場合

AiSEGのLAN用コネクタに差し込む

宅内LANに接続する場合

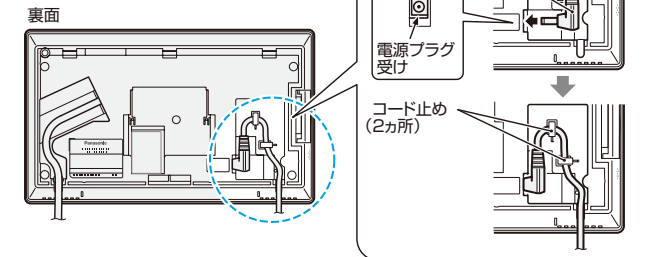
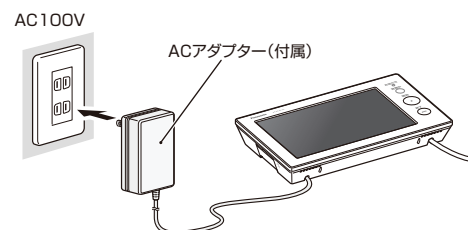
ルーターのLAN用コネクタに差し込む

LAN用コンセントに差し込む

ACアダプターの接続

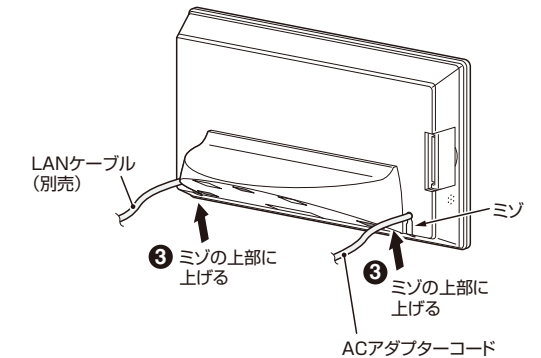
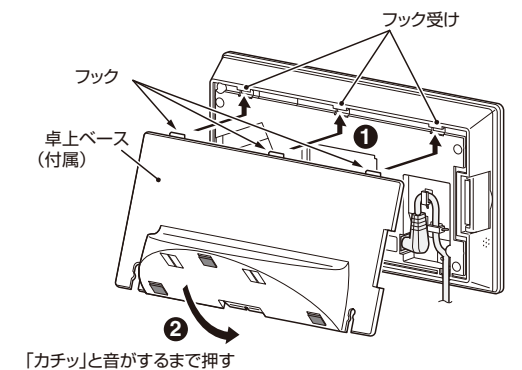
付属のACアダプターをHEMSモニターとコンセントに接続してください。

注）必ず付属のACアダプターをご使用ください。

1 コード止めで固定して電源プラグを差し込む

裏面
電源プラグ
電源プラグ受け
コード止め（2カ所）

2 ACアダプターをコンセントに差し込む

■設置方法

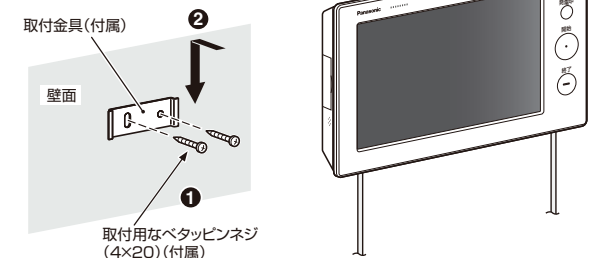
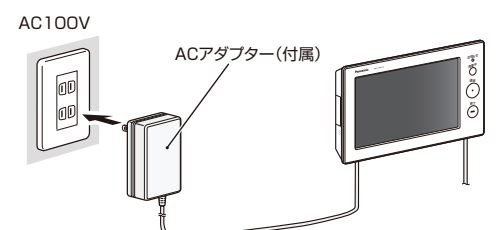
卓上で使う場合

1 卓上ベースを取り付ける

壁にかける場合

注）●床面から取付金具までの距離（高さ）は約145cmをおすすめします。
　●石こうボードへの取り付けは脱落を防止するため、横木などで補強された場所に取り付けてください。
　●ネジを強く締め付け過ぎないようにしてください。締め付けすぎると取付金具が変形するおそれがあります。
　●HEMSモニターは壁面と水平にスライドさせてください。

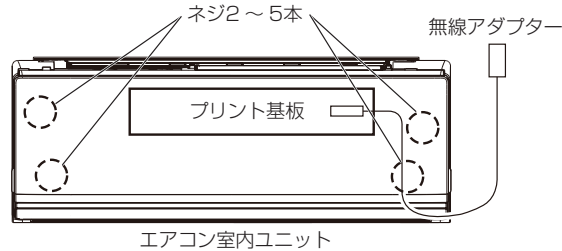
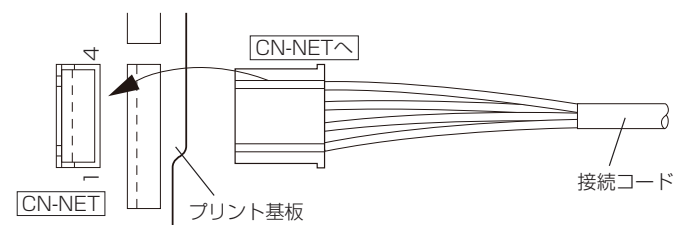
1 取付金具をネジ止めし、取り付ける

2 ACアダプターをコンセントに差し込む

AiSEG対応 エアコンの取付・登録

注)下記はXシリーズのエアコンの場合です。

エアコン室内ユニットとの接続方法

1 簡易説明図

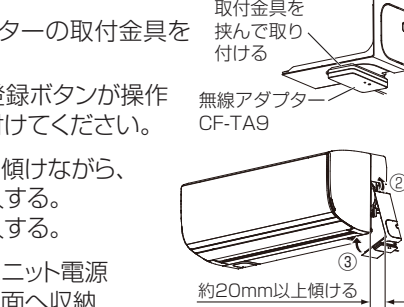
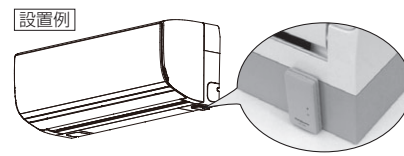
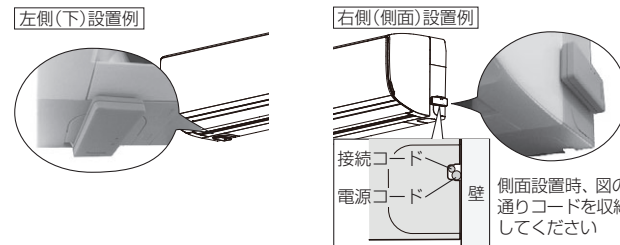
●詳細はルームエアコンの据付工事説明書の「遠隔制御機器等と接続するときは…」の項目を参照ください。

2 エアコン室内ユニットと無線アダプターの接続

①室内ユニットの前面グリルを取り外す。(ネジ2～5本)
②接続コードのコネクタをプリント基板上のコネクタ CN-NET に挿入し、コードの引き廻し処理をする。
ルームエアコンの機種により、プリント基板とプリント基板上の CN-NET の位置が異なります。
③室内ユニットの前面グリルを取り付ける。

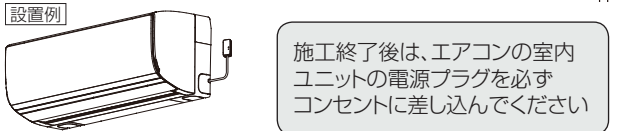
無線アダプターの固定方法

1 エアコン本体への取り付けかた（ノックアウト穴があるL板を外せる機種）

※L板を外すことができない機種は、壁に取り付けてください。(下記に記載)

① L板に、無線アダプターの取付金具を挟んで取り付ける。
●無線アダプターの登録ボタンが操作可能な位置に取り付けてください。

② L板を右図のように傾けながら、上ツメを台枠へ挿入する。
③下ツメを台枠へ挿入する。

●接続コードは室内ユニット電源コード同様に本体背面へ収納してください。

●本体サイズ･仕様の違いにより、上図のように設置できない場合は、下図のように設置してください。

2 壁への取り付けかた

①無線アダプターの取付金具をスライドして取り外す。
②壁にネジで固定する。
③上から無線アダプターを奥まで差し込む。

AiSEGへの無線登録

1 AiSEGをエアコンの無線登録が可能な状態にする(P.64参照)

2 エアコンの電源プラグを差し込む

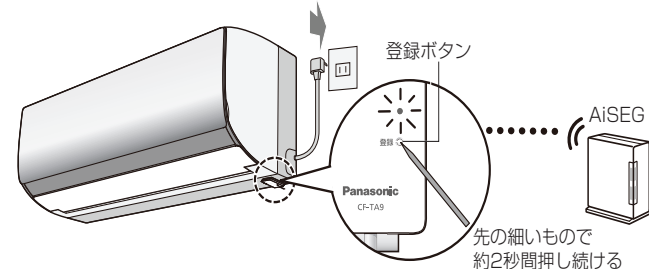
●状態表示ランプがゆっくり点滅。(長点滅)

3 状態表示ランプがゆっくり点滅または消灯中に無線アダプターの登録ボタンを約2秒間押し続ける

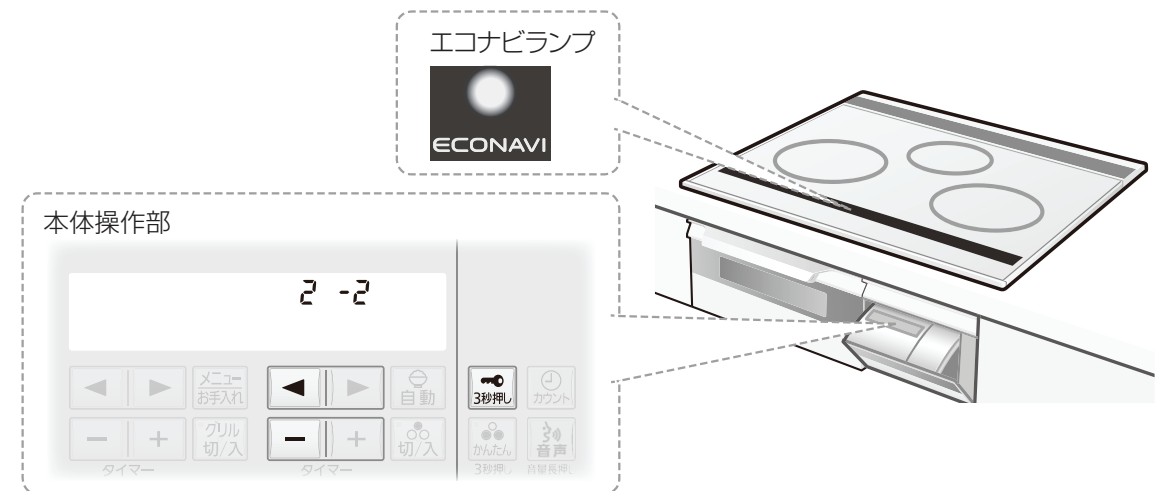
●状態表示ランプがはやく点滅(短点滅)したら離してください。
●状態表示ランプが、点滅から点灯に変わると接続完了。(約5分後に消灯します)

登録ボタン
AiSEG
先の細いもので約2秒間押し続ける

●無線接続(無線登録)は必ず1➡3の手順で行ってください。無線アダプターの登録ボタンを先に押しても登録できません。

AiSEG対応 IHクッキングヒーターの登録

AiSEGへの登録方法

●本体設置後に、必ずAiSEG への登録操作を行ってください。

●登録操作は、本体操作部で行います。
●登録完了通知は、本体操作部とエコナビランプでお知らせします。

●AiSEGを登録モード(P.64参照)にしてから、次の操作をしてください。

1 ◀ と － を約３秒間同時に押す　1 -0

2 3秒押し を約3秒間押す　2 -0

3 ◀ と － を同時に押す　2 -0　(点滅)

約5～15秒 (通信状況によってはさらに時間がかかることがあります)

●登録成功のとき　2 -2　(点灯)・「AiSEG 登録が完了しました」

●登録失敗のとき　2 -0　(消灯)・「AiSEG 登録に失敗しました」
→ AiSEGの設定マニュアルをご確認ください。

4 ◀ と － を同時に押す(操作完了)　(登録成功時は、本体操作部の右端に●マークが点灯)

HEMSモニター･住まいるサポE型

HEMSモニターと住まいるサポE型は、ボタンの位置が異なりますが、表示される画面は同じです。
●次の説明(P.69～70)は、HEMSモニターで行っています。

1 開始ボタンを押す

➡ ページ認証画面が表示されます。
- 何も操作しない状態が約3分間続くと、待機状態（画面に何も表示されない状態）に戻ります。
- 「DHCPサーバーに接続できません。」画面が表示された場合は、了解をタッチしてください。

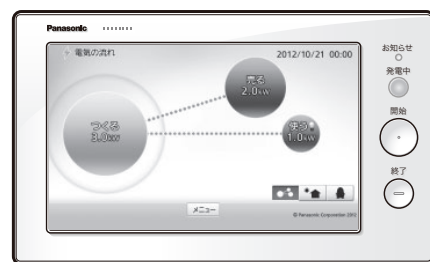
2 パスワード入力欄をタッチする

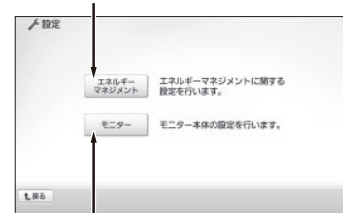
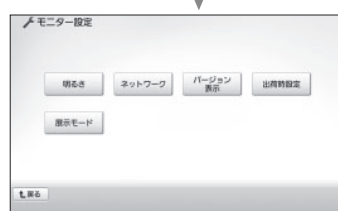
➡ ソフトウェアキーボードが表示されます。

3 パスワードを入力して 決定 をタッチする

●AiSEGの工場出荷時のアクセスパスワードは「0000」です。
➡ ソフトウェアキーボードが消去され、入力したパスワードがページ認証画面に表示されます。

4 再度、決定 をタッチする

➡ 正常であれば、AiSEGの起動画面が表示されます。

MEMO

モニター設定画面から設定できる項目は以下のとおりです。
- エネルギーマネジメント をタッチするとAiSEGの設定画面が表示され、AiSEGに関する設定ができます。
- モニター をタッチするとモニター設定画面が表示され、モニターに関する設定ができます。

項目名		内　容	工場出荷時設定
モニター設定	明るさ	モニター画面の明るさを変更できます。	明るい(最大)
	ネットワーク	ネットワーク設定を変更･確認できます。	DHCP:入
	バージョン表示	モニターの情報を確認できます。	——
	出荷時設定	モニターを工場出荷時の状態に戻すことができます。	——
	展示モード	店頭などでの展示用のモードにすることができます。(モニターを連続60分表示できます。ただし、AiSEGをデモモード設定した場合のみ60分表示利用できます。)	切

■ネットワーク設定の確認･変更

使用されるインターネット環境に応じて、設定変更が必要な場合があります。

- まとめてねっとまたはルーター経由で接続する場合は「DHCP:入」(工場出荷時設定)のままお使いください。
- AiSEGに直接接続する場合は「DHCP:切」に設定してください。「DHCP:入」のまま使用すると、画面の起動が遅くなります。

(「まとめてねっトを接続する場合」「ルーター経由で接続する場合」「AiSEGに直接接続する場合」のシステム系統図は、P.26(HEMSモニター)、P.29(住まいるサポE型)をご覧ください。

DHCP設定	内　容
入 (工場出荷時設定)	IPアドレスはルーターによりすべて自動設定されます。
切	以下の項目を手動で設定できます。 ● IP アドレス ●サブネットマスク ●デフォルトゲートウェイ ● DNS サーバーアドレス

DHCPを「切」にする手順

1 開始ボタンを押す

➡ AiSEGの起動画面が表示されます。

2 メニュー をタッチする

➡ メニューバーが表示されます。

3 設定 をタッチする

➡ 設定画面が表示されます。

4 モニター をタッチする

➡ モニター設定画面が表示されます。

5 ネットワーク をタッチする

➡ ネットワーク設定画面が表示されます。

6 DHCPを「切」にする

●工場出荷時は「DHCP:入」です。切 をタッチし、最後に 決定 を押します。

7 確認･変更が終われば、終了ボタンを押す

➡ 待機状態(画面に何も表示されていない状態)に戻ります。

概要編 設計編 施工編 設定編 トラブル対応編 Q&A

●モニター画面は説明のための表示で、実際の表示とは異なります。

1 パソコン(Windows8)

●表示するパソコンとルーターの接続を確認したうえで、次の手順を行ってください。
●登録できるパソコンの台数に制限はありません。
注)Microsoft Internet Explorer 10.0 以降のみに対応。

1 PCを起動し、ログインする

2 スタート画面のタイルがない場所で右クリックし、「すべてのアプリ」ボタンを表示する

3 「すべてのアプリ」を左クリックし、アプリ画面を表示させる

4 「コマンドプロンプト」を左クリックする

以降は次頁 3 パソコン(Windows7より前のOS) と同じです。

2 パソコン(Windows7)

●表示するパソコンとルーターの接続を確認したうえで、次の手順を行ってください。
●登録できるパソコンの台数に制限はありません。
注)Microsoft Internet Explorer 8.0 以降のみに対応。

1 「スタート」をクリックする

2 「コンピュータ」を選ぶ

➡「コンピュータ」のウィンドウが開きます。

3 「ネットワーク」を選ぶ

➡「AiSEG」のアイコンが自動的に表示されます。

注)Windows7はパソコン内のUpnP機能がデフォルトで「ON」となっていますので、自動的に「AiSEG」を検出します。

4 「AiSEG」をダブルクリックする

➡ 認証画面が表示されます。

5 パスワード入力欄にアクセスパスワードを入力して OK をクリックする

➡ 起動画面が表示されます。

注)●アクセスパスワードとは、登録されたビエラ・ポータブルビエラ以外からAiSEGにアクセスする際に必要となるパスワードで、工場出荷時は「0000」です。
●ユーザー名は入力不要です。
●アドレスを「お気に入り」に登録すると、次回から簡単に呼び出せます。

3 パソコン(Windows7より前のOS)

●表示するパソコンとルーターの接続を確認したうえで、以下の手順を行ってください。
●登録できるパソコンの台数に制限はありません。
注)Microsoft Internet Explorer 8.0 以降のみに対応。

1 AiSEGのIPアドレスを調べて入力する

1)お使いのパソコンで「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」を選ぶ

2)コマンドプロンプト上で「ipconfig」を入力してEnterキーを押す

●IP Address 行に表示される数字がパソコンのIPアドレスです。

<メモ欄> ＿＿＿.＿＿＿.＿＿＿.＿＿＿

●パソコンのIPアドレスの一番右の数字ブロックを「216」としたものがAiSEGのIPアドレスとなります。

3)ブラウザのURLアドレス入力欄にAiSEGのIPアドレスを入力し、Enterキーを押す

●たとえば、パソコンのIPアドレスが「192.168.1.12」であれば、ブラウザの入力欄には「192.168.1.216」を入力します。

注)「固定IPアドレス」でお使いの場合は、設定しているIPアドレスを入力して実行してください。

2 パスワード入力欄にアクセスパスワードを入力して OK をクリックする

➡ 起動画面が表示されます。

注)●アクセスパスワードとは、登録されたビエラ・ポータブルビエラ以外からAiSEGにアクセスする際に必要となるパスワードで、工場出荷時は「0000」です。
●ユーザー名は入力不要です。
●アドレスを「お気に入り」に登録すると、次回から簡単に呼び出せます。

MEMO
スマートフォン・タブレット・ポータブルビエラ(SV-ME1000)・ホームスマートフォンを使用する場合、上記手順と同じ方法でブラウザを立ち上げてAiSEGのIPアドレスを入力すると、AiSEGの画面が表示されます。

4 AiSEGとパソコンを直接接続する場合

ルーターを使用しない場合

1 AiSEGとパソコンをLANケーブルで接続する

LAN ケーブルは各自で準備ください。

2 パソコンのブラウザを起動し、URLアドレス入力欄に「169.254.216.216」を入力する

3 セキュリティ認証画面が表示されるので、パスワード入力欄に「0000」を入力し、OK もしくは「ログイン」を押す

注)ユーザー名は入力不要です。

●モニター画面は説明のための表示で、実際の表示とは異なります。

「パナソニックスマートアプリ(無料)」を利用し、モニターを表示する

●登録できるスマートフォンの台数に制限はありません。

AiSEGと無線ルーター(市販品)をLANケーブル(別売)で接続し、スマートフォンと無線ルーター間の通信確認後、次の操作を行ってください。無線ルーターがインターネットに接続されていないと、「パナソニックスマートアプリ」はご使用できません。

●「パナソニックスマートアプリ」は無料です。
●ダウンロードには別途通信料が発生します。
●「パナソニックスマートアプリ」をダウンロードできない機種では、ご利用いただけません。(対応機種はP.20をご覧ください。)

1 ダウンロードサイトにアクセスし、「パナソニックスマートアプリ」をダウンロードする

または、http://panasonic.jp/pss/ap/にアクセスしてください。

2 インストールした「パナソニックスマートアプリ」を起動して、ログインする

●「パナソニックスマートアプリ」のご利用にはログインIDが必要です。

ログインID

● CLUB Panasonic会員の方
お持ちのID、パスワードを入力して、ログインします。

● CLUB Panasonic非会員の方
• 新規会員登録を行ってください。
PCメールアドレス、ログインID、パスワード、姓名、郵便番号、住所、ニックネーム、生年月日、性別、電話番号を登録して、ログインします。
• CLUB Panasonic についてはこちらのサイトをご覧ください。
http://club.panasonic.jp/

＊ Android™は、Google Inc. の商標または登録商標です。
iPhoneはApple Inc. の商標です。

2 ログインする

会員規約に同意するなど、画面の案内に従ってログインします。
➡ CLUB Panasonicのトップ画面が表示されます。

3 「アプリ」という文字をタッチ

➡ アプリのトップ画面が表示されます。

4 「HEMS」をタッチ

HEMS

➡ AiSEGのログイン画面が表示されます。

注)下記5の画面が表示されない場合は、AiSEGとの通信ができていません。AiSEGの接続確認や無線状態(Wi-Fi)の接続状況を確認してください。

5 AiSEGにログインする

➡ AiSEGの起動画面(電気の流れ)が表示されます。

MEMO スマートフォン・タブレットは、「パナソニックスマートアプリ」を利用しないでAiSEGの画面を表示することもできます。P.72をご覧ください。

「パナソニックスマートアプリ(無料)」を利用してAiSEGにアクセスする

1 「Smart App」のアイコンをタッチ

➡ CLUB Panasonicのログイン画面が表示されます。

パナソニックスマートアプリ(無料)を利用して、エアコンを操作する準備

1 AiSEGの登録

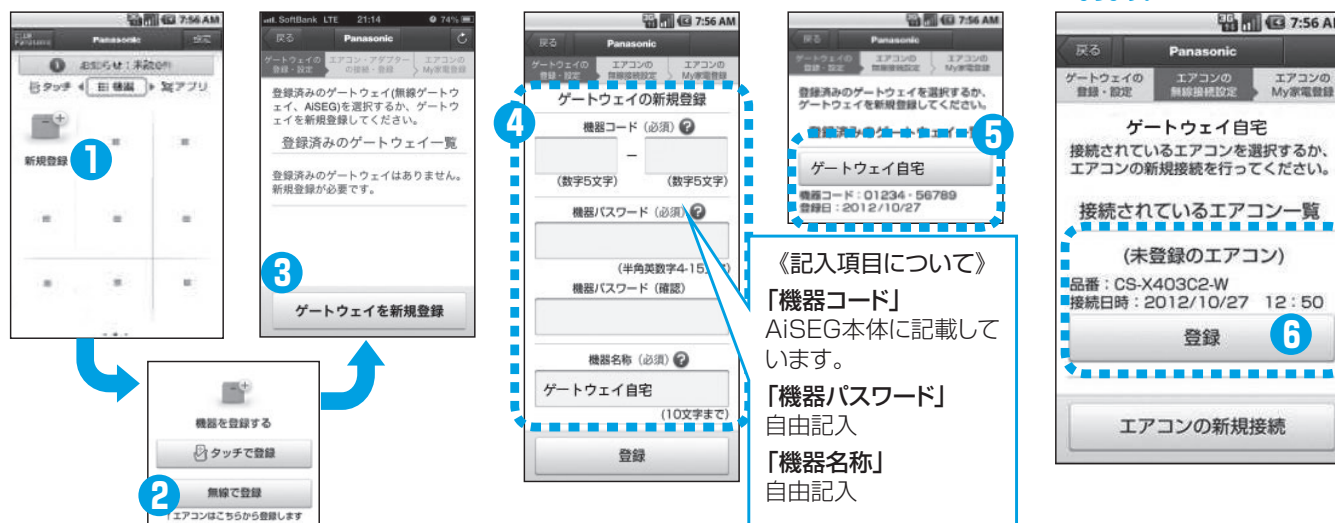
1 TOPの ❶ 新規登録 から、次画面で ❷ 無線で登録 を選択する

2 次画面で、❸ ゲートウェイを新規登録 を選択し、❹必要事項を入力し「登録」を選択する

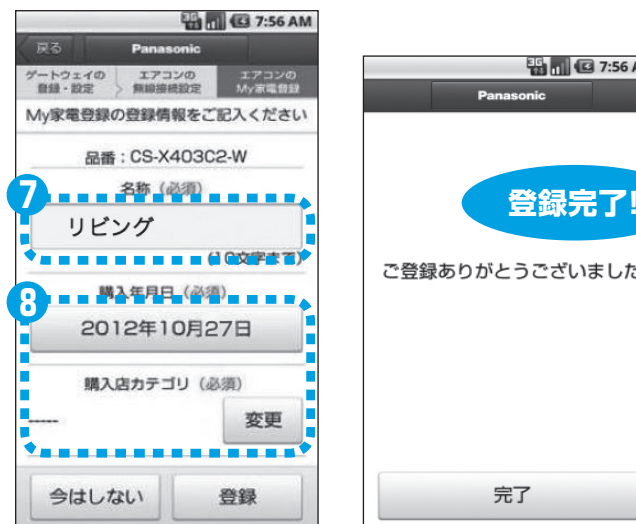
●機器名称はお好きな名前をつけてください。本資料上は「ゲートウェイ自宅」としております。

3 登録した ❺ ゲートウェイ自宅 が表示されるので、「ゲートウェイ自宅」を選択する

4 通信接続したエアコンを自動で検知するので、接続確認したエアコンを選び ❻ 登録 ボタンを押す

※検知されない場合、再度接続作業を行うか、エアコンの新規接続からの登録となります。

2 エアコンの『My家電』登録

1 下記❼のところにエアコンの名称を入力する リビング 、 寝室 など使い方に応じたわかりやすい名前を付けてください

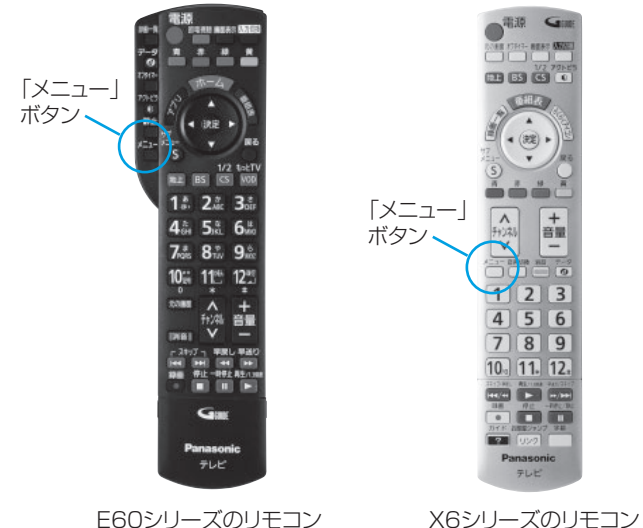
2 下記❽のところに購入年月日・購入店カテゴリを入力し、最後に「登録」を選択してください

3 登録したエアコンがTOP画面に反映され、サービススタート!

●モニター画面は説明のための表示で、実際の表示とは異なります。

ビエラとの登録①

対象シリーズ

プラズマテレビ ビエラ	VT60シリーズ / GT60シリーズ
液晶テレビ ビエラ	FT60シリーズ / E60シリーズ / DT60シリーズ / X6シリーズ

AiSEGの画面をテレビに表示させるための登録操作を行います。
(登録できるテレビ･ポータブルテレビは5台までです)
※手順は機種によって異なります。お使いのテレビの説明書をお読みください。

E60シリーズのリモコン　X6シリーズのリモコン

注)上記は例です。お使いの機種により、ボタンの配列や形状が異なります。

1 テレビのリモコンの［メニュー］を押す

➡ メニューが表示されます。

2 ［▲］［▼］で「ネットワーク設定」➡「くらし機器設定」を選び、［決定］を押す

➡ くらし機器設定画面が表示されます。

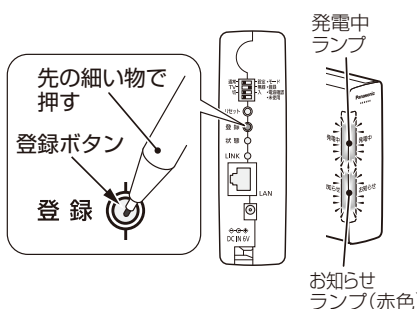
3 ［▲］［▼］で「くらし機器」を選び、［決定］を押す

4 ［◀］で「使用する」を選び、［決定］を押す

●メッセージを確認したら、［戻る］を押してください。

5 ［▼］で「くらし機器一覧」を選び、［決定］を押す

6 AiSEG背面の登録スイッチが「TV」側にあることを確認する

7 登録ボタンをボールペンなど先の細い物で約1秒押す

➡ AiSEGが「ピッ」と鳴り、本体前面の発電中ランプ(青色)とお知らせランプ(赤色)が早点滅し、登録待機状態になります。

登録は、AiSEGの電源を入れてから約2分経過してから行ってください。

注)●登録ボタンを押してから何も操作しない状態が約5分間続くと、登録待機状態は自動的に解除され、通常状態に戻ります。
●登録が完了した後は自動的に通常状態に戻ります。

8 リモコンのカラーボタンの［緑］(新規登録)を押す

9 ［◀］で「はい」を選び、［決定］を押す

➡ 登録が正しく完了したら「機器名:AiSEG」が表示され、AiSEGが"ピー"と鳴ります。メッセージを確認したら［戻る］を押してください。
登録が失敗した場合は手順5から操作し直してください。

10 カラーボタンの［赤］を押して、「ビエラリンク設定」を選ぶ

➡ ビエラリンク設定が表示されます。

11 カラーボタンの［緑］(新規登録)を押す

➡ ビエラリンク表示設定画面に項目リストが表示されます。

12 ［▲］［▼］で「AiSEG」を選び、［決定］を押す

➡ AiSEGが、「ビエラリンク」メニューに追加されます。

13 ［元の画面］を押す、または［戻る］を数回押して、設定を終了する

ビエラとの登録②

対象シリーズ

プラズマテレビ ビエラ	GT5シリーズ / VT5シリーズ / ZT5シリーズ
液晶テレビ ビエラ	WT5シリーズ / ET5シリーズ / DT5シリーズ / E5シリーズ

AiSEGの画面をテレビに表示させるための登録操作を行います。
(登録できるテレビ･ポータブルテレビは5台までです)
※手順は機種によって異なります。お使いのテレビの説明書をお読みください。

GT5シリーズのリモコン

注)上記は例です。お使いの機種により、ボタンの配列や形状が異なります。

1 テレビのリモコンの［メニュー］を押す

➡ メニューが表示されます。

2 ［▲］［▼］で「ネットワークを設定する」を選び、［決定］を押す

3 ［▲］［▼］で「ネットワーク関連設定」を選び、［決定］を3秒以上長押しする

➡ ネットワーク関連設定画面が表示されます。

4 ［▲］［▼］で「くらし機器設定」を選び、［決定］を押す

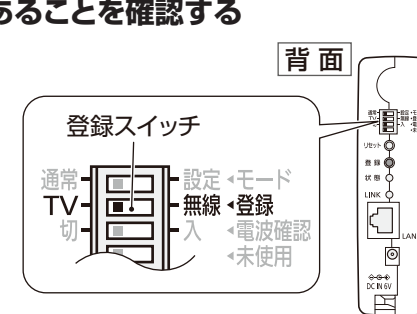
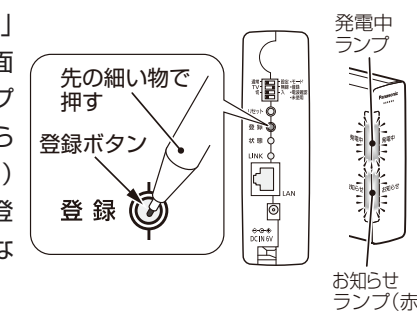
➡ くらし機器設定画面が表示されます。

5 ［▲］［▼］で「くらし機器」を選び、［決定］を押す

6 「はい」を選び、［決定］を押す

●メッセージを確認したら、［戻る］を押してください。

7 ［▼］で「くらし機器一覧」を選び、［決定］を押す

8 AiSEG背面の登録スイッチが「TV」側にあることを確認する

9 登録ボタンをボールペンなど先の細い物で約1秒押す

➡ AiSEGが「ピッ」と鳴り、本体前面の発電中ランプ(青色)とお知らせランプ(赤色)が早点滅し、登録待機状態になります。

登録は、AiSEGの電源を入れてから約2分経過してから行ってください。

注)●登録ボタンを押してから何も操作しない状態が約5分間続くと、登録待機状態は自動的に解除され、通常状態に戻ります。
●登録が完了した後は自動的に通常状態に戻ります。

10 リモコンのカラーボタンの［緑］(新規登録)を押す

11 ［◀］で「はい」を選び、［決定］を押す

➡ 登録が正しく完了したら「機器名:AiSEG」が表示され、AiSEGが"ピー"と鳴ります。
メッセージを確認したら［戻る］を押してください。
登録が失敗した場合は
手順7から操作し直してください。

12 カラーボタンの［赤］を押して、「ビエラリンク設定」を選ぶ

➡ ビエラリンク設定が表示されます。

13 カラーボタンの［緑］(新規登録)を押す

➡ ビエラリンク表示設定画面に項目リストが表示されます。

14 ［▲］［▼］で「AiSEG」を選び、［決定］を押す

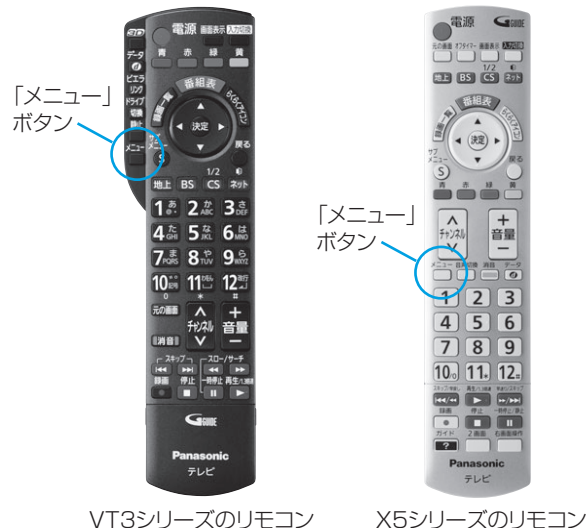
➡ AiSEGが、「ビエラリンク」メニューに追加されます。

15 ［元の画面］を押す、または［戻る］を数回押して、設定を終了する

ビエラとの登録③

対象シリーズ

プラズマテレビ ビエラ	VT3シリーズ / GT3シリーズ / ST3シリーズ / S3シリーズ R2シリーズ / V2シリーズ / RT2Bシリーズ / VT2シリーズ G2シリーズ / S2シリーズ
液晶テレビ ビエラ	DT3シリーズ / R3シリーズ / RB3シリーズ / G3シリーズ X3シリーズ / C2シリーズ / X50シリーズ / R2Bシリーズ S2シリーズ / D2シリーズ / G2シリーズ / X2シリーズ R2シリーズ / X5シリーズ

AiSEGの画面をテレビに表示させるための登録操作を行います。
(登録できるテレビ･ポータブルテレビは5台までです)
※手順は機種によって異なります。お使いのテレビの説明書をお読みください。

VT3シリーズのリモコン　X5シリーズのリモコン

注)上記は例です。お使いの機種により、ボタンの配列や形状が異なります。

1 テレビのリモコンの［メニュー］を押す

➡ メニューが表示されます。

2 ［▲］［▼］で「設定する」を選び、［決定］を押す

3 ［▲］［▼］で「初期設定」を選び、［決定］を押す

4 ［▲］［▼］で「ネットワーク関連設定」を選び、［決定］を3秒以上長押しする

➡ ネットワーク関連設定画面が表示されます。

5 ［▲］［▼］で「くらし機器設定」を選び、［決定］を押す

➡ くらし機器設定画面が表示されます。

6 ［▲］［▼］で「くらし機器」を選び、［決定］を押す

7 「はい」を選び、［決定］を押す

●メッセージを確認したら、［戻る］を押してください。

8 「通知表示設定」を選び、［決定］を押す

※登録するテレビが2012年以降の生産であれば手順8 9は必要ありません。手順10に進んでください。

9 ［▼］で「ドアホン来客通知」を選び、［◀］で［表示する］に変更する

●変更後、［戻る］を押してください。

10 ［▼］で「くらし機器一覧」を選び、［決定］を押す

11 AiSEG背面の登録スイッチが「TV」側にあることを確認する

12 登録ボタンをボールペンなど先の細い物で約1秒押す

➡ AiSEGが「ピッ」と鳴り、本体前面の発電中ランプ(青色)とお知らせランプ(赤色)が早点滅し、登録待機状態になります。

先の細い物で押す
登録ボタン
登 録
発電中ランプ
お知らせランプ(赤色)

登録は、AiSEGの電源を入れてから約2分経過してから行ってください。

注)●登録ボタンを押してから何も操作しない状態が約5分間続くと、登録待機状態は自動的に解除され、通常状態に戻ります。
●登録が完了した後は自動的に通常状態に戻ります。

13 リモコンのカラーボタンの［緑］(新規登録)を押す

14 ［◀］で「はい」を選び、［決定］を押す

➡ 登録が正しく完了したら「機器名:AiSEG」が表示され、AiSEGが"ピー"と鳴ります。
メッセージを確認したら［戻る］を押してください。
登録が失敗した場合は
手順10から操作し直してください。

15 カラーボタンの［赤］を押して、「ビエラリンク設定」を選ぶ

➡ ビエラリンク設定が表示されます。

16 カラーボタンの［緑］(新規登録)を押す

➡ ビエラリンク表示設定画面に項目リストが表示されます。

17 ［▲］［▼］で「AiSEG」を選び、［決定］を押す

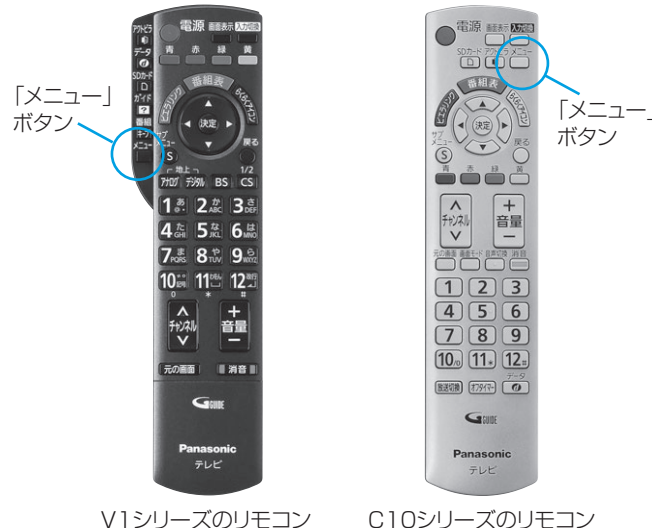
➡ AiSEGが、「ビエラリンク」メニューに追加されます。

18 ［元の画面］を押す、または［戻る］を数回押して、設定を終了する

ビエラとの登録④

対象シリーズ

プラズマテレビ ビエラ	Z1シリーズ / X1シリーズ / V1シリーズ / G1シリーズ
液晶テレビ ビエラ	G1シリーズ / C10シリーズ / X1シリーズ / F1シリーズ C1シリーズ / V1シリーズ

AiSEGの画面をテレビに表示させるための登録操作を行います。
(登録できるテレビ･ポータブルテレビは5台までです)
※手順は機種によって異なります。お使いのテレビの説明書をお読みください。

V1シリーズのリモコン　C10シリーズのリモコン

注)上記は例です。お使いの機種により、ボタンの配列や形状が異なります。

1 テレビのリモコンの［メニュー］を押す

➡ メニューが表示されます。

2 ［▲］［▼］で「設定する」を選び、［決定］を押す

3 ［▲］［▼］で「初期設定」を選び、［決定］を押す

4 ［▲］［▼］で「設置設定」を選び、［決定］を3秒以上長押しする

➡ 設置設定画面が表示されます。

5 ［▲］［▼］で「くらし機器設定」を選び、［決定］を押す

➡ くらし機器設定画面が表示されます。

6 ［▲］［▼］で「くらし機器」を選び、［決定］を押す

7 「はい」を選び、［決定］を押す

●メッセージを確認したら、［戻る］を押してください。

8 「通知表示設定」を選び、［決定］を押す

※登録するテレビが2012年以降の生産であれば手順8 9は必要ありません。手順10に進んでください。

9 ［▼］で「ドアホン来客通知」を選び、［◀］で［表示する］に変更する

●変更後、［戻る］を押してください。

10 ［▼］で「くらし機器一覧」を選び、［決定］を押す

11 AiSEG背面の登録スイッチが「TV」側にあることを確認する

12 登録ボタンをボールペンなど先の細い物で約1秒押す

➡ AiSEGが「ピッ」と鳴り、本体前面の発電中ランプ(青色)とお知らせランプ(赤色)が早点滅し、登録待機状態になります。

登録は、AiSEGの電源を入れてから約2分経過してから行ってください。

注)●登録ボタンを押してから何も操作しない状態が約5分間続くと、登録待機状態は自動的に解除され、通常状態に戻ります。
●登録が完了した後は自動的に通常状態に戻ります。

13 リモコンのカラーボタンの［緑］(新規登録)を押す

14 ［◀］で「はい」を選び、［決定］を押す

➡ 登録が正しく完了したら「機器名:AiSEG」が表示され、AiSEGが"ピー"と鳴ります。
メッセージを確認したら［戻る］を押してください。
登録が失敗した場合は
手順10から操作し直してください。

15 カラーボタンの［赤］を押して、「ビエラリンク設定」を選ぶ

➡ ビエラリンク設定が表示されます。

16 カラーボタンの［緑］(新規登録)を押す

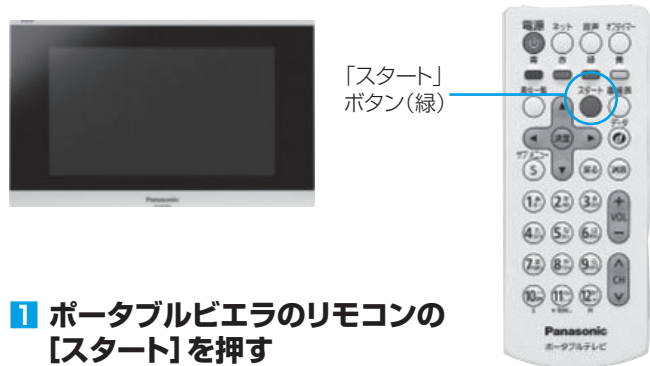
➡ ビエラリンク表示設定画面に項目リストが表示されます。

17 ［▲］［▼］で「AiSEG」を選び、［決定］を押す

➡ AiSEGが、「ビエラリンク」メニューに追加されます。

18 ［元の画面］を押す、または［戻る］を数回押して、設定を終了する

ポータブルビエラ(SV-ME5000)

AiSEGの画面をテレビに表示させるための登録操作を行います。
(登録できるテレビ･ポータブルテレビは5台までです。)
注)●ポータブルビエラを使用する場合は、必ず無線ルーター(市販品)が必要です。
●次の操作の前に、ネットワークの接続･設定を完了しておいてください。

1 ポータブルビエラのリモコンの[スタート]を押す

➡ メニューが表示されます。

2 [▲][▼][◀][▶]で「設定する」を選び、[決定]を押す

3 [▲][▼]で「初期設定」を選び、[決定]を押す

4 [▲][▼]で「ネットワーク」を選び、[決定]を3秒以上長押しする

➡ ネットワーク設定画面が表示されます。

5 [▲][▼]で「ネットワーク通信設定」を選び、[決定]を押す

➡ ネットワーク通信設定画面が表示されます。

6 [▲][▼]で「くらし機器設定」を選び、[決定]を押す

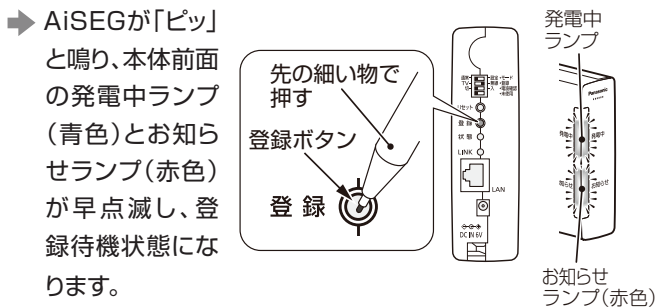
➡ くらし機器設定画面が表示されます。

7 [◀][▼]で「くらし機器接続」を選び、[決定]を押す

8 [▲][▼]で「入」を選び、[決定]を押す

●メッセージを確認したら、[戻る]を押してください。

9 AiSEG背面の登録スイッチが「TV」側にあることを確認する

10 登録ボタンをボールペンなど先の細い物で約1秒押す

➡ AiSEGが「ピッ」と鳴り、本体前面の発電中ランプ(青色)とお知らせランプ(赤色)が早点滅し、登録待機状態になります。

登録は、AiSEGの電源を入れてから約2分経過してから行ってください。

注)●登録ボタンを押してから何も操作しない状態が約5分間続くと、登録待機状態は自動的に解除され、通常状態に戻ります。
●登録が完了した後は自動的に通常状態に戻ります。

11 [▲][▼]で「新規登録」を選び、[決定]を押す

12 [▲][▼]で「する」を選び、[決定]を押す

➡ 登録が正しく完了したら「くらし機器:AiSEG」が表示され、AiSEGが"ピー"と鳴ります。メッセージを確認したら[戻る]を押してください。
登録が失敗した場合は手順7から操作し直してください。

Memo

■ご注意
施工設定･施主設定を行うには、AiSEGの画面をモニターに表示させる必要があります。
モニターを選定し、該当するモニターの設定(P.69～79)を先に行ってください。

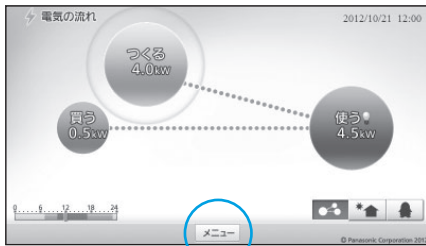
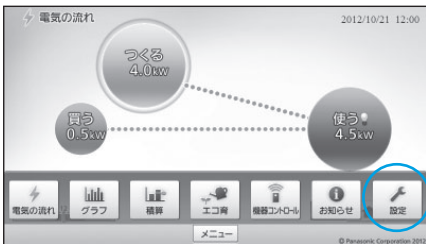
[計測回路名称の設定]

あらかじめ「施工チェックシート」(P.41～44)を完成させてから設定作業を行ってください。

施工設定･施主設定の前に

- 施工設定･施主設定は、モニターの起動画面から行います。
- また、これらの設定はHEMSモニター･住まいるサポ[E型]･ビエラ･ポータブルビエラ･スマートフォン･タブレット･パソコンのいずれからでも行えます。

注)ただし、ポータブルビエラ･スマートフォン･タブレット･パソコンなどの無線機器を使用する場合は、必ず無線ルーター(市販品)が必要です。

「メニュー」を押し、

「設定」を選びます。

設定画面＜1ページ目は主に施主設定画面＞

料金設定･目標値設定･使用開始日設定などを行います。

工事店様へのお願い
計測回路名称の設定時に、「時刻設定」「料金設定」「使用開始日設定(太陽光発電･蓄電池ユニット)」(P.87ご参照)の情報がわかる場合は、施工設定時に設定を行ってください。

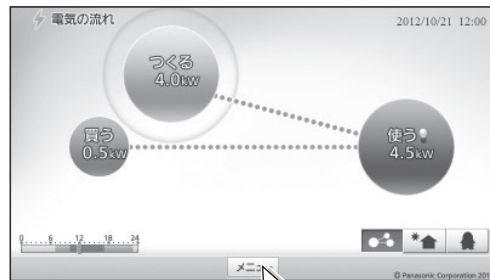
設定画面＜2ページ目は主に施工設定画面＞

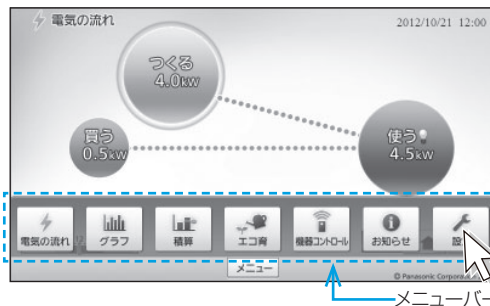
計測回路の名称や機器の名称などの設定を行います。

各計測回路がわかりやすいように、場所と機器名称を設定します。

- 設定した名称は分岐回路瞬時値表示画面やグラフの分岐回路使用電力量一覧画面に反映されます。
- 外部発電機器を接続している場合、その名称も設定できます。

1 [メニュー] を選ぶ

➡ メニューバーが表示されます。

2 [設定] を選ぶ

➡ 設定画面が表示されます。

3 ▽(次ページ)を選ぶ

➡ 設定画面の2ページ目が表示されます。

4 [計測回路名称] を選ぶ

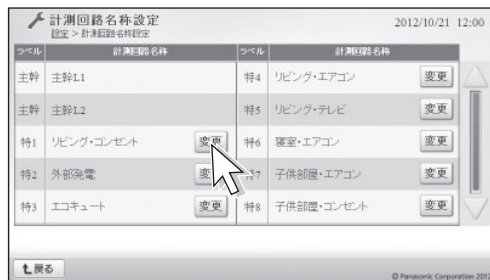
➡ 計測回路名称設定画面が表示されます。

5 名称を設定する

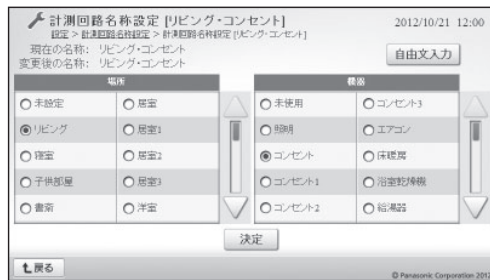
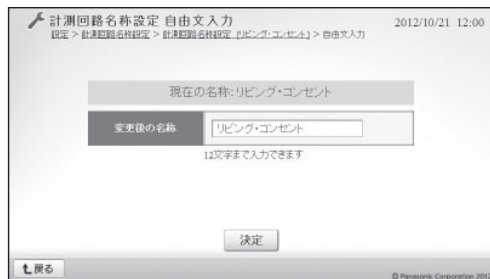
計測回路の場合

❶ 名称を設定したい計測回路の [変更] を選ぶ

➡ 選んだ機器の計測回路名称設定画面が表示されます。

- 外部発電機器を接続している場合、「特2」を選ぶと外部発電機器の名称設定画面になります。(右記参照)

(「特1」を設定する場合)

❷ 場所名称、機器名称をそれぞれ選ぶ

- △、▽で画面を切り替えて選んでください。
- 右記の名称リストの中から選んでください。

- 名称を自由に設定したい場合は、[自由文入力] を選んで、計測回路名称設定 自由文入力画面で入力してください。(12文字以内)

注)HEMSモニターと住まいるサポ[E型]では自由文入力はできません。

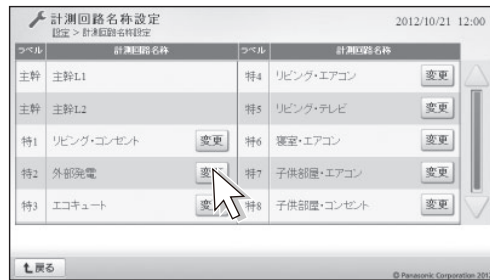
❸ [決定] を選ぶ

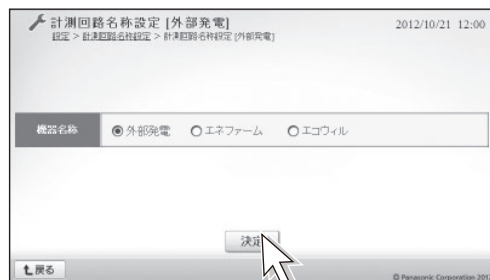
➡ 計測回路名称設定画面に戻ります。

❹ 必要な回路について、手順❶～❸をくり返す

外部発電機器の場合

❶ 「特2」の [変更] を選ぶ

➡ 「特2」の計測回路名称設定画面が表示されます。

❷ 機器名称を選ぶ

❸ [決定] を選ぶ

➡ 計測回路名称設定画面に戻ります。

6 設定が終われば [戻る] を選ぶ

➡ 設定画面に戻ります。

■名称リスト

〈場所名称〉

未設定	洋室1	キッチン	LDK
リビング	洋室2	ダイニング	非居室1
寝室	洋室3	階段	非居室2
子供部屋	和室	廊下	非居室3
書斎	和室1	勝手口	応接室
居室	和室2	ホール	洋室4
居室1	玄関	トイレ	洋室5
居室2	ポーチ	納戸	
居室3	洗面	庭園	
洋室	浴室	ガレージ	

〈機器名称〉

未使用	その他の機器	エレベーター	洗濯機1
照明	洗濯機	ディスポーザ	洗濯機2
コンセント	温水便座	自火報受信機	冷蔵庫1
コンセント1	食洗乾燥機	非常警報設備	冷蔵庫2
コンセント2	冷蔵庫	ガス感知器	未登録
コンセント3	電子レンジ	非常照明	
エアコン	LAN機器	住宅情報盤	〈JEM-A対応機器の場合〉
床暖房	TVブースタ	暖房器	JEMA01
浴室乾燥機	換気扇	パネルヒータ	JEMA02
給湯器	自火報設備	テレビ	JEMA03
IH	インターホン	ライコン	JEMA04

●モニター画面は説明のための表示で、実際の表示とは異なります。

■ご注意
施工設定・施主設定を行うには、AiSEGの画面をモニターに表示させる必要があります。
モニターを選定し、該当するモニターの設定(P.69～79)を先に行ってください。

機器名称の設定

AiSEG対応機器(エアコン・IHクッキングヒーター・エコキュート)やAiSEG用エネルギー計測ユニットに接続されているJEM-A対応機器がわかりやすいように、場所と機器名称を設定します。

●設定した名称はグラフの使用電力量・機器利用内訳画面や動作履歴画面、機器コントロール画面に反映されます。
この設定は、ご入居後にエアコンを増設した場合など、お客様が設定することもできます。

1 メニュー ⇨ 設定 ⇨▽(次ページ)を選ぶ

➡ 設定画面の2ページ目が表示されます。

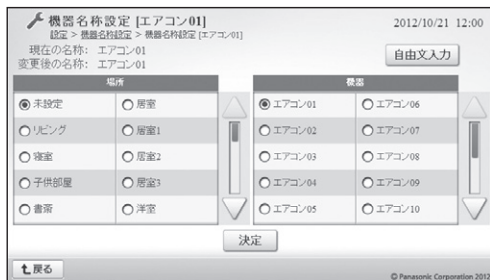
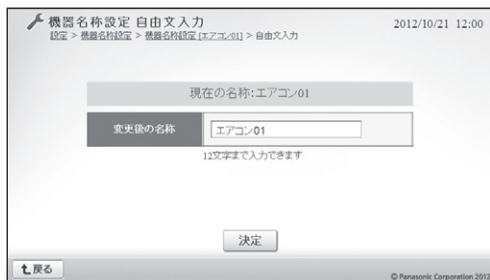
2 機器名称 を選ぶ

➡ 機器名称設定画面が表示されます。

3 名称を設定する機器の機器名称の 変更 を選ぶ

➡ 選んだ機器の機器名称設定画面が表示されます。

4 場所名称、機器名称をそれぞれ選ぶ

●△、▽で画面を切り替えて選んでください。
●P.82の名称リストの中から選んでください。

●名称を自由に設定したい場合は、自由文入力 を選んで、機器名称設定 自由文入力画面で入力してください。(12文字以内)

注)HEMSモニターと住まいるサポ E型 では自由文入力はできません。

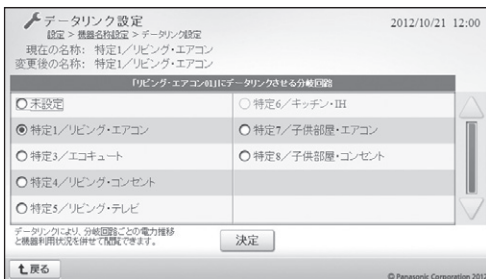
5 決定 を選ぶ

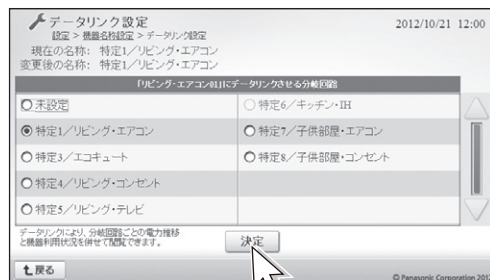
➡ 機器名称設定画面に戻ります。

6 名称を設定した機器のデータリンクの 変更 を選ぶ

➡ データリンク設定画面が表示されます。

注)データリンクは必ず設定してください。データリンクを設定しないと、分岐回路のグラフ画面で機器動作履歴ボタンが表示されません。

7 その機器が接続されている分岐回路を選ぶ

8 決定 を選ぶ

➡ 機器名称設定画面に戻ります。

9 必要な機器について、手順 3 ～ 8 をくり返す

10 設定が終われば 戻る を選ぶ

➡ 設定画面に戻ります。

水・ガスのパルスレート設定

パルス発信式流量計(水道メーター)、パルス発信器付ガスメーターが接続されている場合、エネルギー量をパルスに変換する係数が接続された計測機器の仕様と合っているか確認します。

●各計測機器のパルスレートは計測機器本体に表示されています。

1 メニュー ⇨ 設定 ⇨▽(次ページ)を選ぶ

➡ 設定画面の2ページ目が表示されます。

2 水・ガスパルスレート を選ぶ

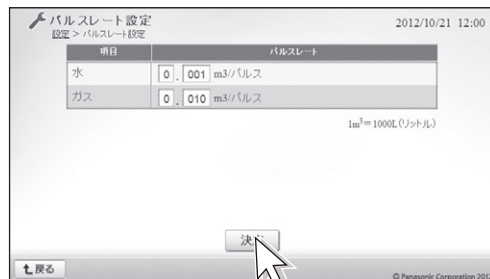
➡ パルスレート設定画面が表示されます。

3 それぞれのパルスレートを入力して 決定 を選ぶ

●工場出荷時設定
水　：$0.001m^3$/パルス
(=1リットル/パルス)
ガス：$0.010m^3$/パルス
(=10リットル/パルス)

➡ 設定画面に戻ります。

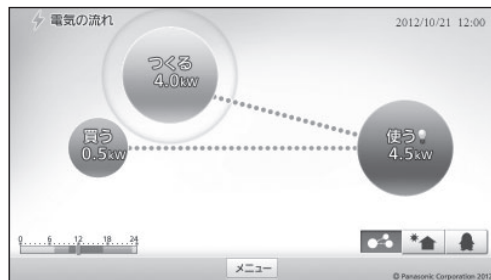
●モニター画面は説明のための表示で、実際の表示とは異なります。

■ご注意
施工設定・施主設定を行うには、AiSEGの画面をモニターに表示させる必要があります。
モニターを選定し、該当するモニターの設定(P.69～79)を先に行ってください。

動作確認をする

施工完了後、AiSEGの動作が正常かどうか、確認作業を行います。

1 AiSEGの画面を表示させる

(P.69～79参照)

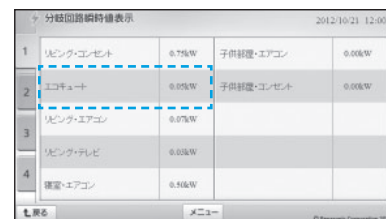
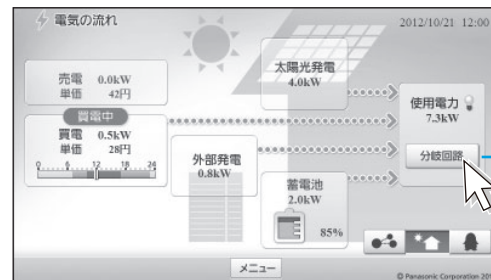
2 電気の使用状況に応じて、電気の流れ(バブル)画面にバブル(円)が表示され、数値が表示されれば正常な動作です

■つくる/使う/買う/売る/貯めるのバブル(円)内の数値が正しく表示されない場合
配線や設定などの不具合が考えられます。

エコキュートを接続している場合

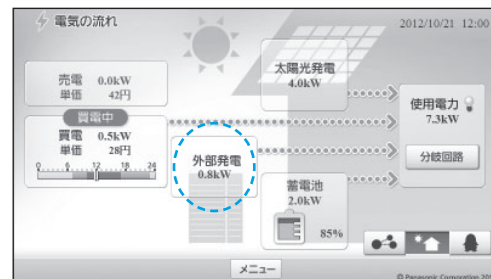
●エコキュート接続時は、メニューを選んでから積算を選んで表示される積算画面でその他を選び、使用状況に応じて「湯」の数値が表示されれば正常に湯量が計測できています。(使用していなければ0Lと表示されます。)

■積算画面に「湯」が表示されない場合
エコキュートの電源(ブレーカ)が入っていない、あるいは配線などに不具合がある可能性があります。

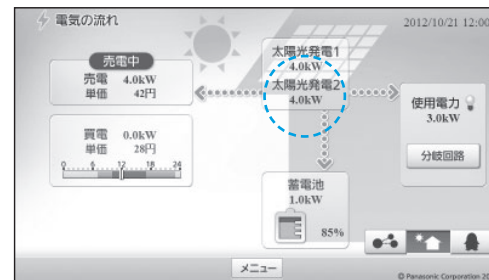
エコキュートの電力量を計測している場合

●エコキュートの電力計測時は、*を選んで表示される電気の流れ(シンプル)画面の分岐回路を選んで表示される分岐回路瞬時値表示画面で、使用状況に応じて「エコキュート」の数値が表示されれば、正常にエコキュートの電力量が計測できています。(使用していなければ0.00kWと表示されます。)

■分岐回路瞬時値表示画面に「エコキュート」の数値が表示されない場合
AiSEG用エネルギー計測ユニットで正しく設定が行われていない、あるいは配線などに不具合がある可能性があります。

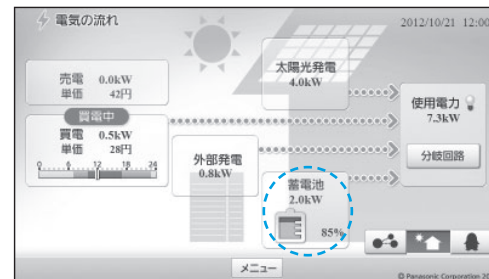
エネファーム(または、エコウイル)を接続している場合

●外部発電機器接続時は、*を選んで表示される電気の流れ(シンプル)画面で、使用状況に応じて「外部発電」の数値が表示されれば、正常に外部発電接続時の動作ができています。(発電していなければ0.0kWと表示されます。)

■電気の流れ(シンプル)画面に「外部発電」が表示されない場合
配線などの不具合が考えられます。

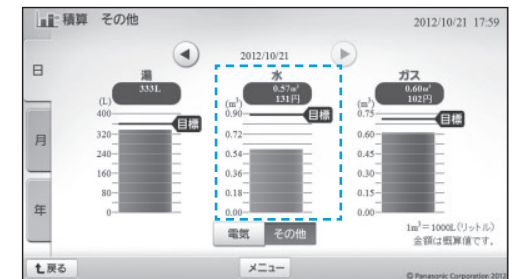
2つ目の太陽光発電システムを接続している場合

●2つ目の太陽光発電システム接続時は、*を選んで表示される電気の流れ(シンプル)画面で、使用状況に応じて「太陽光発電2」の数値が表示されれば、正常に2つ目の太陽光発電システム(パワーコンディショナ)接続時の動作ができています。(発電していなければ0.0kWと表示されます。)

■電気の流れ(シンプル)画面に「太陽光発電2」が表示されない場合
配線などの不具合が考えられます。

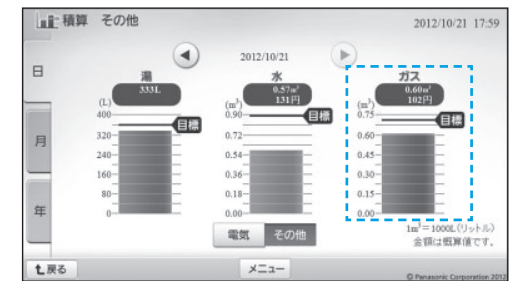
蓄電池ユニットを接続している場合

●蓄電池ユニット接続時は、*を選んで表示される電気の流れ(シンプル)画面で、使用状況に応じて「蓄電池」の数値が表示されれば、正常に蓄電池ユニット接続時の動作ができています。(充電または放電していなければ0.0kWと表示されます。)

■電気の流れ(シンプル)画面に「蓄電池」が表示されない場合
配線などの不具合が考えられます。

パルス発信式流量計(水道メーター)を接続している場合

●パルス発信式流量計(水道メーター)接続時は、メニューを選んでから積算を選んで表示される積算画面でその他を選び、使用状況に応じて「水」の数値が表示されれば正常に水量が計測できています。(使用していなければ0.0m³と表示されます。)

■積算画面に「水」が表示されない場合
配線などに不具合がある可能性があります。
●一度も水を使用していない場合は、メーター側の白と黒のリード線の短絡・開放を2回以上くり返すことにより、擬似的に信号を発生させてください。

パルス発信器付ガスメーターを接続している場合

●パルス発信器付ガスメーター接続時は、メニューを選んでから積算を選んで表示される積算画面でその他を選び、使用状況に応じて「ガス」の数値が表示されれば正常にガス量が計測できています。(使用していなければ0.00m³と表示されます。)

■積算画面に「ガス」が表示されない場合
配線などに不具合がある可能性があります。
●一度もガスを使用していない場合は、メーター側の白と黒のリード線を短絡させ、次に赤と黒のリード線を短絡させることにより、擬似的に信号を発生させてください。

●モニター画面は説明のための表示で、実際の表示とは異なります。

■ご注意
施工設定･施主設定を行うには、AiSEGの画面をモニターに表示させる必要があります。
モニターを選定し、該当するモニターの設定(P.69～79)を先に行ってください。

初期設定の流れ

AiSEGの初回起動時、次の流れで設定を行います。

項目	内容
時刻設定※1（詳細P.88）	正しいデータを取得するために、時刻を設定します。 注)インターネット回線接続時は自動で時刻が設定されますので、設定は不要です。

↓

初期(まとめて)設定

AiSEGの動作に必須の項目を連続してまとめて設定することができます。
注)まとめて設定の各項目は必ず設定してください。設定しないと、データが正しく表示されません。

項目	内容
料金設定※1（詳細P.89）	「電気料金単価」「売電料金単価(太陽光発電を使用の場合のみ)」「水料金単価」「ガス料金単価」を設定します。
↓	
目標値設定（詳細P.93）	「電気使用量目標値」「湯使用量目標値(AiSEG対応エコキュートを使用の場合のみ)」「水使用量目標値」「ガス使用量目標値」を設定します。
↓	
通知情報(一括)設定（詳細P.97）	登録したビエラ･ポータブルビエラ(SV-ME5000、SV-ME7000)に、昨日の買電量などの通知情報を表示するかどうかを一括で設定します。
↓	
アクセスパスワード設定（詳細P.98）	登録したビエラ･ポータブルビエラ以外の機器でAiSEGにアクセスした場合の、認証パスワードを設定します。
↓	
使用開始日設定※1（詳細P.99）	太陽光発電、蓄電池ユニットの使用開始日を設定します。

項目	内容
サーバーサービス設定（詳細P.99）	インターネット回線に接続されている場合、サーバーとの連携に関する登録設定を行います。

※1 工事店様へのお願い
計測回路名称の設定時に、「時刻設定」「料金設定」「使用開始日設定（太陽光発電･蓄電池ユニット)」の情報がわかる場合は、施工設定時に設定を行ってください。

■「料金設定」と「目標値設定」について

項目名			内容	工場出荷時設定
初期設定	料金	電気料金	電気料金プラン、基本料金、単価、料金時間帯などを設定して画面に料金表示させます。	料金プラン：従量制 基本料金：未設定 単価：未設定
		売電料金	売電の単価を設定して画面に料金表示させます。	未設定
		ガス料金※1	ガス料金の単価を設定して画面に料金表示させます。	未設定
		水料金※2	水料金の単価を設定して画面に料金表示させます。	未設定
	目標値	使用電力量目標値	使用電力量の目標値を設定できます。	300kWh
		湯使用量目標値※3	湯使用量の目標値を設定できます。	10.0kL
		ガス使用量目標値※1	ガス使用量の目標値を設定できます。	20m³
		水使用量目標値※2	水使用量の目標値を設定できます。	25m³
	通知情報		ビエラ･ポータブルビエラ(SV-ME5000、SV-ME7000)に通知情報※4を表示するかどうかを設定できます。	通知しない

※1 パルス発信器付ガスメーター接続時のみ表示。 ※2 パルス発信式流量計(水道メーター)接続時のみ表示。 ※3 AiSEG対応エコキュート接続時のみ表示。
※4 買電量(金額)、売電量(金額)、使用電力量の目標値に対する達成度、室外温度などの情報を、ビエラ･ポータブルビエラ(SV-ME5000、SV-ME7000)の視聴中に自動的に通知して表示します。(詳細P.97)

時刻を設定する

AiSEGの初回起動時に時刻設定画面が表示されますので、時刻を設定します。

●時刻設定画面は、次の場合にも表示されます。
・何らかの原因で時刻設定情報が失われたとき。
・停電やACアダプターを抜いていたなどの原因で1時間以上通電されていない状態が続いたとき。

注)●AiSEGがインターネット回線に接続されている場合は、自動的に時刻設定されますのでこの操作は不要です。
●時刻を設定しないと正しいデータを取得できません。必ず設定してください。
●AiSEGでは、時刻が正しく設定されていないと、測定したデータを正しく取得、表示することができません。
ご使用開始時、停電などで時刻未設定状態になった場合、また時刻が大幅にずれた場合は、時刻設定を行ってください。

1 設定する入力ボックス（年/月/日/時/分)を選んで数値を入力する

2 設定が終われば 決定 を選ぶ

初回起動時
➡ まとめて設定の料金設定画面(P.89の「5」)が表示されます。

まとめて設定をすでに完了している場合
➡ 起動画面が表示されます。

MEMO

●時刻が正しく設定されていない場合や誤って時刻を変更した場合は、電気使用量などが正確に記録されない場合があります。
●AiSEG対応エコキュートをお使いの場合、エコキュートのリモコンの表示時刻とAiSEGの表示時刻は個別で設定されるため、時刻が異なる場合があります。
●時刻が遅れているなど時刻設定を調節したい場合は、設定画面から 時刻 を選んで修正してください。

●時刻設定終了後に右のような画面が表示された場合は、画面にしたがってAiSEGとAiSEG用エネルギー計測ユニットの登録を行ってください。

●電波状態異常のエラー画面が表示された場合は、AiSEGの使用場所などを確認し(P.19「設計上のご注意」ご参照)、再度、電波到達確認(P.65「電波到達を確認する」ご参照)を行ってください。

●モニター画面は説明のための表示で、実際の表示とは異なります。

■ご注意
施工設定・施主設定を行うには、AiSEGの画面をモニターに表示させる必要があります。
モニターを選定し、該当するモニターの設定(P.69～79)を先に行ってください。

初期(まとめて)設定

電気料金単価を設定する

ご契約の電気料金プランの基本料金、単価(1kWhの値段)を設定します。設定すると、電気の流れ(バブル・シンプル)画面や積算画面で設定に基づいた料金単価・料金が表示されるようになります。

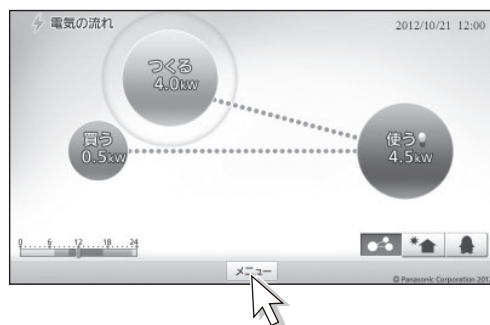
注) ● 工場出荷時状態では料金は設定されていません。
● 実際の金額との差異を少なくするために、ご契約の電力会社の料金プランにできるだけ近い設定を行ってください。
● 季節など状況によって電気料金単価が変化する料金プランがありますが、AiSEGには期間設定項目を設けていませんので、あらかじめご了承ください。
● 計測された電力使用量のデータに基づいて、省エネ効果を実感しやすいように使用量や目安料金を表示します。これらは目安値ですので、電力会社からの請求書に記載される使用量、金額と一致するものではありません。あらかじめご了承ください。

1 AiSEGの画面を表示させる

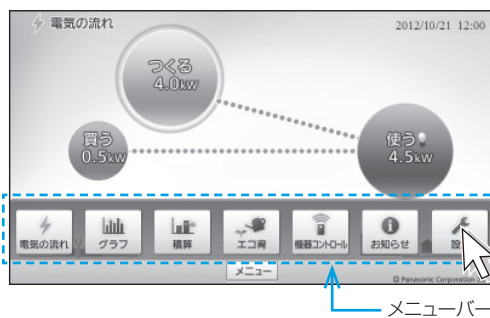
(P.69～79参照)

➡ 起動画面が表示されます。

2 メニュー を選ぶ

➡ メニューバーが表示されます。

3 設定 を選ぶ

➡ 設定画面が表示されます。

メニューバー

4 料金 を選ぶ

➡ 料金設定画面が表示されます。

● 料金が設定されていない場合、ボタンに 未設定 が表示されます。

AiSEGの初回起動時、時刻設定を終えると、次の料金設定画面になります。

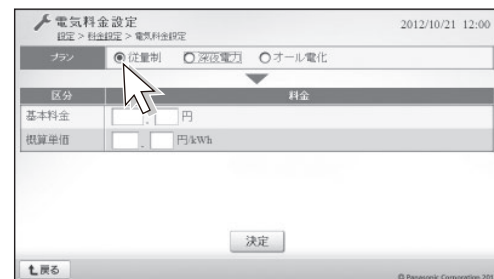
5 電気の項目の 変更 を選ぶ

➡ 電気料金設定画面が表示されます。

6 ご契約の料金プランを選ぶ

従量制
時間帯に関係なく一律の単価を設定

深夜電力
昼と夜の単価を設定

オール電化
朝晩、昼、夜の単価を設定

MEMO
● 基本料金は1.00円～9999.99円、各単価は1.00円～999.99円の範囲で設定できます。範囲外の数値を入力すると「入力内容に誤りがあります。」が表示されます。了解 を選んで設定をやり直してください。

従量制の場合

❶ **基本料金を入力する**
❷ **概算単価を入力する**
❸ **決定 を選ぶ**

➡ 電気料金設定画面(P.89の5)に戻ります。

● 蓄電池ユニットを接続している場合は、「登録通知中です。」が表示された後「登録を受け付けました。」が表示されます。

MEMO
● 概算単価は次の手順で計算して、値を入力してください。
(a)一番最近の電気代の請求書を用意する
(b)請求額から基本料金を引く
(c)(b)を電気使用量で割る

例)	電気代	○○○○円	○○○○ − ××× / △△△ 円
	使用量	△△△kWh	
	基本料金	×××円	

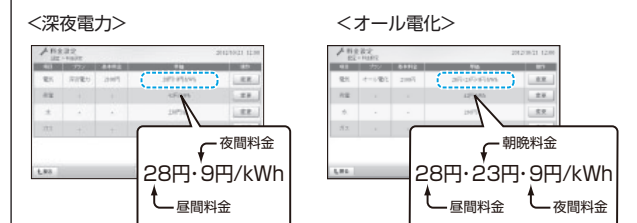
深夜電力の場合

❶ **夜間(深夜時間)の開始時刻と終了時刻を選ぶ**
❷ **基本料金を入力する**
❸ **昼間・夜間の料金単価を入力する**
❹ **決定 を選ぶ**

➡ 電気料金設定画面(P.89の5)に戻ります。

● 蓄電池ユニットを接続している場合は、「登録通知中です。」が表示された後「登録を受け付けました。」が表示されます。

MEMO
●「深夜電力」とは、電力消費の少ない深夜から朝にかけての電気を使用する時間帯別電灯制のことです。
電力会社によって名称や時間帯が異なります。ご契約の電力会社にお問い合わせください。
● 昼間と夜間の料金単価を、同じ料金に設定することはできません。同じ料金を入力すると、「複数の料金単価に同じ値が入力されています。各時間帯の料金単価が正しいかを確認してください。料金単価が同じ場合には他のプランを選択してください。」が表示されます。了解 を選んで設定をやり直してください。

深夜電力・オール電化プランの料金単価の表示方法

MEMO
● 深夜電力またはオール電化プランを設定して、蓄電池運転モードを「経済優先」にしている状態から電気料金プランを従量制プランに変更すると、「この操作によって蓄電池運転モードが蓄電優先モードに変更されます。このまま続けますか?」が表示されます。
はい を選ぶと蓄電池運転モードが「蓄電優先」に変更されます。
いいえ を選ぶと電気料金プランは変更されません。

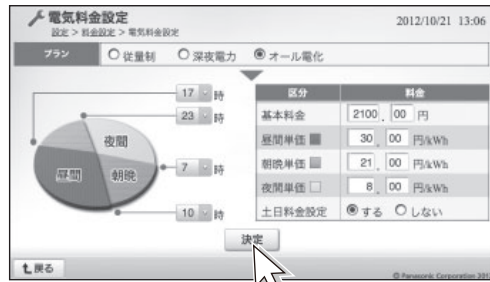
● モニター画面は説明のための表示で、実際の表示とは異なります。

■ご注意
施工設定･施主設定を行うには、AiSEGの画面をモニターに表示させる必要があります。
モニターを選定し、該当するモニターの設定(P.69〜79)を先に行ってください。

初期(まとめて)設定

電気料金単価を設定する

オール電化の場合

注)画面の入力値は一例です。

❶ **昼間･朝晩･夜間の開始時刻と終了時刻を選ぶ**

❷ **基本料金を入力する**

❸ **昼間･朝晩･夜間の料金単価を入力する**

❹ **土日料金設定の｢する｣｢しない｣を選ぶ**

- ｢する｣を選ぶと土曜日･日曜日の昼間の料金が朝晩と同じ料金に設定されます。

❺ **決定 を選ぶ**

➡ 電気料金設定画面(P.89の5)に戻ります。

MEMO
- オール電化プランの各時間帯に、誤った時刻を入力すると、｢入力内容に誤りがあります。入力された時間の前後関係を確認してください。｣が表示されます。了解 を選んで設定をやり直してください。
- オール電化プランの昼間･朝晩･夜間の料金単価を、同じ料金に設定することはできません。同じ料金を入力すると、｢複数の料金単価に同じ値が入力されています。各時間帯の料金単価が正しいかを確認してください。料金単価が同じ場合には他のプランを選択してください。｣が表示されます。了解 を選んで設定をやり直してください。
- 土日料金設定を｢する｣に設定しても祝日は反映されません。
- 電力会社と契約している内容に応じて正しく設定してください。正しく設定しないと割引が本製品の表示に反映されません。

売電料金単価を設定する

売電の単価(1kWhの値段)を設定します。設定すると、積算画面に設定に基づいた料金が表示されるようになります。売電単価はご契約の電力会社の｢太陽光発電の余剰電力買取制度｣をご確認ください。

注)
- 太陽光発電システムを接続している場合のみ設定できます。
- 工場出荷時状態では料金は設定されていません。
- 季節など状況によって電気料金単価が変化する料金プランがありますが、AiSEGには期間設定項目を設けていませんので、あらかじめご了承ください。

1 料金設定画面を表示させる

AiSEGの初回起動時、電気料金単価設定を終えると、次の料金設定画面になります。

2 売電の項目の 変更 を選ぶ

➡ 売電料金設定画面が表示されます。

注)この項目は太陽光発電システムを接続していない場合は表示されません。

3 単価を入力して 決定 を選ぶ

➡ 料金設定画面に戻ります。

MEMO
- 単価は1.00円〜999.99円の範囲内で設定できます。範囲外の数値を入力すると｢入力内容に誤りがあります。｣が表示されます。了解 を選んで設定をやり直してください。

水料金単価を設定する

水の単価(1m³の値段)を設定します。設定すると、積算画面に設定に基づいた料金が表示されるようになります。

注)
- この設定はパルス発信式流量計(水道メーター)を接続している場合のみ設定できます。
- 工場出荷時状態では料金は設定されていません。
- 計測された水使用量のデータに基づいて、省エネ効果を実感しやすいように使用量や目安料金を表示します。これらは目安値ですので、水道局からの請求書に記載される使用量、金額と一致するものではありません。あらかじめご了承ください。

1 料金設定画面を表示させる

AiSEGの初回起動時、売電料金単価設定を終えると、次の料金設定画面になります。(太陽光発電がある場合)

2 水の項目の 変更 を選ぶ

➡ 水料金設定画面が表示されます。

注)パルス発信式流量計(水道メーター)を接続していない場合、この項目は表示されません。

3 単価を入力して 決定 を選ぶ

➡ 料金設定画面に戻ります。

MEMO
- 単価は1.00円〜999.99円の範囲内で設定できます。範囲外の数値を入力すると｢入力内容に誤りがあります。｣が表示されます。了解 を選んで設定をやり直してください。
- 概算単価は次の手順で計算して、値を入力してください。
  (a) 一番最近の水道代の請求書を用意する
  (b) (a)を水道使用量で割る
  例) 水道代 ○○○○円 / 使用量 △△△m³ = ○○○○ / △△△ 円

ガス料金単価を設定する

ガスの単価(1m³の値段)を設定します。設定すると、積算画面に設定に基づいた料金が表示されるようになります。

注)
- この設定はパルス発信器付ガスメーターを接続している場合のみ設定できます。
- 工場出荷時状態では料金は設定されていません。
- 計測されたガス使用量のデータに基づいて、省エネ効果を実感しやすいように使用量や目安料金を表示します。これらは目安値ですのでガス会社からの請求書に記載される使用量、金額と一致するものではありません。あらかじめご了承ください。

1 料金設定画面を表示させる

AiSEGの初回起動時、水道料金単価設定を終えると、次の料金設定画面になります。

2 ガスの項目の 変更 を選ぶ

➡ ガス料金設定画面が表示されます。

注)パルス発信器付ガスメーターを接続していない場合、この項目は表示されません。

3 単価を入力して 決定 を選ぶ

➡ 料金設定画面に戻ります。

MEMO
- 単価は1.00円〜999.99円の範囲内で設定できます。範囲外の数値を入力すると｢入力内容に誤りがあります。｣が表示されます。了解 を選んで設定をやり直してください。
- 概算単価は次の手順で計算して、値を入力してください。
  (a) 一番最近のガス代の請求書を用意する
  (b) (a)をガス使用量で割る
  例) ガス代 ○○○○円 / 使用量 △△△m³ = ○○○○ / △△△ 円

●モニター画面は説明のための表示で、実際の表示とは異なります。

■ご注意
施工設定・施主設定を行うには、AiSEGの画面をモニターに表示させる必要があります。
モニターを選定し、該当するモニターの設定（P.69～79）を先に行ってください。

[初期（まとめて）設定]

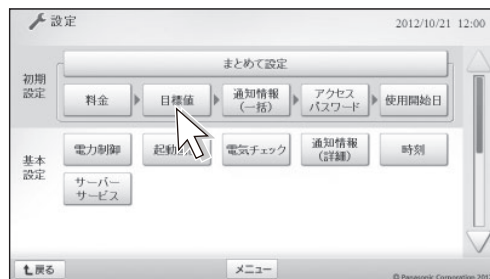
電気使用量目標値を設定する

電気使用量の目標値を設定します。この設定値に基づき、エネルギーの積算値に目標表示が行われます。

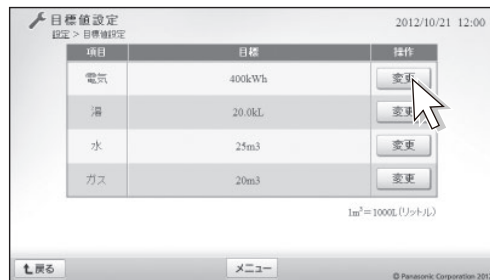
●過去の実績（先月実績・前年同月実績）から削減割合を設定する方法と、数値を入力する方法が選べます。

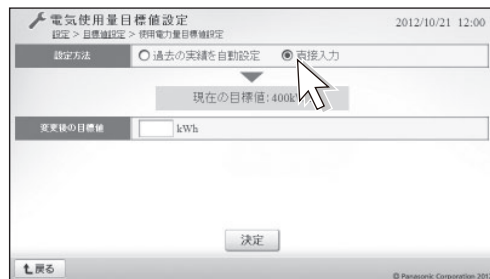
1 [メニュー] ⇨ [設定] ⇨ [目標値] を選ぶ

➡ 目標値設定画面が表示されます。

●操作中に [戻る] を選ぶと、画面が戻ります。

AiSEGの初回起動時、ガス料金単価設定を終えると、次の目標値設定画面になります。

2 電気の項目の [変更] を選ぶ

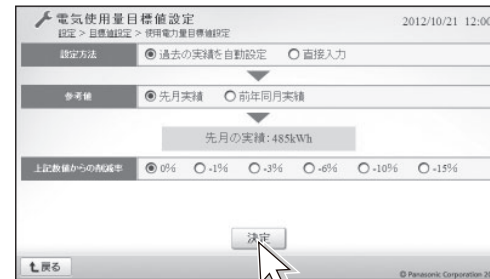
➡ 電気使用量目標値設定（直接入力）画面が表示されます。

3 設定方法を選ぶ

過去の実績を自動設定
　前年同月使用量や先月の使用量からの削減割合により設定
直接入力
　数値を直接入力することにより設定

（直接入力を選ぶ場合）

過去の実績を自動設定の場合

❶ 参考値を「先月実績」「前年同月実績」から選ぶ

❷ 削減率（%）を選ぶ

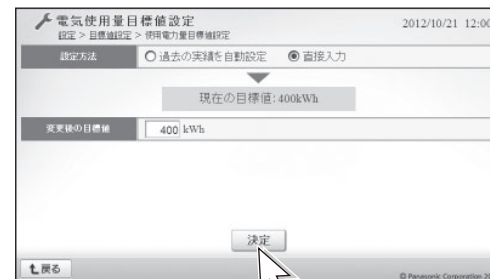
❸ [決定] を選ぶ

➡ 目標値設定画面に戻ります。

直接入力の場合

❶ 目標値を入力する

●100～9999kWhの数値を入力してください。
●工場出荷時設定：300kWh

❷ [決定] を選ぶ

➡ 目標値設定画面に戻ります。

MEMO

●「直接入力」で設定できる範囲外の数値を入力しようとすると「入力内容に誤りがあります。100～9999の数値を入力してください。」が表示されます。[了解]を選んで設定をやり直してください。
●「過去の実績を自動設定」の場合は、削減率と実績の計算結果が100kWhを下回ると100kWhに設定されます。
●本製品を初めてご使用になる時点では過去のデータがありませんので、「直接入力」を選んでください。「過去の実績を自動設定」を選ぶと300kWhに設定されます。
●「過去の実績を自動設定」の場合、月が変わると自動的に参考にする月も1ヵ月ずれます。

湯使用量目標値を設定する

AiSEG対応エコキュートの湯使用量の目標値を設定します。この設定値に基づき、エネルギーの積算値に目標表示が行われます。

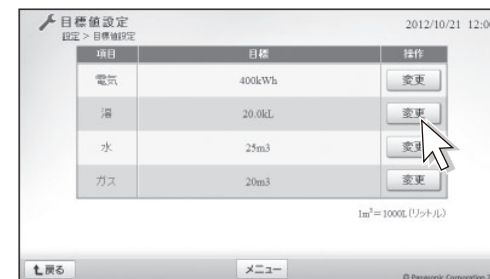
●過去の実績（先月実績・前年同月実績）から削減割合を設定する方法と、数値を入力する方法が選べます。

注）この設定はAiSEG対応エコキュートを接続している場合のみ設定できます。

1 目標値設定画面を表示させる

AiSEGの初回起動時、電気使用量目標値設定を終えると、次の目標値設定画面になります。

2 湯の項目の [変更] を選ぶ

➡ 湯使用量目標値設定（直接入力）画面が表示されます。

注）AiSEG対応エコキュートを接続していない場合、この項目は表示されません。

3 設定方法を選ぶ

過去の実績を自動設定
　前年同月使用量や先月の使用量からの削減割合により設定
直接入力
　数値を直接入力することにより設定

（直接入力を選ぶ場合）

過去の実績を自動設定の場合

❶ 参考値を「先月実績」「前年同月実績」から選ぶ

❷ 削減率（%）を選ぶ

❸ [決定] を選ぶ

➡ 目標値設定画面に戻ります。

直接入力の場合

❶ 目標値を入力する

●0.1kL～30.0kLの数値を入力してください。
●工場出荷時設定：10.0kL

❷ [決定] を選ぶ

➡ 目標値設定画面に戻ります。

MEMO

●「直接入力」で設定できる範囲外の数値を入力しようとすると「入力内容に誤りがあります。0.1～30.0の数値を入力してください。」が表示されます。[了解]を選んで設定をやり直してください。
●「過去の実績を自動設定」の場合は、削減率と実績の計算結果が0.1kLを下回ると0.1kLに設定されます。
●本製品を初めてご使用になる時点では過去のデータがありませんので、「直接入力」を選んでください。「過去の実績を自動設定」を選ぶと10.0kLに設定されます。
●「過去の実績を自動設定」の場合、月が変わると自動的に参考にする月も1ヵ月ずれます。

●モニター画面は説明のための表示で、実際の表示とは異なります。

■ご注意
施工設定・施主設定を行うには、AiSEGの画面をモニターに表示させる必要があります。
モニターを選定し、該当するモニターの設定(P.69～79)を先に行ってください。

初期(まとめて)設定

水使用量目標値を設定する

水使用量の目標値を設定します。この設定値に基づき、エネルギーの積算値に目標表示が行われます。

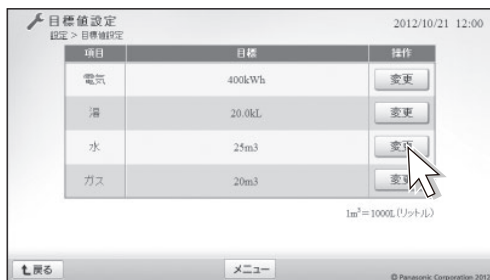
- 過去の実績(先月実績・前年同月実績)から削減割合を設定する方法と、数値を入力する方法が選べます。

注)この設定はパルス発信式流量計(水道メーター)を接続している場合のみ設定できます。

1 目標値設定画面を表示させる

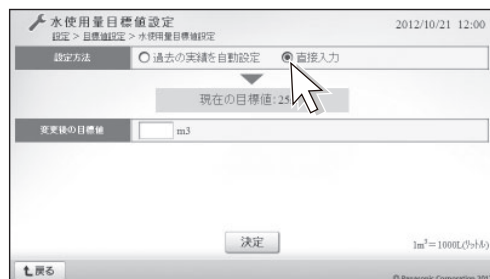
AiSEGの初回起動時、湯使用量目標値設定を終えると、次の目標値設定画面になります。

2 水の項目の 変更 を選ぶ

➡ 水使用量目標値設定(直接入力)画面が表示されます。

注)パルス発信式流量計(水道メーター)を接続していない場合、この項目は表示されません。

3 設定方法を選ぶ

過去の実績を自動設定
　前年同月使用量や先月の使用量からの削減割合により設定

直接入力
　数値を直接入力することにより設定

(直接入力を選ぶ場合)

過去の実績を自動設定の場合

❶ **参考値を「先月実績」「前年同月実績」から選ぶ**

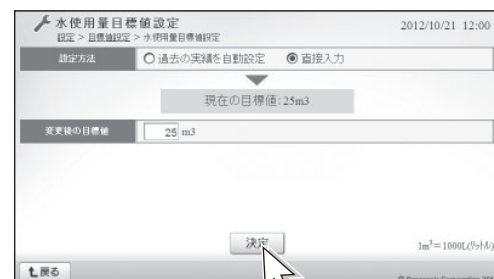
❷ **削減率(%)を選ぶ**

❸ **決定 を選ぶ**

➡ 目標値設定画面に戻ります。

直接入力の場合

❶ **目標値を入力する**

- $1m^3$～$100m^3$の数値を入力してください。
- 工場出荷時設定:$25m^3$

❷ **決定 を選ぶ**

➡ 目標値設定画面に戻ります。

MEMO

- 「直接入力」で設定できる範囲外の数値を入力しようとすると「入力内容に誤りがあります。1～100の数値を入力してください。」が表示されます。了解 を選んで設定をやり直してください。
- 「過去の実績を自動設定」の場合は、削減率と実績の計算結果が$1m^3$を下回ると$1m^3$に設定されます。
- 本製品を初めてご使用になる時点では過去のデータがありませんので、「直接入力」を選んでください。「過去の実績を自動設定」を選ぶと$25m^3$に設定されます。
- 「過去の実績を自動設定」の場合、月が変わると自動的に参考にする月も1ヵ月ずれます。

ガス使用量目標値を設定する

ガス使用量の目標値を設定します。この設定値に基づき、エネルギーの積算値に目標表示が行われます。

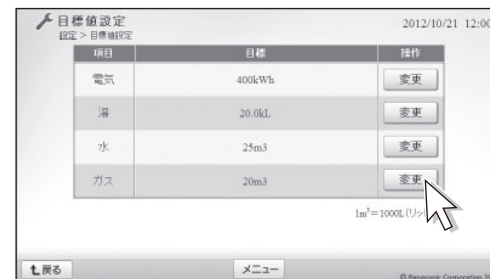
- 過去の実績(先月実績・前年同月実績)から削減割合を設定する方法と、数値を入力する方法が選べます。

注)この設定はパルス発信器付ガスメーターを接続している場合のみ設定できます。

1 目標値設定画面を表示させる

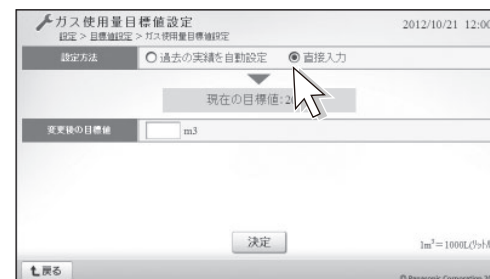
AiSEGの初回起動時、水使用量目標値設定を終えると、次の目標値設定画面になります。

2 ガスの項目の 変更 を選ぶ

➡ ガス使用量目標値設定(直接入力)画面が表示されます。

注)パルス発信器付ガスメーターを接続していない場合、この項目は表示されません。

3 設定方法を選ぶ

過去の実績を自動設定
　前年同月使用量や先月の使用量からの削減割合により設定

直接入力
　数値を直接入力することにより設定

(直接入力を選ぶ場合)

過去の実績を自動設定の場合

❶ **参考値を「先月実績」「前年同月実績」から選ぶ**

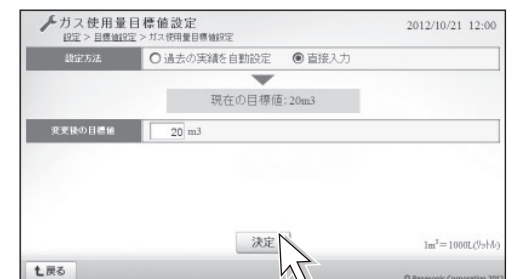
❷ **削減率(%)を選ぶ**

❸ **決定 を選ぶ**

➡ 目標値設定画面に戻ります。

直接入力の場合

❶ **目標値を入力する**

- $1m^3$～$100m^3$の数値を入力してください。
- 工場出荷時設定:$20m^3$

❷ **決定 を選ぶ**

➡ 目標値設定画面に戻ります。

MEMO

- 「直接入力」で設定できる範囲外の数値を入力しようとすると「入力内容に誤りがあります。1～100の数値を入力してください。」が表示されます。了解 を選んで設定をやり直してください。
- 「過去の実績を自動設定」の場合は、削減率と実績の計算結果が$1m^3$を下回ると$1m^3$に設定されます。
- 本製品を初めてご使用になる時点では過去のデータがありませんので、「直接入力」を選んでください。「過去の実績を自動設定」を選ぶと$20m^3$に設定されます。
- 「過去の実績を自動設定」の場合、月が変わると自動的に参考にする月も1ヵ月ずれます。

●モニター画面は説明のための表示で、実際の表示とは異なります。

■ご注意
施工設定・施主設定を行うには、AiSEGの画面をモニターに表示させる必要があります。
モニターを選定し、該当するモニターの設定（P.69～79）を先に行ってください。

初期（まとめて）設定

通知情報（一括）を設定する

登録したビエラ・ポータブルビエラ（SV-ME5000、SV-ME7000）に、昨日の買電量などの通知情報を表示するかどうかを一括で設定します。

注）●登録されたビエラ・ポータブルビエラがない場合、通知を有効にしても実際には通知されません。
●通知時刻にビエラ・ポータブルビエラとの通信ができない場合は、表示されません。
● HEMSモニター、住まいるサポ E型、ポータブルビエラ（SV-ME1000）、パソコン、スマートフォン、タブレットには通知されません。

■通知情報一覧表

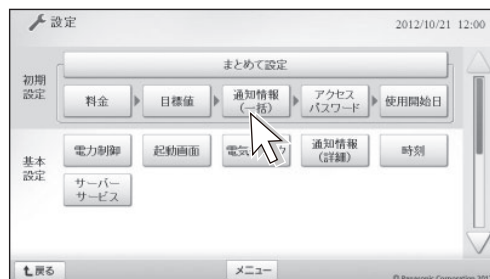
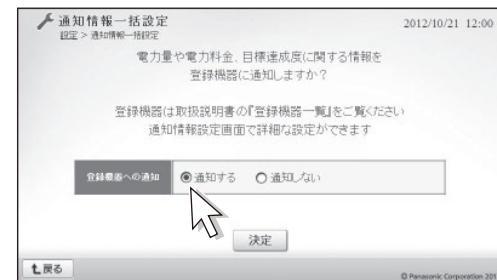
通知情報	内容
昨日の買電量※1	昨日の買電量の実績について、買電量と金額換算値を表示します。
昨日の売電量※1	昨日の売電量の実績について、売電量と金額換算値を表示します。
今日の買電額※1	通知時点までの積算買電量の金額換算値を表示します。
今日の売電額※1	通知時点までの積算売電量の金額換算値を表示します。
月間使用電力量目標値に対する達成度※1	通知日（毎月1日、11日、21日）時点での目標達成度を表示します。 1日の場合は先月の目標達成度を表示します。
本日の使用電力量の目標値に対する達成度※1	通知時点までの目標達成度を表示します。
月間使用電力量目標値超え警告※1	月間目標値に対する指定割合を超えた場合、次の通知時に表示します。
売電金額※1	売電額が2000円を超えた時点から1000円増加した場合、 次の通知時に表示します。
ピークアラーム（契約電力量に対する利用警告※2）	使用電力の瞬時値が、契約電力あるいはブレーカ容量を超えそうな場合に通知します。
エアコン室外温度通知（エコアドバイス）	冷房時：外気温が28℃以下になった場合に表示します。 暖房時：外気温が20℃以上になった場合に表示します。

※1 通知する時刻を自由に設定できます。
※2 契約電力量超過は、AiSEG用過電流検知用CT(別売)を使用してAiSEG用エネルギー計測ユニットの定格電流設定に基づいて判定されますので、定格電流設定が正しくないと正常に動作しない場合があります。

1 設定画面を表示させる

AiSEGの初回起動時、ガス使用量目標値設定を終えると、次の設定画面になります。

2 [通知情報（一括）] を選ぶ

➡ 通知情報一括設定画面が表示されます。
●この画面で「通知情報（詳細）」を選ぶと、通知情報ごとに通知時刻や通知条件（目標達成の場合）などの詳細を設定することもできます。

3 通知情報を「通知する」か「通知しない」かを選ぶ

（通知するを選ぶ場合）

4 [決定] を選ぶ

➡ 設定画面に戻ります。

アクセスパスワードを設定する

登録したビエラ・ポータブルビエラ以外の機器でAiSEGにアクセスした場合、認証が必要になります。その認証を行うためのパスワードを設定します。

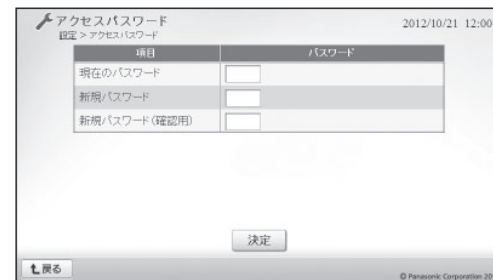
1 設定画面を表示させる

AiSEGの初回起動時、通知情報（一括）設定を終えると、次の設定画面になります。

2 [アクセスパスワード] を選ぶ

➡ アクセスパスワード画面が表示されます。

3 現在のパスワードを入力する

●工場出荷時設定：0000

4 新規パスワードを入力する

●4桁～8桁の数値を入力します。

5 確認のため同じパスワードを新規パスワード（確認用）に入力する

6 [決定] を選ぶ

➡ ビエラ・ポータブルビエラで設定した場合、パスワードが変更され、設定画面に戻ります。
➡ ビエラ・ポータブルビエラ以外で設定した場合、認証画面が表示されますので変更したパスワードを入力すると、設定画面に戻ります。

●新規パスワードと新規パスワード（確認用）が一致していない場合は、「新規パスワードが一致しません。新規パスワード（確認用）は新規パスワードと同じものを入力してください。」が表示されます。
[了解] を選ぶとアクセスパスワード画面に戻りますので、再度手順3からの操作を行ってください。
●現在のパスワードが間違っている場合は、「現在のパスワードが一致しません。もう一度入力してください。」が表示されます。[了解] を選ぶとアクセスパスワード画面に戻りますので、再度手順3からの操作を行ってください。

パソコン、スマートフォンなどでアクセスすると

●タブレット端末や登録していないビエラ・ポータブルビエラでアクセスしても認証画面が表示されます。

❶ **認証画面が表示される**
❷ **変更したパスワードを入力して [OK] を選ぶ**

➡ 起動画面が表示されます。
注）ユーザー名は入力しないでください。

MEMO
●パスワードに異なる桁数を入力すると「未入力項目があります。全ての項目を入力してください。」が表示されます。数値以外を入力すると「数値以外の文字が入力されています。数値を入力してください。」が表示されます。[了解] を選んで設定をやり直してください。

●モニター画面は説明のための表示で、実際の表示とは異なります。

■ご注意
施工設定・施主設定を行うには、AiSEGの画面をモニターに表示させる必要があります。
モニターを選定し、該当するモニターの設定(P.69~79)を先に行ってください。

初期(まとめて)設定

機器の使用開始日を設定する

太陽光発電、蓄電池ユニットの使用開始日を設定します。この設定に基づいて発電記念日表示が行われます。

注)設定を変更しない場合は、初回の時刻設定(P.88)で設定された日時が使用開始日になります。

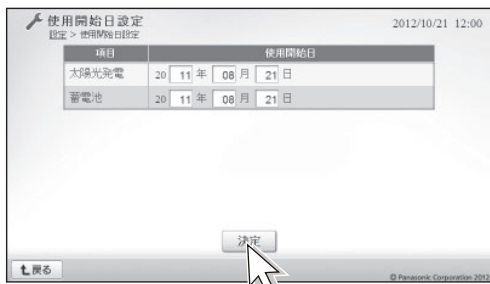
1 設定画面を表示させる

AiSEGの初回起動時、アクセスパスワード設定を終えると、次の設定画面になります。

2 使用開始日 を選ぶ

➡ 使用開始日設定画面が表示されます。

3 各機器の使用開始日を入力する

注)●太陽光発電システムが接続されていない場合は太陽光発電の項目は表示されません。
●蓄電池ユニットが接続されていない場合は蓄電池の項目は表示されません。

4 決定 を選ぶ

➡ 設定画面に戻ります。

MEMO

発電記念日について

太陽光発電開始日を設定すると、その日が「発電記念日」となります。設定した翌年からは、太陽光発電開始日にAiSEGの画面を表示させると、右のような「発電記念日」画面が表示されます。

●閉じる を選ぶか10秒経過すると起動画面に移ります。

サーバーサービス(無料)を登録・設定する

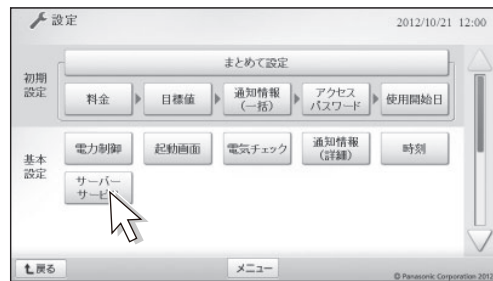
インターネット回線に接続されている場合、サーバーとの連携に関する登録設定を行うことができます。

注)●インターネット回線に接続している場合のみ設定できます。また、ブラウザのCookie設定を有効にしてください。
●サーバーサービスは無料です。
●サーバーとのパケット通信費用はお客様のご負担となります。

1 設定画面を表示させる

➡ 起動画面から メニュー ⇨ 設定 で表示させます。

2 サーバーサービス を選ぶ

➡ サーバーサービス設定画面が表示されます。

注)インターネット回線を接続していない場合、サーバーサービス は表示されません。

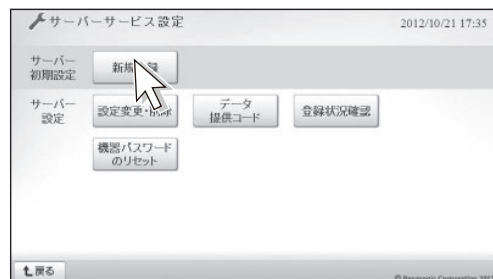
3 新規登録 を選ぶ

➡ 登録手順の説明画面が表示されます。

●以下、画面の案内に従って登録・設定操作を行ってください。(本書では、以降の手順は省略しています。)

●操作の途中で「確認コード」が表示されますので、メモ用紙などに控えて保存してください。

(メモ欄)

確認コード	

■サーバーサービス(無料)について

インターネット回線に接続し、サーバーサービスに登録すると、下記サービスを利用できます。

サービスメニュー 1

下記の計測データ、設定データ、各種履歴データを、当社のサーバーにバックアップしておくことができます。

① 計測データ
・主幹/分岐/拡張など各回路の電力値データ
・ガス、水などの使用量データ
・太陽電池や燃料電池の発電量や蓄電池の充電量データ

② 設定データ
・住宅分電盤の回路名称
・登録されたAiSEG対応機器の名称(エアコンなど)や場所名称(リビングなど)
・料金設定(料金プランや料金単価設定、CO_2換算係数設定など)

③ 各種履歴データ
・AiSEG対応機器の動作履歴や省エネ動作履歴
・AiSEG対応機器のエラー発生コードや発生日時
・創エネ節電ロードレース計測情報(走った距離、植樹数、日数など)

●ご登録時点およびその翌日から毎日1回、自動的にサーバーにバックアップを行います。

MEMO

●エネルギーの「見える化」は、過去に計測したデータと比較して節電などに取り組むものです。万一、AiSEGが故障した場合でも、パナソニックサーバーにデータをバックアップしておけば、そのデータを再度AiSEGに取り込むことができます。
●サーバーにバックアップするデータは、AiSEG本体に記憶している計測データ全てです。

注)●パソコンなどからパナソニックサーバーに直接アクセスすることはできません。
●例えば、AiSEG本体をリセット操作で工場出荷時状態(計測データの記憶がない)にした後にバックアップさせると、センターサーバーには計測データがない情報を保存することになります。

サービスメニュー 2

サーバーから取得する天気予報情報に連動した機能(エコキュート沸き増し制御など)を利用できます。

サービスメニュー 3

AiSEG対応機器に連携した「使い方ガイド」を利用できます。(スマートフォン・タブレット使用時のみ)

MEMO

●サーバーサービスを登録していなくても、インターネット回線に接続していれば時刻取得とソフトウェアの更新は行えます。
●サーバーサービスの登録には、AiSEG本体の側面に表示されている「機器コード」の入力が必要です。

■サーバーサービスに関するご注意

●AiSEGでインターネット回線を経由したサービスをご利用になる場合は、別途サービス登録(無料)が必要となります。
●サーバーサービスの登録手続きは、モニター機器にAiSEGの画面を呼び出して行います。モニター機器はHEMSモニター、住まいるサポ E型 親機、スマートフォン・タブレット、ビエラ・ポータブルビエラ、パソコンのいずれでも使用できます。
●ご登録はお客様と当社とのご登録になります。個人あるいは住戸を特定できる情報は不要です。
●本サービスのご利用にはADSL、FTTH(光ファイバ)、CATV(ケーブルテレビ)などインターネット常時接続サービスが必要です。
●インターネットサービスのご契約はお客様自身でお願いします。
●プロバイダの指定はありませんが、必ずルーターが必要です。インターネットサービスプロバイダがルーターの設置を許可しているかご確認ください。
●サーバーとのパケット通信費用はお客様のご負担となります。
●AiSEGを宅内インターネット機器(ルーターやHUBなど)に接続すると、サービス契約する・しないに関わらず、AiSEGとパナソニックサーバー間で定期的に通信し、およそ250~300MB/月の通信パケットが発生します。よって、インターネット回線契約は定額制の契約を選択されることを推奨します。
●ADSL、FTTH、CATVなど、多様なインターネット接続サービスがありますが、すべての地域でサービスが提供されているとは限りません。各事業者にご確認ください。
●ADSL、FTTH、CATVでは事業者により使用機器(モデム、ルーターなど)が決まっている場合、複数台接続時の契約や使用機器が異なる場合などがありますので、あらかじめご確認ください。
●データの自動バックアップは1日1回(不定期)で、サーバー側でスケジューリングされます。ただし、AiSEGがインターネット回線に接続されない場合は、データの自動バックアップは行われません。

●モニター画面は説明のための表示で、実際の表示とは異なります。

計測値トラブル対応フロー

A～I は下記の参考図をご参照ください。

どの値が？	どのように？	ご確認事項	参考図
【主幹】使用量（つかう）	OkWになる／そもそも項目が出ない	【1】主幹CT（2個）の取り付け電線は正しいですか？ 「L1ハーネス」が主幹ブレーカの赤（L1）、「L2ハーネス」が主幹ブレーカの黒（L2）となります。 【2】主幹CTの「電源」側と「負荷」側の向き（上・下）は正しいですか？ 主幹CTにラベルが貼られており、「電源」側が電力メーター側、「負荷」側がブレーカ側となります。	A
	99.9kWになる	【1】太陽光CTは、L1の線に取り付けていますか？ 【2】太陽光CTの「負荷または発電」側と「ブレーカ」側の向きは合っていますか？ CTにラベルが貼られており、「負荷または発電」側がパワーコンディショナ側、「ブレーカ」側が太陽光連系ブレーカ側となります。	B
買電・売電（かう・うる）	表示が逆になっている	【1】主幹CT（2個）の取り付け電線は正しいですか？ 「L1ハーネス」が主幹ブレーカの赤（L1）、「L2ハーネス」が主幹ブレーカの黒（L2）となります。 【2】主幹CTの「電源」側と「負荷」側の向き（上・下）は正しいですか？ 主幹CTにラベルが貼られており、「電源」側が電力メーター側、「負荷」側がブレーカ側となります。	A
		計測ユニットへの電源接続（L1・L2）は正しいですか？ 【3】計測ユニットの電源端子が、正面から見て左から赤、白、黒の並びで接続されていますか？ 【4】計測ユニットに電源供給しているブレーカの接続（赤・白・黒）に間違いはありませんか？	C
		【5】SHN型単三分岐ブレーカ（BSHN2202）をご利用の場合、上段（L1相）か下段（L2相）かの設置によって正面から見たときに色の並びが異なります。正しく接続されていますか？ ●上段の場合→正面から見て左から 黒、赤、白　●下段の場合→正面から見て左から 白、黒、赤	D
太陽光（つくる）	99.9kWになっている／夜間に発電している	【1】特定1のCTを、太陽光連系ブレーカからパワーコンディショナ間の「L1（赤側）」の線に取り付けていますか？ ※特定2を太陽光CTとしている場合も同様です。 【2】特定1のCTの向きは合っていますか？「負荷または発電側」がパワーコンディショナ側になっていますか？ ※特定2を太陽光CTとしている場合も同様です。	B
		計測ユニットへの電源接続（L1・L2）は正しいですか？ 【3】計測ユニットの電源端子が、正面から見て左から赤、白、黒の並びで接続されていますか？ 【4】計測ユニットに電源供給しているブレーカの接続（赤・白・黒）に間違いはありませんか？	C
		【5】SHN型単三分岐ブレーカ（BSHN2202）をご利用の場合、上段（L1相）か下段（L2相）かの設置によって正面から見たときに色の並びが異なります。正しく接続されていますか？ ●上段の場合→正面から見て左から 黒、赤、白　●下段の場合→正面から見て左から 白、黒、赤	D
	太陽光（つくる）が出ない	【1】太陽光連系ブレーカに特定1のCTを使っていますか？ ※特定2を太陽光CTとしている場合も同様です。	B
		【2】計測ユニットの一番上にあるディップスイッチの「1」のスイッチが「太陽」側になっていますか？ ※特定2を太陽光CTとしている場合も同様で、「2」のスイッチが「外部発電」で、「3」のスイッチが「太陽」になっていますか？	E
全 部	マイナス値になっている	計測ユニットへの電源接続（L1・L2）は正しいですか？ 【1】計測ユニットの電源端子が、正面から見て左から赤、白、黒の並びで接続されていますか？ 【2】計測ユニットに電源供給しているブレーカの接続（赤・白・黒）に間違いはありませんか？	C
		【3】SHN型単三分岐ブレーカ（BSHN2202）をご利用の場合、上段（L1相）か下段（L2相）かの設置によって正面から見たときに色の並びが異なります。正しく接続されていますか？ ●上段の場合→正面から見て左から 黒、赤、白　●下段の場合→正面から見て左から 白、黒、赤	D

A～I は下記の参考図をご参照ください。

どの値が？	どのように？	ご確認事項	参考図
分岐回路	マイナス値になっている	【1】分岐用CTの向き（負荷側・ブレーカ側）は正しいですか？ 分岐CT（100A）の場合 「負荷または発電側」が負荷側（照明・コンセントなど）、また「ブレーカ側」はブレーカ側になっていますか？ 分岐CT（30A）・増設用CTの場合 「負荷側」が負荷側（照明・コンセントなど）、また「ブレーカ側」はブレーカ側になっていますか？	F
		【2】分岐用CTを取り付ける電線は正しいですか？ 100Vのブレーカの場合 「L」側にCTを取り付けていますか？ 200Vのブレーカの場合 「L1」側にCTを取り付けていますか？	G
		【3】特定CTの電圧および電圧相は正しく設定されていますか？ ・電圧（100Vまたは200V）は計測ユニット中段のディップスイッチで設定します。 ・電圧相（L1またはL2）は計測ユニット下段のディップスイッチで設定します。 〈例1〉特定5CTが200V負荷の場合 ・中段の「5」のスイッチを『200V側（上側）』とし、下段の「5」のスイッチは変更する必要ありません。 〈例2〉特定6CTが100V負荷の場合 ・中段の「6」のスイッチを『100V側（下側）』とし、下段の「6」のスイッチはL1相またはL2相に合わせて設定する。（住宅分電盤を正面から見て上側（L1相）、下側（L2相）です）	H
		計測ユニットへの電源接続（L1・L2）は正しいですか？ 【4】計測ユニットの電源端子が、正面から見て左から赤、白、黒の並びで接続されていますか？ 【5】計測ユニットに電源供給しているブレーカの接続（赤・白・黒）に間違いはありませんか？	C
		【6】SHN型単三分岐ブレーカ（BSHN2202）をご利用の場合、上段（L1相）か下段（L2相）かの設置によって正面から見たときに色の並びが異なります。正しく接続されていますか？ ●上段の場合→正面から見て左から 黒、赤、白　●下段の場合→正面から見て左から 白、黒、赤	D
		【7】増設用CTの場合 ・「計測ユニットの分岐増設中継ケーブル接続コネクタ部（L1・L2）」と「分岐増設中継ケーブル」の接続は正しいですか？ ・「分岐増設中継ケーブル（L1・L2）」と「分岐増設用CTケーブル（L1・L2）」の接続は正しいですか？ （L1とL2が逆になっていませんか？）	I
	値が明らかに高い・低い	【1】特定1～4CTは100A専用、特定5～8CT・増設用CTは30A専用です。正しく接続されていますか？ 例えば特定1に30A用CTを接続すると正しく計測されません。	—
		【2】計測ユニットのディップスイッチの設定は正しいですか？ ・一番上のディップスイッチの設定は正しいですか？ 負荷計測の場合、スイッチの設定は「下側」が正しいです。 ※特定2CTを負荷計測で使う場合は2、3のスイッチが下側になっている必要があります。 特定3CTを負荷計測で使う場合は4のスイッチが下側になっている必要があります。	J
		【3】特定CTの電圧および電圧相は正しく設定されていますか？ ・電圧（100Vまたは200V）は計測ユニット中段のディップスイッチで設定します。 ・電圧相（L1またはL2）は計測ユニット下段のディップスイッチで設定します。 〈例1〉特定5CTが200V負荷の場合 ・中段の「5」のスイッチを『200V側（上側）』とし、下段の「5」のスイッチは変更する必要ありません。 〈例2〉特定6CTが100V負荷の場合 ・中段の「6」のスイッチを『100V側（下側）』とし、下段の「6」のスイッチはL1相またはL2相に合わせて設定する。（住宅分電盤を正面から見て上側（L1相）、下側（L2相）です）	H

参考図

A

B

C

D

〈ご参考〉テスターによる判断
計測ユニットの電源L1端子と主幹ブレーカのL1端子をテスターで電圧測定してください。「0Vと表示されたら接続は正しい」、200Vと表示されたら接続が誤っています。

●モニター画面は説明のための表示で、実際の表示とは異なります。

スマートHEMSについて

Q1.スマートHEMSとは?
A1. パナソニックのホームエネルギーマネジメントシステムです。住まいの電気設備・家電をつないで、エネルギーをつくり、ためて、かしこくつかい、そして管理する、これからのくらしにも継続して進化し続けることをめざしたシステムです。

Q2.スマートHEMSの定義は何ですか?
A2. エネルギー関連商材の中核となるAiSEGにつながる商材が対象になります。一般的にHEMSはエネルギーの「見える化」+「設備機器の遠隔制御」と認知されています。パナソニックのスマートHEMSはHEMSにプラスして、家電や設備機器の自動制御による節電や、蓄電池との連携、さらには将来V2Hやスマートメーターなどが拡充できるものです。

Q3.スマートHEMSは一般名称ですか?
A3. スマートHEMSはパナソニックグループの登録商標です。

Q4.スマートHEMSとAiSEGの違いは?
A4. スマートHEMSはパナソニックのHEMS(ホームエネルギーマネジメントシステム)であり、AiSEGはその中核機器です。

AiSEGについて

Q5.AiSEGの意味は?
A5. Ai = Artificial(人工的な)+Intelligence(かしこい)、SEG = smart + energy + gateway

【解説】かしこく家じゅうのエネルギーをマネジメントできる機器という意味を込めています。

Q6.AiSEGの役割は?
A6. 宅内のエネルギー設備機器や家電機器のエネルギー使用状況を管理・制御する「スマートHEMS」の中核となるのがAiSEGです。

Q7.AiSEGとAiSEG対応機器間の通信方式は?
A7. AiSEGとエアコン・IHクッキングヒーターの間は特定小電力(920MHz)で通信します。またAiSEGとエコキュート間は有線方式です。

Q8.AiSEGの無線の届く距離は?
A8. AiSEGとAiSEG用エネルギー計測ユニット、AiSEG対応機器との電波到達距離は、障害物のない場所での水平見通し距離で約100mです。

Q9.AiSEGの無線は、2階建て、3階建て住宅でも使用できますか?
A9. 使用できます。AiSEGに搭載の無線は周波数920MHz帯と信頼性の高いものを利用しています。ただし、電波到達距離は、障害物のない場所での水平見通し距離で約100mです。

Q10.ワイヤレス通信の920MHzの特長は?
A10. 当社セキュリティ商品で使用している400MHzより通信速度が速く、情報量が多く送受信できることと、2.4GHz(Wi-Fi,Bluetoothなど)に比べ受信可能距離が長くなります。

Q11.AiSEGの設置推奨場所はどこですか?
A11. AiSEG本体の発電中ランプ・お知らせランプが見える場所への設置をおすすめします。また、LAN配線も必要ですので、LAN配線(入力、HUB側)のインフラ状況によって配慮が必要です。

Q12.AiSEG本体はECHONET Liteに対応していますか?
A12. AiSEG本体はECHONET Lite認証取得済み商品です。また、AiSEG対応機器のエアコン、IHクッキングヒーターはAiSEGと通信し、エアコンは宅内および宅外から状態確認・OFF操作ができます。

「見える化」について

Q13.分岐回路の見える化は最大何回路ですか?
A13.分岐計測は最大38回路です。

Q14.スマートフォンの対応機種を教えてください。
A14. Android™端末:Android 2.3.3以降
iPhone、iPad:iOS5以降

Q15.ビエラ・ポータブルビエラ以外のテレビでも接続できますか?
A15. 接続できるテレビは当社製ビエラ・ポータブルビエラのみです。ただし接続できる機種に制限があります。詳しくはP.20をご覧ください。

Q16.パソコンのIEのバージョンの条件はありますか?
A16. IE8.0以上です。

Q17.スマートフォンや携帯電話で外出先から電気使用量を確認をすることができますか?
A17. できません。

Q18.表示されている電力量などのデータ表示の自動更新時間は?
A18. 計測データの瞬時値は約5秒ごとに更新します。

Q19.AiSEGを設定するためには、専用モニターを必ず設置しなければいけないのでしょうか?
A19. 専用モニター(HEMSモニター、住まいるサポE型)を使用しなくても、パソコン、スマートフォン、タブレットでも設定可能です。

Q20.対応するスマートフォン・タブレットは、条件を満足していればメーカーは不問ですか?
A20. 下記の条件を満たしていれば、メーカーは問いません。
Android™端末:Android 2.3.3以降
iPhone、iPad:iOS5以降

Q21.ビエラまたはポータブルビエラでできて、専用モニター、スマートフォンでできない機能はありますか?
A21. ビエラまたはポータブルビエラ(SV-ME5000)のみ通知情報機能(昨日の買電量などの通知)があります。

Q22.宅内操作でスマートフォンから操作する場合に必要なものは?
A22. 無線ルーター(市販品)が必要です。別途ご準備ください。

Q23.画面表示を専用モニターやビエラ・ポータブルビエラなどで常時表示できますか?
A23.できません。最大3分間表示します。HEMSモニター、住まいるサポE型は、「展示モード」に設定すると60分間表示できます。

Q24.ガスと水道の検出方法は?パルス信号だとしても有線になりますか?
A24. パルス発信器付ガスメーター、パルス式流量計(水道メーター)の設置が必要です。基本的に新築対応で有線での結線となります。

Q25.機器名称・場所は任意で何文字入力できますか?
A25. 最大12文字以内です。

接続について

Q26.スマートHEMSはインターネットに接続しなくても使用できますか?
A26. インターネットに接続しなくても、見える化や機器が制御可能です。

Q27.燃料電池と接続できますか?
A27. 接続可能です。ただし、創蓄連携システム接続時はパナソニック製燃料電池のみ接続可能となります。

Q28.他社製の太陽光発電システムに接続できますか?
A28. 他社製の太陽光発電システムにも接続できます。ただし「創蓄連携システム」をご採用の場合は、太陽光発電システムはパナソニック製に限られます。

Q29.創蓄連携システムにAiSEGを接続できますか?
A29. 接続可能です。

Q30.他社製の蓄電池に接続できますか?
A30. 他社製の蓄電池とは接続できません。蓄電池の充電や放電情報のやり取りが他社製ではできないためです。接続できるのは当社製「創蓄連携システム」に限られます。

Q31.他社製の家電や電気設備に接続できますか?
A31. 見える化は計測定格内であれば接続可能です。機器連携はJEM-A規格のエアコンと床暖房に限り接続できます。

Q32.HEMSモニターと住まいるサポE型を同時に使用できますか?
A32. できません。

Q33.住まいるサポE型親機にネットアダプタ(住まいるサポ用)は接続可能ですか?
A33. できません。

Q34.システム構築に必要な機器は最低どれがあればできますか?
A34. AiSEGとAiSEG用エネルギー計測ユニットです。

Q35.AiSEGの電源は100Vアダプターですが、電源直結タイプも対応できますか?
A35. できません。AC100Vアダプター式のみです。

Q36.住宅分電盤は他社品でも見える化できますか?
A36. できます。

Q37.HEMSモニター、住まいるサポE型の画面サイズは?
A37. 共に7型です。

Q38.蓄熱暖房を接続できますか?
A38. 特定CT(1~4)を使用して100A(20kW)以下の蓄熱暖房器の測定は可能です。ただし、主幹用CT定格が150A(30kW)となりますので、蓄熱暖房を含む全体の使用量はその範囲でご使用ください。別途、分岐CT延長ケーブルが必要です。

Q39.AiSEGとHEMSモニター・住まいるサポE型は直接LAN接続可能ですか?
A39. 可能です。ルーターを経由しなくても問題ありません。

Q40.AiSEGとビエラ・ポータブルビエラは直接LAN接続可能ですか?
A40. 可能です。ルーターを経由しなくても問題ありません。

Q41.専用モニター(HEMSモニターまたは住まいるサポE型)は必要ですか?
A41. 必須ではありません。

AiSEG用エネルギー計測ユニットについて

Q42.CT付ケーブルは延長できますか?またCTごとに延長ケーブルが準備できますか?
A42. 主幹用・分岐用とも長さ違いの延長ケーブルを別売で準備しています。分岐用はCT1コごと(分岐回路ごと)の延長ケーブルになります。

Q43.主幹ブレーカは何Vまで対応できますか?
A43. 単相三線式100/200V専用となります。幹線φ38 150Aまでが計測可能範囲です。三相三線ではご使用いただけません。

Q44.分岐回路計測CTは分割形ですか?
A44. いいえ、貫通形です。分岐CTを分割形にした場合、分電盤内のスペースではCTの格納が困難という点と、分岐回路は個別にブレーカをOFFにして部分停電工事が可能なため、貫通形としています。

Q45.各回路は力率計算していますか?
A45. していません。

Q46.電気使用量の検出方法はCTセンサーですか?
A46. 電気使用量の検出方法はCTセンサーです。CT接続で電力量を測定します。(標準仕様=主幹+8回路、最大38回路対応可)

機器連携について

Q47.JEM-A接続があるが、パワナビ機能はありますか?
A47. ありません。

Q48.エアコンは最大何台まで接続できますか?
A48. AiSEG対応エアコンは12台、JEM-A対応は4台まで接続できます。

Q49.外出先からコントロールできる機器はありますか?
A49. AiSEG対応のエアコンのみです。状態確認およびOFF操作のみ可能です。

Q50.IHクッキングヒーターの火力セーブ・・・とはどのような機能ですか?
A50. IHクッキングヒーターを使用しようとしたときや使用中に、電気使用量が契約容量を超えそうであればIHクッキングヒーターの使用電力を制限する機能です。

Q51.エアコン、IHクッキングヒーター、エコキュートの対応品番はどこに記載してありますか?
A51. カタログおよびホームページに記載しています。本ガイドブックのP.20にも記載しています。

Q52.IHクッキングヒーターをAiSEGに登録後、IHクッキングヒーターをAiSEGと連携しないで使用できますか?
A52. AiSEG側での設定ではできません。IHクッキングヒーター本体側の設定で「AiSEGへの接続を無効」に変更することができます。

Q53.太陽光発電の余剰電力は、売電とエコキュート沸き増しと、どちらを優先しますか?
A53. AiSEGの設定でどちらかを選択できます。

Q54.AiSEGにつながる家電・電気設備にはどのようなものがありますか?
A54. AiSEG対応機器はエアコンとIHクッキングヒーターとエコキュートの3商品です。

Q55.AiSEGとエコキュートは無線通信ですか?
A55. 違います。AiSEG用エネルギー計測ユニットとエコキュートの間は有線です。エコキュートのタンクの端子につなぎます。

Q56.AiSEG対応エアコンが30分後に自動で設定温度に切り替わりますが、自動温度変更ができないように設定できますか?
A56. 設定できます。

Q57.AiSEG単体でエアコンと接続できますか?
A57. 必ずAiSEG用エネルギー計測ユニットが必要です。またエアコンには無線アダプター(CF-TA9)(オープン価格)が、エアコン1台につき1台必要で12台まで制御可能です。

Q58.外出先から、自宅の照明制御ができますか?
A58. できません。

Q59.外出先から、自宅のエアコン制御ができますか?
A59. AiSEG対応エアコンに限りOFFのみ可能です。別途無線アダプター(CF-TA9)(オープン価格)が必要です。

Q60.外出先から、床暖房の制御ができますか?
A60. できません。

その他

Q61.太陽光発電用パワーコンディショナとAiSEG用エネルギー計測ユニットは隣接設置していいですか?
A61. パワーコンディショナとAiSEG用エネルギー計測ユニットの間は2m以上離してください。

Q62.電気・ガス・水の料金設定・CO_2換算係数の設定値は?
A62. 料金設定は工場出荷時は設定していません。またCO_2削減係数はパナソニックのCO_2排出基準に基づいた数値を工場出荷時に入れています。

Q63.スマートHEMSとECOマネシステムを組み合わせて使用できますか?
A63. できません。

Q64.設定方法や操作について不明点がある場合、専用の問い合わせ先はありますか?
A64. お客様専用のお問い合わせセンターを準備しています。住宅エネルギーマネジメントシステムご相談窓口
専用ダイヤルは0120-081-701です。
(上記がご利用できない場合 06-6780-2099)

Q65.スマートHEMSとECOマネシステムとの違いは?
A65. ECOマネシステムは新築向けの「見える化」商品です。スマートHEMSは新築および既築を対象とした「見える化」に加えて「家電」・「蓄電」システムとも連携でき、さらにはスマートメーターや電気自動車など将来のエネルギー関連製品にもつながることを想定した商品です。

Q66.サーバーサービスへの登録は必須ですか?登録した場合、個人情報は大丈夫ですか?
A66. 必須ではありません。ただし、サーバー登録(無料)していただくとサーバーに計測データや設定データ、履歴データをバックアップできますので、登録をおすすめします。なお、個人を特定できる情報は収集しません。

Q67.計測データはどの機器に保存されますか?
A67. AiSEG本体に保存します。

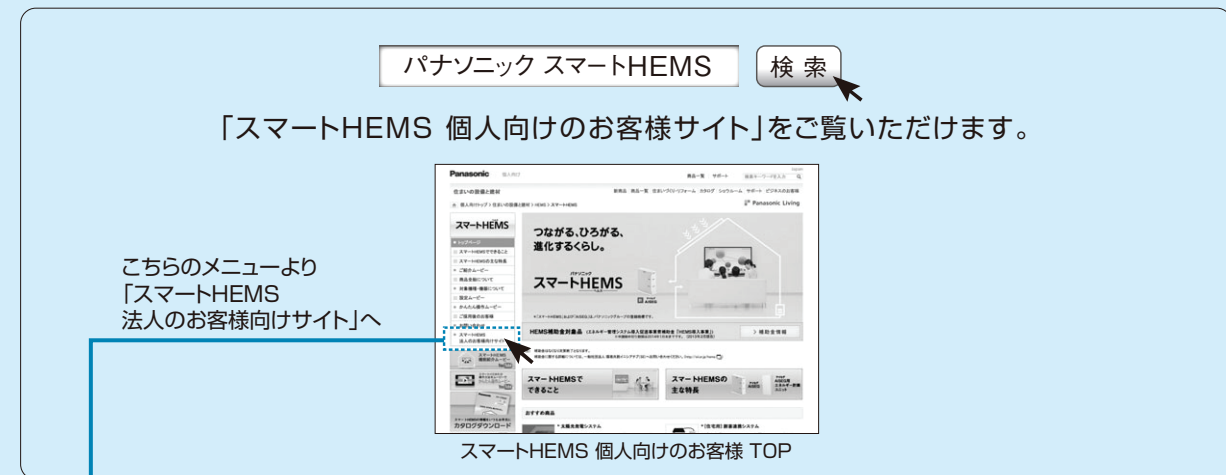
Q68.計測データは最大どの程度の期間、保存できますか?
A68. AiSEG本体に保存します。保存期間は「30分ごと」は32日、「1時間ごと」は2256時間、「1日ごと」は489日、「1ヵ月ごと」は132ヵ月、「1年ごと」は11年分のデータを保存します。

Q69.既にECOマネシステムが納入されている現場にAiSEGを追加設置できますか?
A69. ECOマネシステムとAiSEGの組み合わせ使用はできません。

**これ以外の「Q & A」につきましては
Webでご紹介しています。
次頁のスマートHEMSホームページの
ご紹介をご参照ください。**

スマートHEMS ホームページのご紹介

「施工・設定ムービー」や「計測値トラブル対応フロー」
「よくあるご質問(FAQ)」をご覧いただけます。

スマートHEMS 個人向けのお客様 TOP

スマートHEMS 法人向けのお客様サイト

スマートHEMS 法人向けのお客様 TOP

「スマートHEMS
法人向けのお客様サイト」は
こちらからも
ご覧いただけます。

※スマートフォンなどで
ご覧いただけます。
注)データ通信料はお客様のご負担となります。

施工・設定ムービー

施工、設定、操作方法をムービーで
わかりやすくご説明いたします。

計測値トラブル対応フロー

施工時にモニターの表示値が
正常でない場合、
お問い合わせの前にご確認ください。

スマートHEMSの「よくあるご質問
(FAQ)」をご紹介しています。

詳しくはWEBで！

パナソニック スマートHEMS　検索

施工・設定を動画でご紹介

※スマートフォンなどでご覧いただけます。
注）データ通信料はお客様のご負担となります。

スマートHEMSに関するお問い合わせは

住宅エネルギーマネジメントシステムご相談窓口

設計・施工のご相談から、お施主様のアフターサポートまで、スタッフが電話対応いたします。

［受付時間］365日／9:00～20:00

フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-081-701**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
●上記番号がご利用できない場合 06-6780-2099

設置される方へのお願い

●設置工事前に施工説明書をよくお読みになり、正しく安全に設置してください。
●設置工事終了後、動作確認を必ず行うとともに"取扱説明書"にそってお客様にご使用方法、お手入れのしかたなどを説明してください。取扱説明書は、保証書とともにお客様で保管頂くよう依頼してください。
●施工説明書に従わなかったために生じた故障・事故などについては当社では責任を負えません。

安全上のご注意
必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や、損害の程度を区分して説明しています。

パナソニックグループは環境に配慮した製品づくりに取り組んでいます　詳しくはホームページで panasonic.co.jp/eco

省エネを徹底的に追求した製品をお客様にお届けし、商品使用時のCO_2排出量削減を目指します。

新しい資源の使用量を減らし、使用済みの製品などから回収した再生資源を使用した商品を作り、資源循環を推進します。

パナソニック製品は、特定の環境負荷物質※の使用を規制するRoHS指令の基準値にグローバルで準拠しています。
※鉛・カドミウム・水銀・六価クロム・特定臭素系難燃剤

●商品・お取扱い・修理・工事などのご相談・お問い合わせは、お買い求めの販売店・工事店へ。

パナソニック株式会社　エコソリューションズ社
マーケティング本部　都市環境商品営業企画部

〒105-8301
東京都港区東新橋1丁目5番1号
☎(03) 6218-1131（代表）

このカタログの記載内容は
2013年9月現在のものです。